

第 6 回三春町文化財保存活用地域計画策定協議会（書面会議）の協議内容について

 : 今回の協議範囲

章	内容	令和 6 年度	令和 7 年度			
		第 4 回協議会 (3/19)	第 5 回協議会 (7/22)	第 6 回協議会 (●/●~10/24)	第 7 回協議会 (11 月予定)	第 8 回協議会 (2 月予定)
序章	計画の概要		素案の確認	第 5 回協議会意見を 受けて修正・作 成した 素案の確認	地域計画の素案 の確認	地域計画の案 の確認 (最終確認)
第 1 章	三春町の概要					
第 2 章	三春町の宝物の概要					
第 3 章	三春町の歴史文化の特性	検討	検討			
第 4 章	三春町の宝物に関する既往の把握調査		素案の確認			
第 5 章	宝物の保存・活用に関する将来像		検討			
第 6 章	宝物の保存・活用に関する課題・方針		検討			
第 7 章	宝物の保存・活用に関する措置		検討			
第 8 章	関連文化財群	検討	検討			
第 9 章	文化財保存活用区域	検討	検討			
第 10 章	宝物の保存・活用の推進体制					
宝物リスト（文化財リスト※）				確認		最終確認

※地域計画の認定申請時に添付あるいは計画に掲載するリスト。

番号	名称	区分1	区分2		所蔵等	指定等	指定等年月日	所在地(地区)	所在地(大字)	所在地(小字)	備考	指定文化財	埋蔵文化財	近世社寺建築緊急調査	国土利用計画	緑の文化財	町民アンケート	中学生アンケート	所有者アンケート	ワークショップ	
174	田村大元神社の長獅子舞	民俗文化財	無形	長獅子	田村大元神社別火講中	町指定	H16.6.8	三春	三春	山中	長獅子舞	98									
175	「山中(さんちゆう)」	その他	地名			未指定		三春	三春	山中	大元帥明王の門前町に因む地名										
176	万年山天沢寺〔本堂、地藏堂、ほか〕	有形文化財	建造物	寺院	天沢寺	未指定	—	三春	三春	清水	近世社寺建築			28							
177	木造地藏菩薩坐像	有形文化財	彫刻	仏像	天沢寺	町指定	H1.11.1	三春	三春	清水	木造中世仏像1体	47									
178	身代り地藏堂奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	天沢寺	未指定	—	三春	三春	清水	絵馬										
179	身代り地藏尊祭り	民俗文化財	無形	祭礼	天沢寺	未指定	—	三春	三春	清水										○	
180	清水の桜	記念物	植物	桜	個人	未指定	—	三春	三春	清水	上遠野家(ソメイヨシノ)1本、鎌田家(ベニシダレ)1本									○	
181	「師範場(しはんば)」	その他	地名			未指定	—	三春	三春	師範場	由来不明地名									○	
182	八十内A遺跡	埋蔵文化財			個人	—	—	三春	三春	八十内			111								
183	八十内B遺跡	埋蔵文化財			個人	—	—	三春	三春	八十内			112								
184	新庚申坂(弓町の遊郭跡)	伝統的建造物群			個人	未指定	—	三春	三春	弓町	近代の遊郭建築						○			○	
185	「弓町(ゆみまち)」	その他	地名			未指定	—	三春	三春	弓町	近世の組屋敷に因む地名										○
186	常楽院桜	記念物	植物	桜	個人	未指定	さくらの会	三春	三春	四軒丁	エドヒガンザクラ1本										
187	「四軒丁(しけんちよう)」	その他	地名			未指定	—	三春	三春	四軒丁	近世の組屋敷に因む地名										
188	庚申坂(旧遊郭跡地)	記念物	遺跡	跡地	個人	未指定	—	三春	三春	庚申坂	近世の遊郭跡地										
189	化粧清水(六地藏と庚申塔)	記念物	名勝地	井泉	個人	未指定	—	三春	三春	化粧坂	六地藏の1基と庚申塔が林立する土手下の井戸。たむら名水玉手箱						○				
190	「化粧坂(けしょうざか)」	その他	地名			未指定	—	三春	三春	化粧坂	近世の組屋敷に因む地名										
191	「番組(ばんぐみ)」	その他	地名			未指定	—	三春	三春	番組	近世の組屋敷に因む地名										
192	八十内公園のかもん桜	記念物	植物	桜	三春町	町指定・さくらの会	H11.8.27	三春	三春	桜ヶ丘	ベニシダレザクラ1本	91									
193	菅船神社・稲荷神社	有形文化財	建造物	神社	個人?	未指定	—	三春	三春	八島台	寺社建築										○
194	高倉旭城筆滝桜図	有形文化財	絵画		個人	町指定	H11.8.27	三春	三春	八島台	近世絵画、軸装	90									
195	鳥の渡り	その他	伝承			未指定	—	三春	三春	八島台	伝承										○
196	城山から見た城下町の風景	文化的景観				未指定	—	三春	三春								○	○			
197	現人神社	有形文化財	建造物	神社	現人神社	未指定	—	沢石	実沢	地神前			62	○							○
198	現人神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	現人神社	未指定	—	沢石	実沢	地神前											
199	熊野神社	有形文化財	建造物	神社	熊野神社	未指定	—	沢石	実沢	里内			63								
200	小高神社	有形文化財	建造物	神社	小高神社	未指定	—	沢石	実沢	西之内			64								
201	小高神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	小高神社	未指定	—	沢石	実沢	西之内											
202	あじさいロード	文化的景観				未指定	—	沢石	実沢	大稲場											○
203	大稲場遺跡	埋蔵文化財				—	—	沢石	実沢	大稲場			223								
204	大稲場B遺跡	埋蔵文化財				—	—	沢石	実沢	大稲場			224								
205	墓地	その他	墓地			未指定	—	沢石	実沢	高畑				○							
206	移川発電所	有形文化財	建造物	産業	東北電力	未指定	—	沢石	実沢	萱ヶ作											○
207	萱ヶ作遺跡	埋蔵文化財				—	—	沢石	実沢	萱ヶ作			30								
208	堂金遺跡	埋蔵文化財				—	—	沢石	実沢	堂金			225								
209	久須斯神社	有形文化財	建造物	神社	久須斯神社	未指定	—	沢石	実沢	薬師堂			66	○							
210	久須斯神社奉納句額	有形文化財	歴史資料	句額	久須斯神社	未指定	—	沢石	実沢	薬師堂											
211	阿弥陀堂	有形文化財	建造物	仏堂	阿弥陀堂	未指定	—	沢石	実沢	永作	寺社建築			73	○						
212	薬師堂	有形文化財	建造物	仏堂	薬師堂	未指定	—	沢石	実沢	永作	不明										○
213	実沢永作遺跡	埋蔵文化財				—	—	沢石	実沢	永作			33								
214	中ノ久保共同墓地	その他	墓地			未指定	—	沢石	実沢	大木屋戸・中ノ久保				○							
215	稲荷神社	有形文化財	建造物	神社	稲荷神社	未指定	—	沢石	実沢	永畑	寺社建築			59	○						
216	飛所遺跡	埋蔵文化財				—	—	沢石	実沢	飛所			222								
217	大日(如来太子)堂	有形文化財	建造物	仏堂	大日堂	未指定	—	沢石	実沢	古沢目			70	○							○
218	大日如来の桜	記念物	植物	桜	大日堂	未指定	—	沢石	実沢	古沢目											○
219	墓地	その他	墓地			未指定	—	沢石	実沢	扇沢1				○							
220	墓地	その他	墓地			未指定	—	沢石	実沢	扇沢2				○							
221	稲荷神社	有形文化財	建造物	神社	稲荷神社	未指定	—	沢石	実沢	開宝山	寺社建築			○							
222	古館(稲荷)神社	有形文化財	建造物	神社	古館神社	未指定	—	沢石	実沢	開宝山	寺社建築			68			○				
223	古館神社奉納句額	有形文化財	歴史資料	句額	古館神社	未指定	—	沢石	実沢	開宝山	句額										
224	実沢館跡	埋蔵文化財	城館			—	—	沢石	実沢	開宝山	中世城館			38							
225	墓地・礼拝堂	その他	墓地			未指定	—	沢石	実沢	開宝山	墓地			○							
226	高木神社〔本殿、拝殿、神楽殿〕	有形文化財	建造物	神社	高木神社	未指定	—	沢石	実沢	宮脇	寺社建築			71	○						○
227	銅鏡	有形文化財	工芸品	金工品	高木神社	町指定	S54.7.16	沢石	実沢	宮脇		16									
228	華鬘一面	有形文化財	工芸品	金工品	高木神社	町指定	S54.7.16	沢石	実沢	宮脇		17									
229	華鬘一对二面	有形文化財	工芸品	金工品	高木神社	町指定	S54.7.16	沢石	実沢	宮脇		18									
230	銅鑪	有形文化財	工芸品	金工品	高木神社	町指定	S54.7.16	沢石	実沢	宮脇		19									
231	高木神社奉納算額	有形文化財	歴史資料	算額	高木神社	未指定	—	沢石	実沢	宮脇	算額										
232	高木神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	高木神社	未指定	—	沢石	実沢	宮脇	絵馬										
233	高木神社の三匹獅子舞	民俗文化財	無形	三匹獅子	高木神社	町指定	H13.4.24	沢石	実沢	宮脇	三匹獅子舞	95									○
234	高木神社のイチイ並木	記念物	植物	樹木	高木神社	未指定	—	沢石	実沢	宮脇	イチイ4本					○	○				

番号	名称	区分1	区分2		所蔵等	指定等	指定等年月日	所在地(地区)	所在地(大字)	所在地(小字)	備考	指定文化財	埋蔵文化財	近世社寺建築緊急調査	国土利用計画	緑の文化財	町民アンケート	中学生アンケート	所有者アンケート	ワークショップ
363	神山の桜	記念物	植物	桜	個人	さくらの会	—	要田	熊耳	神山	ベニシダレザクラ1本				○					
364	墓地	その他	墓地			未指定	—	要田	熊耳	神山・十石窪	墓地				○					
365	庚申地藏	記念物	遺跡	石造物?	地藏	未指定	—	要田	熊耳	南原	石造物?				○					
366	稲荷神社(正一稲荷大明神)	有形文化財	建造物	神社	稲荷神社	未指定	—	要田	熊耳	山之内	寺社建築			25	○					
367	山之内の桜	記念物	植物	桜		未指定	—	要田	熊耳	山之内	ベニシダレザクラ1本(芳山工業裏奥?)				○					
368	鹿壇	記念物	遺跡	古墳		未指定	—	要田	熊耳	八ツ田	旧要田中付近?									○
369	家老石	その他	伝承			未指定	—	要田	熊耳											○
370	千代川稲荷神社[拝殿]	有形文化財	建造物	神社	千代川稲荷	未指定	—	要田	南成田	千代川	寺社建築			138	○					
371	千代川稲荷神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	千代川稲荷	未指定	—	要田	南成田	千代川	絵馬									
372	小沢民芸	無形文化財		工芸		未指定	—	要田	南成田	千代川	三春人形の制作者									
373	弁天様	記念物	遺跡	石造物	弁天	未指定	—	要田	南成田	千代川	石造物?				○					
374	旧墓地	その他	墓地			未指定	—	要田	南成田	千代川	墓地				○					
375	大森神社(稲荷様)[拝殿]	有形文化財	建造物	神社	大森神社	未指定	—	要田	南成田	遊正内	寺社建築			140						
376	遊正内遺跡	埋蔵文化財				—	—	要田	南成田	遊正内			199							
377	草梁内神社(権現様・湯殿神社)[本殿、拝殿]	有形文化財	建造物	神社	湯殿神社	未指定	—	要田	南成田	草深内	寺社建築			139	○					
378	湯殿神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	湯殿神社	未指定	—	要田	南成田	草深内	絵馬									
379	草深内遺跡	埋蔵文化財				—	—	要田	南成田	草深内			200							
380	墓地(湯殿神社)	その他	墓地			未指定	—	要田	南成田	草深内					○					
381	住吉神社(権現様)[拝殿]	有形文化財	建造物	神社	住吉神社	未指定	—	要田	南成田	住吉	寺社建築			136						
382	丸塚古墳	埋蔵文化財	古墳			—	—	要田	南成田	丸塚			47							○
383	丸塚共同墓地	その他	墓地			未指定	—	要田	南成田	丸塚	墓地				○					
384	廣伝寺	有形文化財	建造物	寺院	廣伝寺	未指定	—	要田	南成田	大桜	寺社建築									○
385	南成田の大桜	記念物	植物	桜	町	町指定・さくらの会	H10.5.11	要田	南成田	大桜	エドヒガンザクラ1本	81			○					○
386	大桜遺跡	埋蔵文化財				—	—	要田	南成田	大桜・船引町			43							
387	大桜B遺跡	埋蔵文化財				—	—	要田	南成田	大桜			201							
388	墓地	その他	墓地			未指定	—	要田	南成田	大桜	墓地									
389	薬師様	記念物	遺跡	石造物	薬師	未指定	—	要田	南成田	城四口	石造物?				○					
390	三十夜様	記念物	遺跡	石造物		未指定	—	要田	南成田	城四口	石造物?				○					
391	墓地	その他	墓地			未指定	—	要田	南成田	城四口	墓地									
392	熊野様	記念物	遺跡	石造物	熊野	未指定	—	要田	南成田	前田	石造物?				○					
393	六大様	記念物	遺跡	石造物		未指定	—	要田	南成田	前田・大桜	石造物?				○					
394	白光内虚空蔵尊[拝殿]	有形文化財	建造物	仏堂	虚空蔵	未指定	—	要田	南成田	白光内	寺社建築			135	○					
395	明権様	記念物	遺跡	石造物	妙見	未指定	—	要田	南成田	白光内	石造物?				○					
396	地藏	記念物	遺跡	石造物	地藏	未指定	—	要田	南成田	白光内	石造物?				○					
397	白光内古墳	埋蔵文化財	古墳			—	—	要田	南成田	白光内	古墳			46	○					
398	高御座神社(妙見様)[拝殿]	有形文化財	建造物	神社	高御座神社	未指定	—	要田	南成田	山崎	寺社建築			137						
399	高御座神社奉納馬蹄額	民俗文化財	有形	絵馬	高御座神社	未指定	—	要田	南成田	山崎	絵馬									
400	西小屋館跡	埋蔵文化財	城館			—	—	要田	南成田	西小屋・船引町	中世城館			205						
401	西小屋塚	埋蔵文化財	塚			—	—	要田	南成田	西小屋・船引町	塚			206						
402	墓地	その他	墓地			未指定	—	要田	南成田	西小屋	墓地									
403	鍛冶内虚空蔵尊[本殿、拝殿]	有形文化財	建造物	仏堂	虚空蔵	未指定	—	要田	北成田	鍛冶内	寺社建築			132						
404	旧墓地	その他	墓地			未指定	—	要田	北成田	鍛冶内	墓地				○					
405	墓地	その他	墓地			未指定	—	要田	北成田	鍛冶内					○					
406	墓地	その他	墓地			未指定	—	要田	北成田	友久	墓地				○					
407	津島神社(天王様)[本殿、拝殿]	有形文化財	建造物	神社	津島神社	未指定	—	要田	北成田	七郎内	寺社建築			133	○					○
408	津島神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	津島神社	未指定	—	要田	北成田	七郎内	絵馬									
409	墓地	その他	墓地			未指定	—	要田	北成田	七郎内	墓地				○					
410	成田神社(地鎮様)[本殿、拝殿、神楽殿]	有形文化財	建造物	神社	成田神社	未指定	—	要田	北成田	広畑	寺社建築			134	○					○
411	成田神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	成田神社	未指定	—	要田	北成田	広畑	絵馬									
412	成田の種蒔き桜(成田神社)	記念物	植物	桜	成田神社	緑の文化財、さくらの会		要田	北成田	広畑	エドヒガンザクラ1本									
413	氏神様	有形文化財	建造物	神社		未指定	—	要田	北成田	西姓内	寺社建築				○					
414	そや壇古墳	埋蔵文化財	古墳			未指定	—	要田	北成田	西姓内			35		○					
415	西姓内遺跡	埋蔵文化財				—	—	要田	北成田	西姓内・竹ノ花			36							
416	北成田中屋敷遺跡	埋蔵文化財				—	—	要田	北成田	中屋敷			37							
417	墓地	その他	墓地			未指定	—	要田	北成田	中屋敷	墓地				○					
418	辻遺跡	埋蔵文化財				—	—	要田	北成田	辻			204							
419	津島神社	有形文化財	建造物	神社	津島神社	未指定	—	要田	北成田	殿ノ内	寺社建築				○					
420	庄屋の墓	記念物	遺跡	墳墓		未指定	—	要田	北成田	館	墓				○					
421	こや館跡	埋蔵文化財	城館			—	—	要田	北成田	山中・館・柳沢			40							
422	梶山遺跡	埋蔵文化財				—	—	要田	北成田	梶山			202							

番号	名称	区分1	区分2	所蔵等	指定等	指定等年月日	所在地(地区)	所在地(大字)	所在地(小字)	備考	指定文化財	埋蔵文化財	近世社寺建築緊急調査	国土利用計画	緑の文化財	町民アンケート	中学生アンケート	所有者アンケート	ワークショップ
558	首洗い清水供養塔	記念物	遺跡	石塔	未指定	—	岩江	山田	カフキ	郡山市？									○
559	大宮権現	記念物	遺跡	石造物	未指定	—	岩江	山田	カフキ	石祠			○						○
560	墓地	その他	墓地		未指定	—	岩江	山田	カフキ	墓地			○						
561	山田柳ヶ作遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	山田	柳ヶ作			96							
562	山田戸之内遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	山田	戸之内			13							
563	取上遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	山田	取上			101							
564	寺作観音堂(千手観音)	有形文化財	建造物	仏堂	寺作観音	未指定	—	岩江	山田	寺作			146						
565	神社	有形文化財	建造物	神社		未指定	—	岩江	山田	寺作	寺社建築？		○						
566	墓地	その他	墓地		未指定	—	岩江	山田	菅蒲作	墓地			○						
567	見渡神社跡	記念物	遺跡	旧跡	未指定	—	岩江	山田	宮田	神社跡？									○
568	宮田館跡	埋蔵文化財	城館		—	—	岩江	山田	宮田・郡山市			102							
569	八幡・稲荷神社	有形文化財	建造物	神社		未指定	—	岩江	山田	松ヶ作	寺社建築？		○						
570	墓地	その他	墓地		未指定	—	岩江	山田	クルミヤツ・滝田・松ヶ作	墓地			○						
571	桜川の水車(米つき)	その他	伝承		未指定	—	岩江	山田	滝田	伝承									○
572	子供みこし	民俗文化財	無形	祭礼	未指定	—	岩江	山田		沫蕩神社？						○			
573	小峰稲荷(正一位稲荷大明神)	有形文化財	建造物	神社	稲荷神社	未指定	—	岩江	上舞木	小峰			12						
574	稲荷神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	稲荷神社	未指定	—	岩江	上舞木	小峰	絵馬								
575	神社	有形文化財	建造物	神社		未指定	—	岩江	上舞木	小峰	寺社建築？		○						
576	小峰遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	上舞木	小峰			84							
577	墓地	その他	墓地		未指定	—	岩江	上舞木	小峰	墓地			○						
578	旧墓地	その他	墓地		未指定	—	岩江	上舞木	小峰	旧墓地			○						○
579	寺山観音堂[本堂等](千手観音)	有形文化財	建造物	仏堂	寺山観音	未指定	—	岩江	上舞木	寺山			13	○					○
580	寺山観音清水	記念物	名勝地	井泉	寺山観音	未指定	—	岩江	上舞木	寺山	たむら名水玉手箱					○			
581	旧墓地	その他	墓地		未指定	—	岩江	上舞木	寺山1	旧墓地			○						○
582	旧墓地	その他	墓地		未指定	—	岩江	上舞木	寺山2	旧墓地			○						○
583	田んぼアート(ファームパークいわえ)	文化的景観			未指定	—	岩江	上舞木	板子内	景観							○		
584	板子内A遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	上舞木	板子内			85							
585	板子内B遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	上舞木	板子内			86							
586	上舞木細田遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	上舞木	細田			87							
587	墓地	その他	墓地		未指定	—	岩江	上舞木	細田	墓地			○						
588	熊野神社(大権現)	有形文化財	建造物	神社	熊野神社	未指定	—	岩江	上舞木	平石	寺社建築？		○						
589	熊野神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	熊野神社	未指定	—	岩江	上舞木	平石	絵馬								
590	平石地蔵堂[本堂](子安地蔵)	有形文化財	建造物	仏堂	平石地蔵堂	未指定	—	岩江	上舞木	平石			14	○					
591	大山津見神社	有形文化財	建造物	神社	大山津見神社	未指定	—	岩江	上舞木	向田	寺社建築？								○
592	上舞木向田供養塔	埋蔵文化財	石塔		—	—	岩江	上舞木	向田	延命寺駐車場前に現存		153							
593	上舞木後田遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	上舞木	後田・貝貸田			14							
594	墓地	その他	墓地		未指定	—	岩江	上舞木	荻久保	墓地			○						
595	旧墓地	その他	墓地		未指定	—	岩江	上舞木	荻久保	旧墓地			○						○
596	愛宕神社	有形文化財	建造物	神社	愛宕神社	未指定	—	岩江	上舞木	大峰	寺社建築？								○
597	東松山延命寺	有形文化財	建造物	寺院	延命寺	未指定	—	岩江	上舞木	大峰			144	○					
598	天満宮[本社]	有形文化財	建造物	神社	天満宮	未指定	—	岩江	上舞木	大峰			11	○		○			○
599	天満宮奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	天満宮	未指定	—	岩江	上舞木	大峰	絵馬								
600	玉ヶ瀧	記念物	名勝地		未指定	—	岩江	上舞木	大峰	小さい滝			○			○			○
601	大峰館跡	埋蔵文化財	城館		—	—	岩江	上舞木	大峰			15							
602	大峰A遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	上舞木	大峰			82							
603	大峰B遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	上舞木	大峰			83							
604	旧墓地	その他	墓地		未指定	—	岩江	上舞木	大峰	旧墓地			○						○
605	戸ノ内供養塔跡	記念物	遺跡	旧跡	未指定	—	岩江	上舞木	戸ノ内	向田供養塔？						○			○
606	美代淵	記念物	名勝地		未指定	—	岩江	上舞木	戸ノ内	桜川の淵									
607	今朝三桜	記念物	植物	桜	個人	さくらの会	—	岩江	上舞木	大谷ツ	ベニシダレザクラ1本					○	○		○
608	直毘神社(二社大権現)[本殿、拝殿、幣殿]	有形文化財	建造物	神社	直毘神社	未指定	—	岩江	上舞木	宮ノ前			143	○					
609	直毘神社奉納算額	有形文化財	歴史資料	算額	直毘神社	未指定	—	岩江	上舞木	宮ノ前	算額								
610	直毘神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	直毘神社	未指定	—	岩江	上舞木	宮ノ前	絵馬								
611	直毘神社の太々神楽	民俗文化財	無形	神楽	直毘神社	町指定	H16.6.8	岩江	上舞木	宮ノ前	太々神楽	102							
612	岩江招魂社[本殿](鎮魂社)	有形文化財	建造物	神社		未指定	—	岩江	上舞木	宮ノ前			142	○					
613	上舞木板石供養塔婆	有形文化財	歴史資料	石塔		町指定	S56.12.22	岩江	上舞木	平	板碑	21	152	○					○
614	功德の清水(ベコ清水)	記念物	名勝地	井泉		未指定	—	岩江	上舞木	平	たむら名水玉手箱					○			
615	花立清水	記念物	名勝地	井泉		未指定	—	岩江	上舞木	平	たむら名水玉手箱								
616	竹細工	民俗文化財	無形	工藝		未指定	—	岩江	上舞木										○
617	岩江地区子ども盆踊り	民俗文化財	無形	盆踊り		未指定	—	岩江	上舞木		盆踊り					○			
618	殿様道(街道)・リヤカ一	文化的景観				未指定	—	岩江中妻	上舞木鷹巣		街道跡					○			
619	砂鉄鍊成	その他	伝承		未指定	—	岩江	上舞木											○
620	雷神様	有形文化財	建造物	神社	雷神社	未指定	—	岩江	下舞木	折ノ内	寺社建築？			○					○
621	牛頭天王、八坂神社[本殿、拝殿]	有形文化財	建造物	神社	牛頭天王	未指定	—	岩江	下舞木	岩本			8	○					
622	旧墓地	その他	墓地		未指定	—	岩江	下舞木	岩本	位置不明						○			
623	追越遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	下舞木	追越			76							

番号	名称	区分1	区分2	所蔵等	指定等	指定等年月日	所在地(地区)	所在地(大字)	所在地(小字)	備考	指定文化財	埋蔵文化財	近世社寺建築緊急調査	国土利用計画	緑の文化財	町民アンケート	中学生アンケート	所有者アンケート	ワークショップ
624	一本木遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	下舞木	一本木			77							
625	正一位稻荷神社	有形文化財	建造物	神社	稲荷神社	未指定	岩江	下舞木	北山	寺社建築?									○
626	北山(子育て)地藏堂〔御堂〕	有形文化財	建造物	仏堂	北山地蔵堂	未指定	岩江	下舞木	北山			14	○			○	○		○
627	下舞木西ノ内遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	下舞木	西ノ内			78							
628	山中遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	下舞木	石田・郡山市			79							
629	馬頭尊石碑群(馬頭観音石碑)	記念物	遺跡	石碑		未指定	岩江	下舞木	蛇田	位置不明						○			○
630	墓地	その他	墓地		未指定	—	岩江	下舞木	蛇田・折ノ内	墓地			○						
631	子安地藏堂	有形文化財	建造物	仏堂	子安地藏堂	未指定	岩江	下舞木	正神平	寺社建築?									○
632	正神平遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	下舞木	正神平・郡山市			75							
633	薬師堂(所蔵品)	有形文化財	建造物	仏堂	薬師堂	未指定	岩江	下舞木	石花				9	○					
634	薬師堂奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	薬師堂	未指定	岩江	下舞木	石花	絵馬									
635	薬師如来のかやの木	記念物	植物	樹木	薬師堂	未指定	岩江	下舞木	石花	薬師堂縁起にかかる伝承あり									○
636	小高神社(妙見様)〔本殿、拝殿〕	有形文化財	建造物	神社	小高神社	未指定	岩江	下舞木	石花				10						
637	小高神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	小高神社	未指定	岩江	下舞木	石花	絵馬									
638	石花A遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	下舞木	石花			80							
639	石花B遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	下舞木	石花			151							
640	千手観音	有形文化財	建造物	仏堂	千手観音	未指定	岩江	下舞木	石崎	寺社建築?									
641	千手観音奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	千手観音	未指定	岩江	下舞木	石崎	絵馬									
642	虫内遺跡	埋蔵文化財			—	—	岩江	下舞木	虫内			81							
643	天神講	民俗文化財	無形	行事		未指定	岩江	下舞木											○
644	菅笠づくり	民俗文化財	無形	工芸		未指定	岩江												○
645	屋森遺跡	埋蔵文化財			—	—	中妻	鷹巣	屋森			11							
646	壺斗内遺跡	埋蔵文化財			—	—	中妻	鷹巣	壺斗内			21							
647	墓地	その他	墓地		未指定	—	中妻	鷹巣	壺斗内	墓地				○					
648	墓地	その他	墓地		未指定	—	中妻	鷹巣	瀬山	墓地				○					
649	鷹巣大池	記念物	名勝地	池		未指定	中妻	鷹巣	餅田	ため池				○					
650	熊野神社	有形文化財	建造物	神社	熊野神社	未指定	中妻	鷹巣	坊ノ内	寺社建築?				○					
651	坊ノ内遺跡	埋蔵文化財			—	—	中妻	鷹巣	坊ノ内			20							
652	稲荷大明神	有形文化財	建造物	神社	稲荷神社	未指定	中妻	鷹巣	竹ノ内	寺社建築?				○					
653	鷹巣の一里塚	記念物	遺跡	塚		町指定	H13.4.24	中妻	鷹巣	戸之内	一里塚	92			○				○
654	狐塚	埋蔵文化財			—	—	中妻	鷹巣	狐塚			146							
655	「大日向(おおひなた)」	その他	地名		未指定	—	中妻	鷹巣	大日向	地名									○
656	墓地	その他	墓地		未指定	—	中妻	鷹巣	煙地内・福田	墓地				○					
657	三渡神社(旧三渡大権現)	有形文化財	建造物	神社	見渡神社	未指定	中妻	鷹巣	平松			152	○						○
658	三渡神社付近の藤の木	記念物	植物	樹木	見渡神社	未指定	中妻	鷹巣	平松	天然記念物									○
659	墓地	その他	墓地		未指定	—	中妻	鷹巣	平松	墓地				○					
660	白山比咩神社	有形文化財	建造物	神社	白山比咩神社	未指定	中妻	鷹巣	堤				151	○					○
661	白山比咩神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	白山比咩神社	未指定	中妻	鷹巣	堤	絵馬									
662	堤薬師様(薬師堂)	有形文化財	建造物	仏堂	薬師堂	未指定	中妻	鷹巣	堤			150	○						
663	天道念仏場	記念物	遺跡	旧跡		未指定	中妻	鷹巣	堤・福田	念仏踊り会場か?				○					
664	堤桜	記念物	植物	桜	個人		中妻	鷹巣	堤	ベニシダレザクラ1本									
665	堤館跡	埋蔵文化財	城館		—	—	中妻	鷹巣	堤・高野			49		○					
666	墓地	その他	墓地		未指定	—	中妻	鷹巣	高野・日天	墓地				○					
667	墓地	その他	墓地		未指定	—	中妻	鷹巣	高野・堤	墓地				○					
668	浮内地蔵堂	有形文化財	建造物	仏堂	地蔵堂	未指定	中妻	鷹巣	浮内			149							
669	浮内地蔵堂奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	地蔵堂	未指定	中妻	鷹巣	浮内	絵馬									
670	三春城鬼瓦	有形文化財	歴史資料	瓦	個人	町指定	H11.8.27	中妻	鷹巣	浮内	瓦	88							
671	姥ヶ懐遺跡	埋蔵文化財			—	—	中妻	鷹巣	姥ヶ懐			50							
672	墓地	その他	墓地		未指定	—	中妻	鷹巣	姥ヶ懐	墓地				○					
673	八幡神社(旧八幡大菩薩)〔拝殿等〕	有形文化財	建造物	神社	八幡神社	未指定	中妻	鷹巣	富作				2	○					
674	八幡神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	八幡神社	未指定	中妻	鷹巣	富作	絵馬									
675	鷹巣小学校跡地の桜	記念物	植物	桜		未指定	中妻	鷹巣	畑中	ソメイヨシノ多数									○
676	墓地	その他	墓地		未指定	—	中妻	鷹巣	畑中	墓地				○					
677	日天遺跡	埋蔵文化財			—	—	中妻	鷹巣	日天			88							
678	宇賀石(神)様	記念物	遺跡	石造物		未指定	中妻	鷹巣	宇賀石	石造物?				○					
679	般若壇古墳	埋蔵文化財	古墳		—	—	中妻	鷹巣	梅ノ木作			16							
680	弘法壇古墳	記念物	遺跡	古墳		未指定	中妻	鷹巣	宮影	古墳?(泉田と同じ?)				○					
681	泉田古墳	埋蔵文化財	古墳		—	—	中妻	鷹巣	宮影			17							
682	八雲神社〔拝殿、幣殿、本殿等〕	有形文化財	建造物	神社	八雲神社	未指定	中妻	鷹巣	泉田	旧中高村々社(鷹巣鎮守、きゅうり天王)			4	○					○
683	八雲神社奉納算額	有形文化財	歴史資料	算額	八雲神社	未指定	中妻	鷹巣	泉田	算額									
684	八雲神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	八雲神社	未指定	中妻	鷹巣	泉田	絵馬									
685	鷹巣神社	有形文化財	建造物	神社	鷹巣神社	未指定	中妻	鷹巣	泉田	(寺社建築4)			-4	○					
686	園通山善應寺	有形文化財	建造物	寺院	善應寺	未指定	中妻	鷹巣	泉田				3	○					
687	泉田A遺跡	埋蔵文化財			—	—	中妻	鷹巣	泉田			19							

番号	名称	区分1	区分2		所蔵等	指定等	指定等年月日	所在地(地区)	所在地(大字)	所在地(小字)	備考	指定文化財	埋蔵文化財	近世寺建築緊急調査	国土利用計画	緑の文化財	町民アンケート	中学生アンケート	所有者アンケート	ワークショップ	
688	泉田B遺跡	埋蔵文化財				—	—	中妻	鷹巣	泉田			93								
689	泉田C遺跡	埋蔵文化財				—	—	中妻	鷹巣	泉田			94								
690	鷹巣北ノ内遺跡	埋蔵文化財				—	—	中妻	鷹巣	北ノ内			18								
691	神社	有形文化財	建造物	神社		未指定	—	中妻	沼沢	浜井場	寺社建築?				○						
692	旧江戸街道(殿様道)の矢掛の松	記念物	植物	樹木		未指定	—	中妻	鷹巣	浜井場	旧街道沿いの松								○		
693	「浜井場(はまいば)」	その他	地名			未指定	—	中妻	鷹巣	浜井場	地名										○
694	鷹巣大久保遺跡	埋蔵文化財				—	—	中妻	鷹巣	大久保			95								
695	醫王山薬師寺〔本堂、瑠璃光薬師堂〕	有形文化財	建造物	寺院	薬師寺	未指定	—	中妻	鷹巣	薬師堂	寺社建築1・7		1・7	○							
696	お薬師様聖観音	有形文化財	彫刻	仏像	薬師寺	未指定	—	中妻	鷹巣	薬師堂	仏像			○							
697	薬師堂奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	薬師寺	未指定	—	中妻	鷹巣	薬師堂	絵馬										
698	墓地	その他	墓地			未指定	—	中妻	鷹巣	薬師堂	墓地				○						
699	子安観世音(行屋)	有形文化財	建造物	仏堂	子安観音堂	未指定	—	中妻	鷹巣	菖蒲作			147	○							
700	子安観音堂奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	子安観音堂	未指定	—	中妻	鷹巣	菖蒲作	絵馬										
701	道祖神	記念物	遺跡	石造物		未指定	—	中妻	鷹巣	菖蒲作	石造物?				○						
702	墓地	その他	墓地			未指定	—	中妻	鷹巣	菖蒲作・坂下	墓地				○						
703	墓地	その他	墓地			未指定	—	中妻	鷹巣	日影	墓地				○						
704	鷹巣後田館跡	埋蔵文化財	城館			—	—	中妻	鷹巣	大柳・菖蒲作・坂下			12								
705	春日神社(鎮守様)〔本殿、拝殿等〕	有形文化財	建造物	神社	春日神社	未指定	—	中妻	沼沢	宮ノ前				6	○		○				○
706	春日神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	春日神社	未指定	—	中妻	沼沢	宮ノ前	絵馬										
707	愛宕神社(大権現)	有形文化財	建造物	神社	愛宕神社	未指定	—	中妻	沼沢	宮ノ前				153	○						○
708	愛宕神社の石仏立像	記念物	遺跡	石造物	愛宕神社	未指定	—	中妻	沼沢	宮ノ前	石仏									○	
709	大祥院文書二通	有形文化財	古文書		個人	町指定	H1.11.1	中妻	沼沢	宮ノ前	中世文書2通	38									
710	馬頭観音石碑	記念物	遺跡	石造物		未指定	—	中妻	沼沢	宮ノ前	石碑									○	
711	春日神社の杉・松	記念物	植物	樹木	春日神社	未指定	—	中妻	沼沢	宮ノ前	天然記念物									○	
712	沼沢宮ノ前遺跡	埋蔵文化財				—	—	中妻	沼沢	宮ノ前			89								
713	弘法様石仏座像	記念物	遺跡	石造物		未指定	—	中妻	沼沢	古館	石仏				○						
714	弘法桜	記念物	植物	桜		さくらの会	—	中妻	沼沢	古館	エドヒガンザクラ2本						○			○	
715	古館A遺跡	埋蔵文化財				—	—	中妻	沼沢	古館			90								
716	古館B遺跡	埋蔵文化財				—	—	中妻	沼沢	古館			91								
717	疱瘡(もがみ)様	記念物	遺跡	石造物		未指定	—	中妻	沼沢	新屋敷	石造物?									○	
718	神ノ上遺跡	埋蔵文化財				—	—	中妻	沼沢	神ノ上			92								
719	宝石山紫雲院光明寺	有形文化財	建造物	寺院	光明寺	未指定	—	中妻	沼沢	館			148	○							○
720	(光明寺)子安薬師堂	有形文化財	建造物	仏堂	光明寺	未指定	—	中妻	沼沢	館			5	○							
721	子安薬師厨子	有形文化財	彫刻	厨子	光明寺	町指定	S56.12.22	中妻	沼沢	館	厨子	27								○	
722	子安薬師堂奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	光明寺	未指定	—	中妻	沼沢	館	絵馬										
723	数珠回し	民俗文化財	無形	行事		未指定	—	中妻	沼沢	館	弘法桜の根本での数珠廻し										○
724	沼沢館跡	埋蔵文化財	城館			—	—	中妻	沼沢	館・神ノ上・北ノ作	中世城館		54		○						
725	墓地	その他	墓地			未指定	—	中妻	沼沢	館	墓地				○						
726	日清・日露戦争慰霊碑	記念物	遺跡	石碑		未指定	—	中妻	沼沢	町田	石碑									○	
727	町田板石供養塔婆	有形文化財	歴史資料	石塔		町指定	S56.12.22	中妻	斎藤	町田	板碑	26	147								
728	斎藤町田遺跡	埋蔵文化財				—	—	中妻	斎藤	町田			99								
729	墓地	その他	墓地			未指定	—	中妻	斎藤	町田	墓地				○						
730	斎藤字三本木付近の古い道	文化的景観				未指定	—	中妻	斎藤	三本木	旧道										○
731	三本木館跡	埋蔵文化財	城館			—	—	中妻	斎藤	三本木			150								
732	向田板石供養塔婆(応長の板碑)	有形文化財	歴史資料	石塔		町指定	S56.12.22	中妻	斎藤	場上田	板碑	20	149		○						
733	花立て地藏さま	記念物	遺跡	石造物	地藏	未指定	—	中妻	斎藤	場上田	地藏				○						
734	大和田広治顕彰碑	記念物	遺跡	石碑		未指定	—	中妻	斎藤	場上田	石碑						○				
735	仁井道館跡	埋蔵文化財	城館			—	—	中妻	斎藤	仁井道			69								
736	斎藤長久保館跡	埋蔵文化財	城館			—	—	中妻	斎藤	長久保			64								
737	斎藤長久保塚群	埋蔵文化財	塚			—	—	中妻	斎藤	長久保			100								
738	安養庵(寺)	有形文化財	建造物	寺院	安養寺	未指定	—	中妻	斎藤	斎藤	(現在の堂宇はその後の再建)			123	○			○			○
739	安養寺の数珠回し	民俗文化財	無形	行事	安養寺	未指定	—	中妻	斎藤	斎藤	行事										
740	松樹神社(妙見様)	有形文化財	建造物	神社	松樹神社	未指定	—	中妻	斎藤	斎藤				124	○						
741	斎藤館跡	埋蔵文化財	城館			—	—	中妻	斎藤	斎藤・里内			63								
742	墓地	その他	墓地			未指定	—	中妻	斎藤	斎藤	墓地				○						
743	愛宕神社(権現様)	有形文化財	建造物	神社	愛宕神社	未指定	—	中妻	斎藤	戸ノ内				36	○						○
744	見渡神社〔本殿・幣殿・拝殿・神楽殿〕(旧三渡神社)	有形文化財	建造物	神社	見渡神社	未指定	—	中妻	斎藤	戸ノ内				35・122	○						○
745	見渡神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	見渡神社	未指定	—	中妻	斎藤	戸ノ内	絵馬										
746	斎藤の太々神楽	民俗文化財	無形	神楽	見渡神社	町指定	S58.9.20	中妻	斎藤	戸ノ内	太々神楽	35									
747	戸ノ内板石供養塔婆	有形文化財	歴史資料	石塔		町指定	S56.12.22	中妻	斎藤	戸ノ内		25	148		○						○
748	霊泉神社(斎藤上の湯)	有形文化財	建造物	神社	霊泉神社	未指定	—	中妻	斎藤	上河原				125							
749	鑛泉神社(斎藤下の湯)	有形文化財	建造物	神社	鑛泉神社	未指定	—	中妻	斎藤	惣角地				126							
750	墓地	その他	墓地			未指定	—	中妻	斎藤	大日向	墓地				○						
751	三階堂地藏堂	有形文化財	建造物	仏堂		未指定	—	中妻	西方	石畑				120	○						

番号	名称	区分1	区分2		所蔵等	指定等	指定等年月日	所在地(地区)	所在地(大字)	所在地(小字)	備考	指定文化財	埋蔵文化財	近世社寺建築緊急調査	国土利用計画	緑の文化財	町民アンケート	中学生アンケート	所有者アンケート	ワークショップ
752	墓地	その他	墓地			未指定	—	中妻	西方	石畑	墓地			○						
753	浮貝遺跡	埋蔵文化財				—	—	中妻	西方	浮貝			55							
754	和尚壇(跡)	記念物	遺跡	旧跡		未指定	—	中妻	西方	後作	塚跡?			○						○
755	不動堂	有形文化財	建造物	仏堂		未指定	—	中妻	西方	西方前	寺社建築121が移動?			121	○		○			
756	馬頭観音(乳つけ観音)堂	有形文化財	建造物	仏堂	馬頭観音堂	未指定	—	中妻	西方	西方前				34	○		○		○	
757	馬頭観音堂奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	馬頭観音堂	未指定	—	中妻	西方	西方前	絵馬									
758	観音堂	有形文化財	建造物	仏堂		未指定	—	中妻	西方	西方前				119						
759	行井戸	記念物	名勝地	井泉		未指定	—	中妻	西方	西方前	水かけ祭り関連			○						
760	西方前遺跡	埋蔵文化財				—	—	中妻	西方	西方前			60							
761	塩釜神社[拝殿・奥院等]	有形文化財	建造物	神社	塩釜神社	未指定	—	中妻	西方	中ノ内				33	○					
762	塩釜神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	塩釜神社	未指定	—	中妻	西方	中ノ内	絵馬									
763	西方の水かけ祭	民俗文化財	無形	祭礼		町指定	S58.9.20	中妻	西方	仲ノ内	祭礼	34								
764	三春ダム	有形文化財	建造物	産業		未指定	—	中妻	西方	中ノ内	現代遺構						○			
765	三春ダム管理棟・資料館(大高正人設計)	有形文化財	建造物	大高		未指定	—	中妻	西方	中ノ内	現代建築						○			
766	妙見神社	有形文化財	建造物	神社	妙見神社	未指定	—	中妻	西方	中ノ内				118	○					
767	西方館跡	埋蔵文化財	城館			—	—	中妻	西方	中ノ内			58	○						
768	西方中ノ内塚	埋蔵文化財	塚			—	—	中妻	西方	中ノ内			59							
769	墓地	その他	墓地			未指定	—	中妻	西方	中ノ内	墓地			○						
770	湖底に沈むふるさとの碑	記念物	遺跡	石碑		未指定	—	中妻	西方	向山	ダム建設関連石碑			○						
771	魚族増殖之碑	記念物	遺跡	石碑		未指定	—	中妻	西方	向山	ダム関連石碑			○						
772	向山A遺跡	埋蔵文化財				—	—	中妻	西方	向山			61							
773	向山B遺跡	埋蔵文化財				—	—	中妻	西方	向山			65							
774	餅まき(馬・牛の子が生まれた時)	民俗文化財	無形	行事		未指定	—	中妻			行事									○
775	伊勢講	民俗文化財	無形	行事		未指定	—	中妻			講									○
776	おかま講	民俗文化財	無形	行事		未指定	—	中妻			講									松
777	しめ縄もじり	民俗文化財	無形	行事		未指定	—	中妻												○
778	滝板石供養塔婆	有形文化財	歴史資料	石塔		町指定	S56.12.22	中郷	滝	高野		24	134							
779	田村家枝垂桜群	記念物	植物	桜	個人	さくらの会		中郷	滝	高野	ベニシダレザクラ7本									
780	墓地	その他	墓地			未指定	—	中郷	滝	高野	墓地			○						
781	延命地蔵	有形文化財	建造物	仏堂?		未指定	—	中郷	滝	嘉屋				129						
782	墓地	その他	墓地			未指定	—	中郷	滝	嘉屋	墓地			○						
783	三春滝ザクラ	記念物	植物	桜	国	国指定	T11.10.12	中郷	滝	桜久保	ベニシダレザクラ1本	○					○			○
784	滝ザクラ周辺(御殿場・花見が丘)	文化的景観				未指定	—	中郷	滝	滝久保・桜久保	景観			○						
785	桜久保遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	滝	桜久保			135							
786	滝の平周辺の景観	文化的景観				未指定	—	中郷	滝	吉田	景観 上皇后手蒔桜									
787	吉田塚	埋蔵文化財	塚			—	—	中郷	滝	吉田			56							
788	滝吉田遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	滝	吉田			119							
789	稲荷神社[本殿、拝殿等]	有形文化財	建造物	神社	稲荷神社	未指定	—	中郷	滝	滝久保				127	○					○
790	稲荷神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	稲荷神社	未指定	—	中郷	滝	滝久保	絵馬									
791	滝の三匹獅子舞	民俗文化財	無形	三匹獅子	稲荷神社	未指定	—	中郷	滝	滝久保	断絶									○
792	墓地	その他	墓地			未指定	—	中郷	滝	滝久保	墓地			○						
793	柴原B遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	滝	五合田			71							
794	大雲山龍光寺	有形文化財	建造物	寺院	龍光寺	未指定	—	中郷	滝	岩ノ入				45	○					○
795	馬頭観音・不動堂	有形文化財	建造物	仏堂	龍光寺	未指定	—	中郷	滝	岩ノ入				46	○					
796	不動尊・観音像	有形文化財	彫刻	仏像	龍光寺	未指定	—	中郷	滝	岩ノ入	仏像2体									○
797	馬頭観音堂奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	龍光寺	未指定	—	中郷	滝	岩ノ入	絵馬									○
798	龍光寺桜	記念物	植物	桜	龍光寺	さくらの会		中郷	滝	岩ノ入	ベニシダレザクラ1本									
799	柴原大平遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	柴原	大平			120							
800	柴原A遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	柴原	柴原			53							
801	柴原神社	有形文化財	建造物	神社	柴原神社	未指定	—	中郷	柴原	苅又	寺社建築			○						○
802	柴原神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	柴原神社	未指定	—	中郷	柴原	苅又	絵馬									
803	苅又遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	柴原	苅又			142							
804	墓地	その他	墓地			未指定	—	中郷	柴原	苅又	墓地			○						
805	馬頭観音堂	有形文化財	建造物	仏堂	滑津観音堂	未指定	—	中郷	柴原	神久保	寺社建築									○
806	馬頭観音堂奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	滑津観音堂	未指定	—	中郷	柴原	神久保	絵馬									
807	馬頭観音庚申様	記念物	遺跡	石塔	馬頭観音堂	未指定	—	中郷	柴原	神久保	石造物			○						
808	柴原観音桜(馬頭観音境内)	記念物	植物	桜	馬頭観音堂	さくらの会		中郷	柴原	神久保	ベニシダレザクラ1本									
809	北ノ丘公園	文化的景観				未指定	—	中郷	柴原	神久保・菰久保	景観、桜			○						
810	日枝神社	有形文化財	建造物	神社	日枝神社	未指定	—	中郷	柴原	滑津	寺社建築			○						○
811	夫婦桜(日枝神社)	記念物	植物	桜	日枝神社	さくらの会		中郷	柴原	滑津	ベニシダレザクラ2本									
812	稲荷神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	稲荷神社	未指定	—	中郷	柴原	滑津	絵馬									
813	桜並木	記念物	植物	桜		未指定	—	中郷	柴原	滑津・神久保	桜並木			○						
814	柴原館跡	埋蔵文化財	城館			—	—	中郷	柴原	滑津			52							
815	柴原四合内A遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	柴原	四合内			144							
816	柴原四合内B遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	柴原	四合内			145							
817	薬師堂	有形文化財	建造物	仏堂	薬師堂	未指定	—	中郷	柴原	広戸	寺社建築			○						○

番号	名称	区分1	区分2		所蔵等	指定等	指定等年月日	所在地(地区)	所在地(大字)	所在地(小字)	備考	指定文化財	埋蔵文化財	近世寺建築緊急調査	国土利用計画	緑の文化財	町民アンケート	中学生アンケート	所有者アンケート	ワークショップ
818	薬師堂奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	薬師堂	未指定	—	中郷	柴原	広戸	絵馬									
819	広戸遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	柴原	広戸・杉山			143							
820	見渡神社	有形文化財	建造物	神社	見渡神社	未指定	—	中郷	込木	宮ノ下	寺社建築			○						○
821	見渡神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	見渡神社	未指定	—	中郷	込木	宮ノ下	絵馬									○
822	込木地蔵桜	記念物	植物	桜	見渡神社	さくらの会	—	中郷	込木	宮ノ下	ベニシダレザクラ1本				○					○
823	墓地	その他	墓地			未指定	—	中郷	込木	宮ノ下	墓地			○						
824	墓地	その他	墓地			未指定	—	中郷	込木	田中	墓地			○						
825	柳ヶ作の桜	記念物	植物	桜		未指定	—	中郷	込木	柳ヶ作				○						
826	川平遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	込木	川平			98							
827	念仏講(数珠回し)	民俗文化財	無形	行事		未指定	—	中郷	込木											○
828	石碑群(込木旧公民館跡)	記念物	遺跡	石碑		未指定	—	中郷	込木	宮ノ下										○
829	「込木(くぐりき)」	その他	地名			未指定	—	中郷	込木		地名									○
830	熊野神社	有形文化財	建造物	神社	熊野神社	未指定	—	中郷	薬内	庚申坂	寺社建築			○						
831	金刀比羅神社	有形文化財	建造物	神社	金比羅神社	未指定	—	中郷	薬内	薬内	寺社建築			○						
832	金比羅神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	金比羅神社	未指定	—	中郷	薬内	薬内	絵馬									
833	墓地	その他	墓地			未指定	—	中郷	薬内	孝戸	墓地			○						
834	小鳥山公園	記念物	名勝地	公園		未指定	—	中郷	芹ヶ沢	長作	近代公園			○						
835	長作B遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	芹ヶ沢	長作			165							
836	長作A遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	芹ヶ沢	長作			113							
837	墓地	その他	墓地			未指定	—	中郷	芹ヶ沢	長作	墓地			○						
838	中久保遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	芹ヶ沢	中久保			115							
839	深作B遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	芹ヶ沢	深作			167							
840	深作A遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	芹ヶ沢	深作			116							
841	背上A遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	芹ヶ沢	背上			166							
842	津島神社	有形文化財	建造物	神社	津島神社	未指定	—	中郷	芹ヶ沢	横台道	寺社建築			○						
843	津島神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	津島神社	未指定	—	中郷	芹ヶ沢	横台道	絵馬									
844	芹ヶ沢桜	記念物	植物	桜	個人	さくらの会	—	中郷	芹ヶ沢	横台道	ベニシダレザクラ1本				○					
845	横台道遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	芹ヶ沢	横台道			114							
846	三春町民体育館(大高正人設計)	有形文化財	建造物	大高	町	未指定	—	中郷	貝山	泉沢	現代建築						○			
847	貝山道祖神	記念物	遺跡	石造物		未指定	—	中郷	貝山	馬場	石造物?									
848	貝山馬場供養塔	埋蔵文化財	石塔			—	—	中郷	貝山	馬場	板碑		157							
849	貝山馬場遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	貝山	馬場			107							
850	貝山館跡	埋蔵文化財	城館			—	—	中郷	貝山	山崎・東田			24							
851	貝山大谷津A遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	貝山	大谷津			109							
852	貝山大谷津B遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	貝山	大谷津			110							
853	大池	記念物	名勝地	池		未指定	—	中郷	貝山	東田	ため池			○						
854	東田遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	貝山	東田			108							
855	前ノ久保B遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	貝山	前ノ久保			25							
856	前ノ久保塚	埋蔵文化財	塚			—	—	中郷	貝山	前ノ久保			26							
857	前ノ久保A遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	貝山	前ノ久保			27							
858	石戸遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	貝山	前ノ久保			51							
859	笠松地蔵	有形文化財	建造物	仏堂		未指定	—	中郷	貝山	井堀田										○
860	古内前通B塚	埋蔵文化財	塚		塚	—	—	中郷	貝山	古内前通			154							
861	古内前通A塚群	埋蔵文化財	塚		塚	—	—	中郷	貝山	古内前通			23							
862	貝山古内遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	貝山	古内			104							
863	白山比咩神社〔本殿、幣殿、拝殿〕	有形文化財	建造物	神社	白山比咩神社	未指定	—	中郷	貝山	宮ノ下	寺社建築			○						○
864	白山比咩神社の祭り	民俗文化財	無形	祭礼	白山比咩神社	未指定	—	中郷	貝山	宮ノ下	祭礼、獅子舞						○			
865	白山比咩神社のブナ	記念物	植物	樹木	白山比咩神社	町指定	H10.5.11	中郷	貝山	宮ノ下	ブナ1本、ほかに数本群生	80								
866	貝山宮ノ下B遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	貝山	宮ノ下			117							
867	貝山宮ノ下A遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	貝山	宮ノ下			105							
868	貝山沼ノ倉遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	貝山	沼ノ倉			103							
869	貝山福内供養塔	埋蔵文化財	石塔			—	—	中郷	貝山	福内			155							
870	貝山福内遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	貝山	福内			22							
871	大石・稲荷神社	有形文化財	建造物	神社	大石神社	未指定	—	中郷	貝山	馬千内	巨石と寺社建築			○						○
872	オサン壇塚群	埋蔵文化財	塚			—	—	中郷	貝山	馬千内			156							
873	薬師堂	有形文化財	建造物	仏堂	薬師堂	未指定	—	中郷	貝山	堀ノ内	寺社建築									○
874	薬師(観音)堂奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	薬師堂	未指定	—	中郷	貝山	堀ノ内	絵馬									
875	貝山薬師桜	記念物	植物	桜	個人	さくらの会	—	中郷	貝山	堀ノ内	ベニシダレザクラ1本									
876	貝山堀ノ内塚群	埋蔵文化財	塚			—	—	中郷	貝山	堀ノ内			227							
877	貝山堀ノ内遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	貝山	堀ノ内			106							
878	甘酒祭り	民俗文化財	無形	行事		未指定	—	中郷	貝山	岩田	行事									○
879	神明宮(三春大神宮)旧地	記念物	遺跡	旧跡		未指定	—	中郷	貝山	岩田	旧跡									
880	倉成神社	有形文化財	建造物	神社		未指定	—	中郷	蛇沢	北ノ内	寺社建築			○						

番号	名称	区分1	区分2	所蔵等	指定等	指定等年月日	所在地(地区)	所在地(大字)	所在地(小字)	備考	指定文化財	埋蔵文化財	近世社寺建築緊急調査	国土利用計画	緑の文化財	町民アンケート	中学生アンケート	所有者アンケート	ワークショップ
881	春沢共同墓地	その他	墓地		未指定	—	中郷	蛇沢	北ノ内	墓地				○					
882	稻荷神社	有形文化財	建造物	神社	稲荷神社	未指定	中郷	蛇沢	蛇沢	寺社建築				○					
883	蛇沢館跡	埋蔵文化財	城館		—	—	中郷	蛇沢	蛇沢			121							
884	蛇沢下田遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	蛇沢	下田			125							
885	向山遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	春田	春田			228							
886	春田遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	春田	春田			57							
887	春田B遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	春田	春田			124							
888	春田沼倉遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	春田	沼倉			118							
889	聖徳太子	有形文化財	建造物	仏堂?	未指定	—	中郷	春田	道城	現在地不明			51					○	
890	春田大橋	有形文化財	建造物	産業	未指定	—	中郷	春田	道城										
891	道城遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	春田	道城			231							
892	見渡日枝神社	有形文化財	建造物	神社	見渡日枝神社	未指定	中郷	春沢	春沢	日枝神社は春田字道城から移転			50	○					
893	見渡日枝神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	見渡日枝神社	未指定	中郷	春田	春沢	絵馬									
894	地蔵尊	記念物	遺跡	石造物	未指定	—	中郷	春沢	春沢	石造物?				○					
895	聖徳大子堂	有形文化財	建造物	仏堂	聖徳太子堂	未指定	中郷	狐田	折ノ内				47						
896	折ノ内遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	狐田	折ノ内			66							
897	狐田稲荷神社〔拝殿、本殿、幣殿〕	有形文化財	建造物	神社	狐田稲荷神社あ	未指定	中郷	狐田	狐田				49	○					○
898	狐田稲荷神社奉納算額	有形文化財	歴史資料	算額	狐田稲荷神社	未指定	中郷	狐田	狐田	算額									
899	狐田稲荷神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	狐田稲荷神社	未指定	中郷	狐田	狐田	絵馬									
900	少林山桂昌寺	有形文化財	建造物	寺院	桂昌寺	未指定	中郷	狐田	狐田				48						
901	三白目稲荷神社	有形文化財	建造物	神社	稲荷神社	未指定	中郷	狐田	狐田				131						
902	飯渡権現(稚産霊命)	有形文化財	建造物	神社		未指定	中郷	狐田	五郎内				130						
903	地蔵尊	有形文化財	建造物	仏堂		未指定	中郷	狐田	深谷				128						
904	深谷遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	狐田	深谷			67							
905	深谷B遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	狐田	深谷			229							
906	狐田馬場遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	狐田	馬場			68							
907	狐田馬場B遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	狐田	馬場			136							
908	元内遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	過足	元内			138							
909	菅布祢神社(菅船大神宮)〔本殿、拝殿〕	有形文化財	建造物	神社	菅布祢神社	未指定	中郷	過足	館				41	○					○
910	菅布祢神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	菅布祢神社	未指定	中郷	過足	館	絵馬									
911	木幡神社	有形文化財	建造物	神社	木幡神社	未指定	中郷	過足	館				42						
912	木幡神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	木幡神社	未指定	中郷	過足	館	絵馬									
913	過足館跡	埋蔵文化財	城館		館跡	—	中郷	過足	館			137							
914	過足久保遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	過足	久保			139							
915	過足久保塚	埋蔵文化財	塚		—	—	中郷	過足	久保			140							
916	墓地	その他	墓地		未指定	—	中郷	過足	久保	墓地				○					
917	笑月山全應寺	有形文化財	建造物	寺院	全應寺	未指定	中郷	過足	寺の前				44	○					
918	春日神社	有形文化財	建造物	神社	春日神社	未指定	中郷	過足	長久保	寺社建築				○					
919	愛宕神社	有形文化財	建造物	神社	愛宕神社	未指定	中郷	過足	長久保	寺社建築				○					
920	過足岩ノ入遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	過足	岩ノ入			141							
921	墓地	その他	墓地		未指定	—	中郷	過足	岩ノ入	墓地				○					
922	人福地蔵尊堂	有形文化財	建造物	仏堂	人福地蔵堂	未指定	中郷	過足	下屋敷				40	○					
923	人福地蔵尊奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	人福地蔵堂	未指定	中郷	過足	下屋敷	絵馬									
924	仁渡神社	有形文化財	建造物	神社	仁渡神社	未指定	中郷	過足	下屋敷	寺社建築?				○					
925	菅布祢神社〔本殿、拝殿等〕	有形文化財	建造物	神社	菅布祢神社	未指定	中郷	過足	下屋敷	館から分社			43	○					
926	菅布祢神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	菅布祢神社	未指定	中郷	過足	下屋敷	絵馬									
927	過足(よぎあし)	その他	地名		未指定	—	中郷	過足		地名									○
928	根本四合内A遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	根本	四合内			230							
929	根本四合内B遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	根本	四合内			128							
930	東光寺観音堂	有形文化財	建造物	仏堂	東光寺	未指定	中郷	根本	光谷				37	○					
931	木造正観音像	有形文化財	彫刻	仏像	東光寺	町指定	S60.4.1	中郷	根本	光谷	44								
932	東光寺観音堂奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	東光寺	未指定	中郷	根本	光谷	絵馬									
933	稲荷明神〔拝殿〕	有形文化財	建造物	神社	稲荷神社	未指定	中郷	根本	光谷				38						
934	光谷遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	根本	光谷			122							
935	墓地	その他	墓地		未指定	—	中郷	根本	光谷					○					
936	仲平遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	根本	仲平			74							
937	仲平B塚	埋蔵文化財	塚		—	—	中郷	根本	仲平			97							
938	仲平A塚群	埋蔵文化財	塚		—	—	中郷	根本	仲平			132							
939	八王子神社、根本神社〔本殿、拝殿〕	有形文化財	建造物	神社	八王子神社	未指定	中郷	根本	西ノ内				39	○					
940	八王子神社奉納絵馬	民俗文化財	有形	絵馬	八王子神社	未指定	中郷	根本	西ノ内	絵馬									
941	墓地	その他	墓地		未指定	—	中郷	根本	西ノ内					○					
942	笠石八幡宮	有形文化財	建造物	神社	笠石八幡宮	未指定	中郷	根本	東平	寺社建築				○					
943	東平遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	根本	東平			123							
944	稲荷神社	有形文化財	建造物	神社	稲荷神社	未指定	中郷	根本	一矢間	寺社建築				○					
945	一矢間遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	根本	一矢間			130							
946	一矢間B遺跡	埋蔵文化財			—	—	中郷	根本	一矢間			131							
947	桜	記念物	植物	桜	未指定	—	中郷	樋渡	菅石田	詳細不明				○					
948	墓地	その他	墓地		未指定	—	中郷	樋渡	菅石田					○					

番号	名称	区分1	区分2		所蔵等	指定等	指定等年月日	所在地(地区)	所在地(大字)	所在地(小字)	備考	指定文化財	埋蔵文化財	近世寺建築緊急調査	国土利用計画	緑の文化財	町民アンケート	中学生アンケート	所有者アンケート	ワークショップ
949	樋渡神社〔本殿、拝殿〕	有形文化財	建造物	神社	樋渡神社	未指定	—	中郷	樋渡	不動滝				108	○				○	○
950	樋渡観音堂(千手観世音)	有形文化財	建造物	仏堂		未指定	—	中郷	樋渡	不動滝	樋渡神社手前			54					○	○
951	樋渡の三匹獅子舞	民俗文化財	無形の民俗文化財	三匹獅子	樋渡神社	町指定	H16.6.8	中郷	樋渡	不動滝	三匹獅子	101								○
952	天神様	有形文化財	建造物	神社		未指定	—	中郷	樋渡	不動滝	寺社建築?				○					
953	樋渡A遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	樋渡	不動滝			129							
954	阿弥陀如来(阿弥陀堂)	有形文化財	建造物	仏堂		未指定	—	中郷	樋渡	下ノ前				109					○	
955	田村観音堂	有形文化財	建造物	仏堂		未指定	—	中郷	樋渡	下ノ前										○
956	下ノ前B遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	樋渡	下ノ前			72							
957	下ノ前A遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	樋渡	下ノ前			73							
958	聖徳太子(太子堂)	有形文化財	建造物	仏堂		未指定	—	中郷	蛇石	谷都				55	○					
959	蛇神様蔵島神社〔本殿〕	有形文化財	建造物	神社	蔵島神社	未指定	—	中郷	蛇石	蛇石前	越田和から移転			52	○					
960	蛇石の三匹獅子舞	民俗文化財	無形	三匹獅子	蔵島神社	町指定	H16.6.8	中郷	蛇石	蛇石前	三匹獅子	100								
961	王子神社〔本殿、拝殿、幣殿等〕	有形文化財	建造物	神社	王子神社	未指定	—	中郷	蛇石	蛇石前	越田和から移転			53	○					○
962	三渡神社	有形文化財	建造物	神社	見渡神社	未指定	—	中郷	蛇石	蛇石前	寺社建築				○					
963	延命地藏尊	有形文化財	建造物	仏堂		未指定	—	中郷	蛇石	蛇石前				56						
964	蛇石前遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	蛇石	蛇石前			127							
965	蛇石	記念物	伝承		王子神社	未指定	—	中郷	蛇石	蛇石前	越田和から移転				○					○
966	蔵主稲荷大明神	有形文化財	建造物	神社	稲荷神社	未指定	—	中郷	蛇石	左工門坂				57						
967	蛇石越田和遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	蛇石	越田和			126							
968	金水塚	埋蔵文化財	塚			—	—	中郷	蛇石	金水			70							
969	虚空蔵尊	有形文化財	建造物	仏堂?		未指定	—	中郷	蛇石	上金水	寺社建築				○					
970	金水法印様(龍蔵院)	有形文化財	建造物	仏堂	龍蔵院	未指定	—	中郷	蛇石	上金水	寺社建築									○
971	上金水遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	蛇石	上金水			133							
972	墓地	その他	墓地			未指定	—	中郷	蛇石	上金水	墓地				○					
973	中堂延命地藏	有形文化財	建造物	地蔵		未指定	—	中郷	蛇石	蛇石				110	○					
974	蛇石遺跡	埋蔵文化財				—	—	中郷	蛇石	蛇石			62							
975	天神講	民俗文化財	無形	行事		未指定	—	中郷												○
976	山の神講	民俗文化財	無形	行事		未指定	—	中郷												○
977	権現様 権現講	民俗文化財	無形	行事		未指定	—	中郷												○
978	七石、八沢	その他	伝承			未指定	—	中郷			類型・所在地要確認(どのようなものか不明)						○			
979	丈六焼(祠・人形)	有形文化財	工芸品	焼物		未指定	—	—			瓦質土器の祠や人形									○
980	柴原A遺跡出土ハート形土偶	有形文化財	考古資料	土偶		未指定	—	—			福島県文化財センター白河館蔵									
981	グルメンチ	民俗文化財	無形	食		未指定	—	—									○	○		
982	油揚ほうろく焼	民俗文化財	無形	食		未指定	—	—									○	○		
983	イカにんじん	民俗文化財	無形	食		未指定	—	—									○			
984	いとこ煮	民俗文化財	無形	食		未指定	—	—									○			
985	ざく(ざくざく、ざくざく汁)	民俗文化財	無形	食		未指定	—	—									○			
986	三春そうめん	民俗文化財	無形	食		未指定	—	—									○	○		
987	三春ゆべし	民俗文化財	無形	食		未指定	—	—									○	○		
988	ブルーベリー	民俗文化財	無形	食		未指定	—	—									○	○		
989	三春ブルーベリースイーツ	民俗文化財	無形	食		未指定	—	—									○			
990	せいもち	民俗文化財	無形	食		未指定	—	—									○			
991	とうふもち	民俗文化財	無形	食		未指定	—	—									○			
992	だんご汁	民俗文化財	無形	食		未指定	—	—									○			
993	ピーマン	民俗文化財	無形	食		未指定	—	—										○		
994	三春駒	民俗文化財	有形	工芸		未指定	—	—										○		
995	花見	民俗文化財	無形	行事		未指定	—	—												○
996	「だべえ」	その他	方言			未指定	—	—									○			
997	「おぼんです」	その他	方言			未指定	—	—									○			
998	「さすけねえ」	その他	方言			未指定	—	—									○			
999	「までい」	その他	方言			未指定	—	—									○			
1000	「～げ」	その他	方言			未指定	—	—									○			
1001	「～ばい」	その他	方言			未指定	—	—									○			

第5回三春町文化財保存活用地域計画策定協議会 主な意見と対応

分類	主な意見	対応	頁
典籍、古文書、 歴史資料の類 型の整理	<u>古文書と歴史資料の分類方法</u> が分かりにくい。古文書は1点を1件として、歴史資料は複数点をまとめて1件として整理するのが良いのではないか。(小松委員)	宝物リストを修正。	—
社寺の表現の 修正	「社寺」は <u>歴史的には「寺社」が適切</u> である。(小松委員)	「寺社」に修正。	—
祠堂の表現の 修正	<u>道端の小さな祠は「祠堂」や「堂祠」とは表現しない</u> と思う。「祠堂」は霊廟等の意味を持つ。「寺社及び祠」等が良いかもしれない。(小松委員) 「寺社・祠」となるか。(増子会長)	「寺社祠」に修正。	—
「育む」視点の 導入	方向性の「受け継ぐ」、「活かす」の他に、 <u>100年後の文化財をみんなで「育む」視点・意識が必要</u> である。(玄侑委員)	将来像を「地域みんなで“ゆかしい”宝物を育み、受け継ぎ、活かすまち」、方向性を「育み、受け継ぐ」と「活かす」に修正。	37～38
樹木の調査・継 承	歴史あるものに対する現代人の敬意を誘発するためにも、桜以外の <u>古木の位置図等を掲載</u> し、「育む」視点を持てるようにして欲しい。(玄侑委員)	「表 1-1：三春町内の緑の文化財」「表 1-2：三春さくらの会が指定する名木」と位置図を追加。	8～9
建造物・文書の 調査・継承	公開活用が進まず居住者が生活する上でも困難な状況である <u>中山家住宅の移築の検討は進んでいるのか</u> 。(佐久間正幸委員)	措置 4-2「中山家住宅移築復元の検討」を設定。	47
	居住者が住んでいる場合に無断で改築しないよう、 <u>歴史的建造物を町が買い取り保存</u> することは考えているのか。(玄侑委員)	前段階として措置 1-4「近現代建造物調査」を設定。	45
	100年後の文化財を「育む」視点から見ると、令和時代の三春を語る上で <u>古民家や、町役場の行政文書・アーカイブの調査・保存も重要</u> であるため、計画に組み込んで欲しい。(小松委員)	措置 1-4「近現代建造物調査」、措置 2-3「行政文書のアーカイブ事業」を設定。	45～46
町外の文化財 の調査・継承	郡山市にある <u>田村家の墓や雪村庵の保存状態が悪いが</u> 、町外の文化財であるため管理ができない。(玄侑委員)	措置 1-9「近隣市町の関連する文化財の調査」を設定。	46

分類	主な意見	対応	頁
保管場所の確保	福聚寺にある「高乾院の仏教典籍 1,710 点」の保管場所を検討して欲しい。(玄侑委員)	措置 5-1「資料館等改修の検討」、5-2「公共施設改修の検討」、5-3「未利用建築物改修の検討」を設定。これらの取組の中で検討したい。	47
	福聚寺にある東日本大震災の復興構想会議の資料を町に寄贈したい。(玄侑委員) 活用方法の検討に時間を要する前に保存することも重要である。(廣田委員)		
保存会の継承	中郷小学校が統合された後、「滝ザクラを守る会」が継承されるのか懸念している。(田村委員)	中郷小学校からも相談が寄せられている。継続できるよう学校と協議しながら検討したい。	—
滝ザクラの苗の育成・販売	振興会の高齢化が進んでおり、滝ザクラの苗の育成ができる継承者が途絶える可能性がある。(田村委員)	措置 3-2「三春の宝物登録・認証制度の検討」、措置 3-3「三春の宝物商標登録の検討」を設定。	46
	インターネット上で出所の不明な滝ザクラの苗が販売されていることを町は問題視していないのか。販売者としては特許の取得も検討している。(田村委員)		
防犯対策	文化財を盗む罪深さを人々にもっと理解して欲しい。ネットオークションに出品して価格をつけるなど、本来厳罰に値する。(玄侑委員)	措置 7-4「防災・防犯対策強化事業」を設定。総務課自治防災グループと協議しながら具体的に検討したい。	48
	アルソックやセコム等の監視カメラの設置が最も効果的かもしれない。(増子会長) 遺跡の発掘現場でも出土品がよく盗まれる。世界的に見ても大きな問題だが、まずは見回り体制の強化等を行うしかない。監視カメラよりも、 <u>人感センサー付きのアラーム・ライトの設置</u> が効果的だと思う。(廣田委員)		
情報発信の体制の整備	これまで自分達で外部媒体と連絡を取り地元の獅子舞等の情報発信をしていたが、今後は <u>町が外部媒体との窓口になる</u> のか。(田村委員)	措置 6-3「伝統芸能等継承団体支援事業」を設定。継承団体の組織化を目標に、各継承団体と情報交換できる体制を整えたい。	47
計画の推進体制の整備	措置の数が多いため、実施体制が不安である。(廣田委員)	措置の内容は今後庁内検討会等で精査予定。	—
	全て歴史民俗資料館が主体となるのか。 <u>専門員の雇用や後継者の育成に取り組む必要がある</u> 。(廣田委員)	措置 9-5「文化財関連職員雇用事業」を設定。	48

赤字：8/27 文化庁協議後の修正・更新箇所

三春町文化財保存活用地域計画

序章～第7章(素案)

令和●年●月

三春町

目次

序章	1
1. 計画作成の背景と目的	1
2. 計画の期間と見直し	2
3. 計画の位置付け	3
4. 計画作成の体制	4
5. 計画対象及び用語の定義	6
第1章 三春町の概要	7
1. 自然的・地理的環境	7
2. 社会的状況	10
3. 歴史的背景	14
4. 地区の概要	19
第2章 三春町の宝物の概要	22
1. 指定等文化財	22
2. 未指定文化財	23
3. 類型ごとの概要と特徴	25
4. 地区の宝物の概要	29
5. 宝物の保存・活用に関わる団体	31
第3章 三春町の歴史文化の特性	32
1. 枝垂れ桜が咲き競う阿武隈の山里	32
2. 三春城を仰ぎ見る城下町の文化	32
3. 村と町の暮らしを支えた産業と工芸品製作	33
4. 寺社祠が伝える祈りと祭り	33
5. 自由民権が謳われた郡役所の町	33
第4章 三春町の宝物に関する既往の把握調査	34
1. 宝物に関するこれまでの調査	34
2. 把握調査の課題	34
第5章 宝物の保存・活用に関する将来像	37
1. 将来像	37
2. 方向性	37

第6章 宝物の保存・活用に関する課題・方針39

1. 「育み、受け継ぐ」に関する課題・方針 39

2. 「活かす」に関する課題・方針 43

第7章 宝物の保存・活用に関する措置45

1. 「育み、受け継ぐ」に関する措置 45

2. 「活かす」に関する措置 49

第8章 関連文化財群

第9章 文化財保存活用区域

第10章 宝物の保存・活用の推進体制

序章

1. 計画作成の背景と目的

三春町（以下、「本町」という。）では、大正 11（1922）年に史蹟名勝天然記念物保存法（大正 8 年法律第 44 号）により、三春滝ザクラが国の天然記念物に指定されました。そして、重要美術品等ノ保存ニ関スル法律（昭和 8 年法律第 43 号）により昭和 16（1941）年に銅製松喰鶴鏡、同 19（1944）年に木造阿弥陀如来立像が国の重要美術品に、その後、文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）により、同 52（1977）年に中山家住宅が重要文化財に指定され、令和 2（2020）年には旧吉田家住宅主屋・紫雲閣が登録有形文化財に登録されました。この間に、福島県文化財保護条例（昭和 45 年条例第 43 号）、三春町文化財保護条例（昭和 52 年条例第 23 号）が施行され、町内では現在、福島県指定文化財が 2 件、三春町指定文化財が 100 件あり、それらを中心として文化財保護の措置がとられています。

本町は、昭和 30（1955）年に旧三春町と 6 つの村が合併し、現在の町が形成されました。このうち、旧三春町が戦国時代以来の城下町であるため文化財の指定が多いのに対して、調査があまり進んでいない地区もあります。また、たくさんの町指定文化財があるにもかかわらず、国・県指定の文化財が少なく、城下町の象徴である三春城跡も町指定に止まっています。加えて国指定でも、全国からたくさんの観光客で賑わう滝ザクラに対して、中山家住宅は、所有者が現住する住居であるため、公開活用が進まないうえ、所有者も改築ができず、生活するうえでも困難が生じています。

本町では近年、少子高齢化や人口減少が急速に進行し、建造物をはじめとして管理が困難となる有形文化財が少なくなく、人の目が届かなくなった文化財では盗難被害も発生しています。また、獅子舞や神楽といった民俗芸能や、古くから地域で行われてきた伝統行事の継承も難しくなり、多くの文化財が滅失・散逸の危機にさらされています。このため、文化財の有効な保存・活用方法が模索され、中・長期的な視点から文化財の保存・活用を計画的・継続的に行う必要が感じられます。

こうした中、平成 30（2018）年に文化財保護法が改正され、市町村が作成する文化財保存活用地域計画の認定制度がスタートしました。これにより、昨今の課題でした文化財を取り巻く環境の変化に対応し、その位置付けが明確ではなかった未指定を含めた広い意味での文化財をまちづくりに活かしつつ、文化財継承の担い手を確保し、地域社会総がかりで取り組む体制づくりが可能となりました。

そこで、本町では計画作成に向けて、町の目指すべき方向性や取組を明らかにし、文化財の専門家だけでなく、多様な人々が参画することで、地域社会の総がかりにより、文化財の次世代への継承を図ることとしました。

本町には、未調査のものも含めてたくさんの文化財や地域資産が伝わっているため、それらの調査・研究を進め、その成果を共有したうえで活用し、町内外へ広く発信することが重要です。また、こうした活動を通して、地域に対する住民の愛着やアイデンティティが高まり、新しい三春町を創造する力につながるものと考えられます。

こうした状況を踏まえて、貴重な文化財や地域の資産を本町の将来に向けた各種計画と連動させ、次の世代に継承し、活用することを目的として、文化財保護法第 183 条の 3 に基づいて、「三春町文化財保存活用地域計画」（以下、「本計画」という。）を、歴史文化を活かしたまちづくりのマスタープラン、さらにアクションプランとして作成します。

なお、本計画は、新しい三春町を創造する役割を担い、持続可能な計画として機能させるために、今後、改良を重ねながら歴史文化の保存・活用を推進していきます。

2. 計画の期間と見直し

(1) 計画期間

計画期間は、上位計画である「第8次三春町長期計画 前期基本計画」及び「三春町第2期教育大綱」（計画期間：令和7(2025)年度～令和11(2029)年度）から1年遅らせた、令和8(2026)年度～令和12(2030)年度の5年間とします。

(2) 計画の見直し

地域計画の着実な実施のため、「第8次三春町長期計画 前期基本計画」が満期を迎え、新たな「第8次三春町長期計画 後期基本計画」の運用が始まる令和12(2030)年度に内容の見直しを図り、その結果を次期地域計画に反映させ、改めて文化庁長官の認定を受けます。それ以外の年度においても、社会情勢の変化や上位・関連計画との関係性から、必要な場合は適宜内容の見直しを図ります。

地域計画を見直し、「計画期間の変更」、「町内に存する文化財の保存に影響を及ぼすおそれのある変更」、「地域計画の実施に支障が生じるおそれのある変更」の場合は、文化財保護法第183条の4に基づき文化庁長官の変更の認定を受けます。それ以外の軽微な変更の場合は、その内容について福島県及び文化庁へ情報提供します。

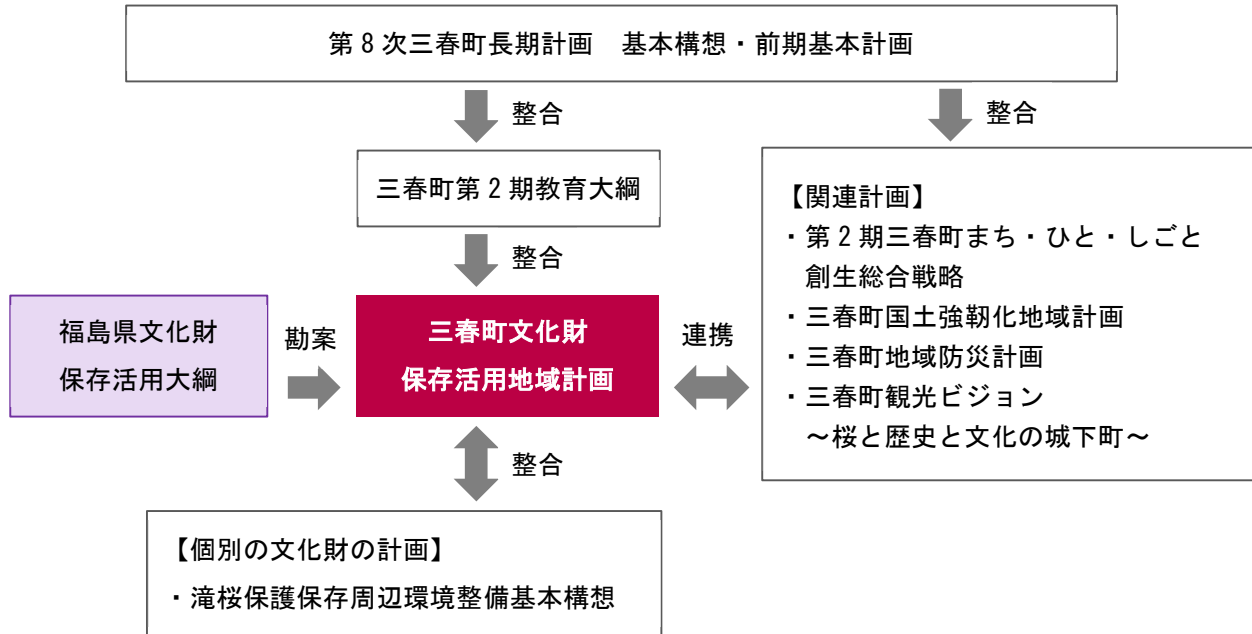
※評価手法について記載予定

年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
西暦	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
第8次三春町長期計画 基本計画	← 【前期】計画期間 →					← 【後期】計画期間 →	
三春町第2期教育大綱	← 計画期間 →						
三春町文化財保存活用地域計画		← 【今期】計画期間 →					← 【次期】
						見直し →	

図序-1：三春町文化財保存活用地域計画と上位計画の計画期間の関係

3. 計画の位置付け

本計画は、「福島県文化財保存活用大綱」を勘案し、上位計画である「第8次三春町長期計画 前期基本計画」及び「三春町第2期教育大綱」との整合を図りつつ、教育、まちづくり、防災、観光等の関連分野の計画と連携を図りながら、各種事業を展開・推進します。



図序-2：三春町文化財保存活用地域計画の位置付け

4. 計画作成の体制

(1) 計画作成の体制

本計画の作成にあたっては、文化財保護法第183条の9第1項に基づき三春町文化財保存活用地域計画策定協議会（以下、「策定協議会」という。）を設置し、計画案について協議と意見聴取を行いました。策定協議会での協議内容や作成の進捗状況は、三春町文化財保護条例190条第1項に基づき設置した三春町文化財保護審議会（以下、「保護審議会」という。）に報告し、意見聴取を行いました。

また、地域計画は、文化財部局以外の関係部局も連携して推進していくことが望ましいため、三春町文化財保存活用地域計画庁内検討会（以下、「庁内検討会」という。）を設置し、庁内関係部局への計画案の説明や意見聴取を行いました。

表序-1：三春町文化財保存活用地域計画策定協議会 委員名簿

	氏名	所属・役職等	専門分野等	備考
1	増子 博保	三春町商工会	商工	会長
2	佐久間 保一	三春まちづくり協会(文化財保護審議会委員)	地域振興	副会長
3	神山 史昭	中妻まちづくり協会	地域振興	
4	佐久間 正幸	沢石まちづくり協会	地域振興	
5	大内 忠一	要田まちづくり協会	地域振興	
6	鈴木 政男	御木沢地区まちづくり協会	地域振興	
7	細川 秀夫	岩江まちづくり協会	地域振興	
8	田村 信也	中郷まちづくり協会	地域振興	
9	高橋 龍一	みはる観光協会 副会長	観光	
10	圓谷 彰孝	三春町歴史民俗資料館友の会 会長	歴史	
11	山岸 英男	三春町和合会(～令和7(2025)年6月1日)	文化財所有者	
	玄侑 宗久	三春町和合会(令和7(2025)年6月2日～)	文化財所有者	
12	廣田 吉三郎	文化財保護審議会委員 副会長	考古学	
13	小松 賢司	文化財保護審議会委員	歴史学	
14	長田 城治	歴史民俗資料館運営協議会委員 郡山女子大学家政学部生活科学科建築デザイン専攻 准教授	建築学	
15	平山 茂樹	福島県教育庁文化財課 課長(～令和6(2024)年3月)	自治体	
	後藤 雅樹	福島県教育庁文化財課 課長(令和6(2024)年4月～)	自治体	
16	鳴原 健二	三春町教育委員会生涯学習課 課長(～令和7(2025)年3月)	自治体	
	伊藤 晴之	三春町教育委員会生涯学習課 課長(令和7(2025)年4月～)	自治体	

表序-2：三春町文化財保護審議会 委員名簿

	氏名	所属・役職等	専門分野等	備考
1	田母野 公彦	田村大元神社 宮司、福島県民俗学会 顧問	民俗学	
2	廣田 吉三郎	元早稲田大学文学部 講師、考古学	考古学	会長
3	佐久間 保一	一級建築士、福島県ヘリテージマネージャー	建築学	副会長
4	石田 智子	芸術家、福聚寺	美術工芸	
5	小松 賢司	福島大学人間発達文化学類 教授	歴史学	

表序-3：三春町文化財保存活用地域計画庁内検討会 構成

所管課	分野
総務課	庁内部署統括
財務課	財政
企画政策課	地域振興・地方創生、長期計画の作成管理
産業課	観光・農村計画
建設課	都市整備、景観
教育課	学校教育
生涯学習課【事務局】	生涯学習、社会体育、図書館、資料館

(2)計画作成の経過

令和5（2023）年度から令和8（2026）年度にかけて、策定協議会（全7回）、保護審議会、庁内検討会を開催し、文化庁の指導・助言、県文化財課の助言を受けて計画の作成を進めました。

また、地域計画の普及啓発や町民が考える宝物の把握のため、各種フォーラム、アンケート調査、地区ワークショップを実施しました。

表序-4：三春町文化財保存活用地域計画作成の経過 ※R7～8年記載予定

年度	日付	事柄	内容
令和5 (2023) 年度	5月30日	第1回文化庁協議 (他市町村との合同協議)	・地域計画作成にかかる事務手続き等の確認
	6月13日	令和5年度第1回保護審議会	・地域計画作成の進捗状況の報告及び意見聴取
	9月12日	第1回庁内検討会	・地域計画の制度及び作成、協議会の立ち上げ、今後のスケジュール等について説明し、継続的な協力を依頼
	12月22日	令和5年度第2回保護審議会	・地域計画作成の進捗状況の報告及び意見聴取
	3月14日	第1回策定協議会	・会長、副会長の選出 ・地域計画の作成について ・地域計画作成の進め方について
	3月24日	文化財フォーラム	・基調報告「三春町文化財保存活用地域計画について」 ・文化財保護審議会委員講話「三春の文化財について」
令和6 (2024) 年度	6月13日	令和6年度第1回保護審議会	・地域計画作成の進捗状況の報告及び意見聴取
	6月27日	第2回策定協議会	・令和6年度の予定について ・地域計画の概要・目次案について ・各種調査方針について
	7月～8月	各地区説明会	・対象：町内7地区の住民(主に区長) ・地域計画の制度や各地区の文化財について説明、意見交換 ・地区で保有する未指定文化財に関するアンケートを配付
	9月21日	第1回地域計画フォーラム	・テーマ：「三春の宝物」・文化財ってなんだろう？ ・資料館職員の基調講演 ・参加者との意見交換
	8月28日	第3回策定協議会(書面会議)	・アンケート・ワークショップについて ・「三春町の歴史文化の特徴」について
	10月～11月	アンケート調査	・対象：町民、中学生、所有者、保存会
	11月26日	令和6年度第2回保護審議会	・地域計画作成の進捗状況の報告及び意見聴取
	12月14日	第2回地域計画フォーラム	・テーマ：古文書からみる三春 ・小松賢司文化財保護審議会委員の基調講演 ・参加者との意見交換
	1月18日	三春地区ワークショップ	・対象：三春地区の住民
	1月18日	御木沢地区ワークショップ	・対象：御木沢地区の住民
	1月25日	岩江地区ワークショップ	・対象：岩江地区の住民
	1月26日	沢石地区ワークショップ	・対象：沢石地区の住民
	1月26日	中郷地区ワークショップ	・対象：中郷地区の住民
	2月2日	要田地区ワークショップ	・対象：要田地区の住民
	2月11日	第3回地域計画フォーラム	・テーマ：「三春の歴史的建物」 ・佐久間保一文化財保護審議会委員の基調講演 ・長田城治地域計画策定協議会委員の基調講演 ・参加者との意見交換
	2月19日	第2回文化庁協議	・作成進捗状況の報告 ・今後のスケジュールの確認
	3月19日	第4回策定協議会	・令和6年度の事業報告について ・令和7年度の予定について ・地域計画の内容について
	3月20日	中妻地区ワークショップ	・対象：中妻地区の住民

5. 計画対象及び用語の定義

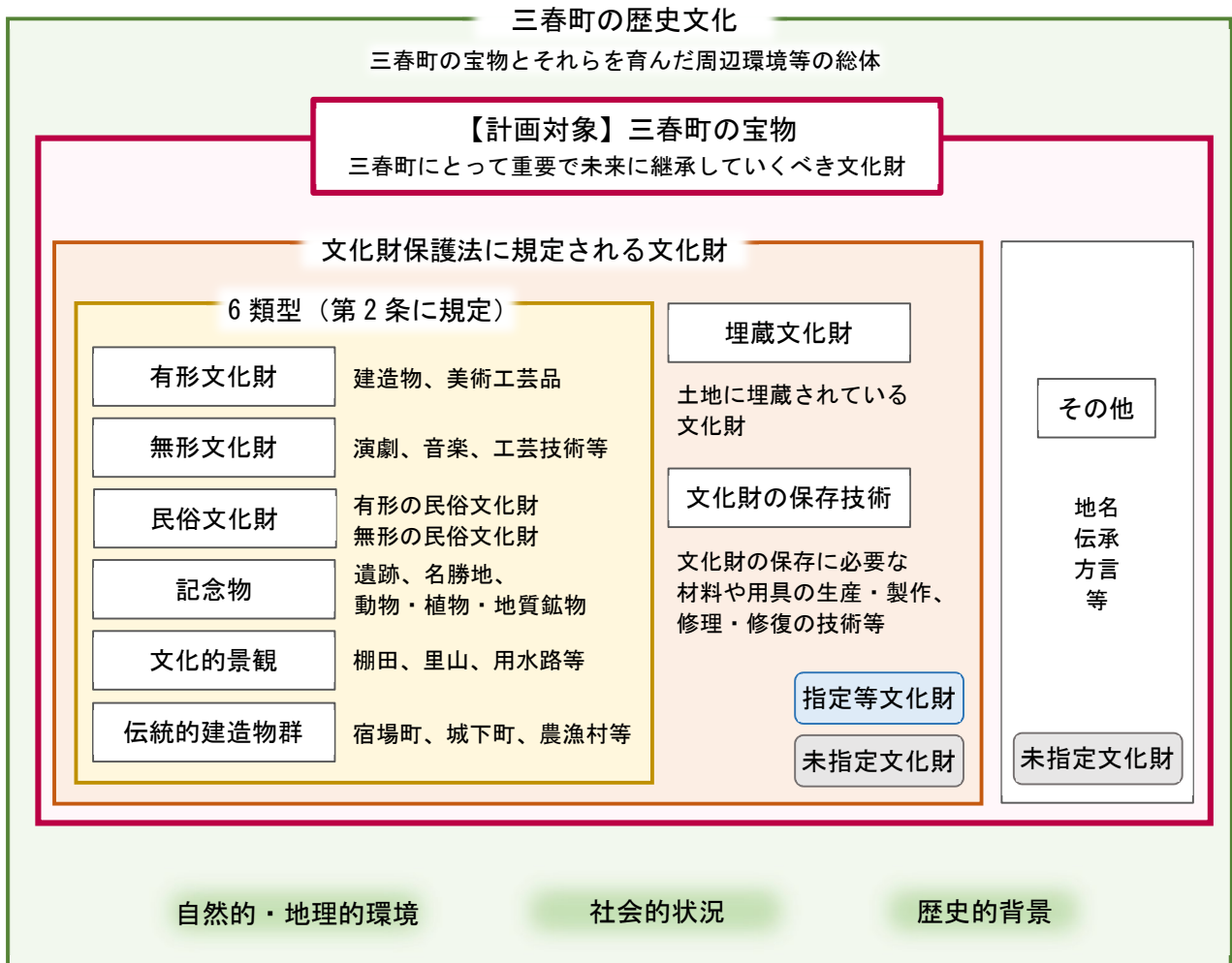
「文化財」とは、我が国の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産であり、そこには、文化財保護法の規定により指定等されている文化財だけでなく、地域に重層する歴史や文化を支えている未指定文化財も含まれています。

本計画の対象は、このような指定等・未指定の「文化財」であり、本町にとって重要で未来に継承していくべきものです。地域総がかりで文化財の保存・活用を進めるうえで、町民に自分達にとって大切に身近なものというイメージを抱いてもらうため、本計画では「文化財」を「三春町の宝物」（以下、「宝物」という。）と呼びます。

「宝物」は、文化財保護法に規定される6つの類型（有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群）と埋蔵文化財、文化財の保存技術に加え、これらに分類できない文化的所産をその他として整理して扱います。

なお、第3章以降に記載する「歴史文化」は、「宝物」とそれらを育んだ自然的・地理的環境や社会的状況、歴史的背景等の総体を指し、地域らしさを表す概念です。

本計画は、本町の「歴史文化」の特性を踏まえ、「宝物」を保存・活用するものです。



図序-3：三春町文化財保存活用地域計画における用語の定義及び関係性

第1章 三春町の概要

1. 自然的・地理的環境

(1)位置

本町は、福島県のほぼ中央、東経 140 度 29 分・北緯 37 度 26 分に位置し、西を奥羽山脈、東を阿武隈高地に挟まれた中通りエリアの県中地域田村郡に含まれ、東は田村市、南西は中核市¹である郡山市、北は二本松市及び本宮市に接しています。

(2)面積

本町の面積は、72.76k m²（東西に 12.5km、南北に 15.7km）で、県内 59 市町村のうち下から 15 番目の比較的小さな町です。

(3)地名

「三春町」の由来には、①水に恵まれ陽当たりの良い所で参陽の地と呼ばれたため（参春、御春、三春と変化）、②梅、桃、桜の 3 種の花が春に一度に咲くため、③永正元（1504）年に田村義頭が三春城に入城した際、正月を 3 度祝ったため等の説があります。²

(4)地形

本町は阿武隈高地の西縁に位置し、町のほとんどが標高 300～500m の丘陵地で、緩やかな山並みが続いています。町の北部を移川、南部を大滝根川、中央部を桜川及び八島川が流れ、大滝根川、桜川、八島川は阿武隈川に注いでいます。大滝根川の下流には、平成 10（1998）年に重力式コンクリートダム「三春ダム」が建設され、ダム湖「さくら湖」が造られました。

(5)気候

本町の気候は内陸性で、冬の降雪は比較的少なく夏もあまり暑くないため、過ごしやすくなっています。気温は過去 10 年間で大きな変動はなく、令和 5（2023）年の平均気温は 13.1 度、最高気温は 36.0 度、最低気温は -9.8 度でした。降水量は過去 10 年間で年によって変動がありますが、平均して総量 1,015.9mm で、令和 5（2023）年は総量 1,168.0mm でした。例年、冬季より夏季の降水量が多くなっています。

(6)植生

本町は暖温帯落葉広葉樹林帯に属しており、自然植生は丘陵のアカマツ林や、三春大神宮のシラカシ林等の旧三春町内の寺社林に見られます。県民に親しまれ愛されてきた名木や鎮守の森等の緑の財産を保護・保全して、かけがえのない貴重なみどりを引き継ぐものとして、福島県知事が指定、登録する「緑の文化財」は、本町に 8 件あります。

町内には、エドヒガン系のベニシダレザクラである国指定天然記念物の「三春滝ザクラ」を始めと

¹ 地方自治法により定められた、政令で指定する人口 20 万人以上の都市で、政令指定都市が処理することができる事務の全部又は一部を特例として処理することができます。

² 『三春町史 6 巻 民俗』、三春町、昭和 55（1980）年、p.571「地名の伝説」。

して桜が約1万本あり、そのうち約2千本が滝ザクラと同じシダレザクラです。滝ザクラの子や孫と伝わる樹から実生や接木の苗を育てる技術が、三春町花木振興会を中心に継承されています。また、「三春さくらの会」は、名木として24か所の桜を指定しています。

表 1-1：三春町内の緑の文化財

番号	名称	所在地	文化財指定等	備考
1	愛宕神社のケヤキ	中町	町指定	ケヤキ
2	成田神社の種まきザクラ	北成田字広畑	—	エドヒガンザクラ
3	高木神社のイチイ並木	実沢字宮脇	—	イチイ(4本)
4	高木神社のヒイラギ	実沢字宮脇	—	ヒイラギ
5	白山比咩神社のブナ	貝山字宮ノ下	町指定	ブナ
6	南成田の大ザクラ	南成田字大桜	町指定(南成田の大桜)	エドヒガンザクラ
7	三春滝ザクラ	滝字桜久保	国指定	シダレザクラ
8	三春大神宮の森	馬場	一部町指定(三春大神宮のモミ)	モミ(23本) イチョウ(2本) イチイ(1本)

表 1-2：三春さくらの会が指定する名木

番号	名称	所在地	文化財指定等	備考
1	福聚寺桜	字御免町	—	2本、シダレザクラ
2	かもん桜	桜ヶ丘3丁目	町指定(八十内公園のかもん桜)	シダレザクラ
3	常楽院桜	字四軒丁	—	シダレザクラ
4	光岩寺桜	字亀井	—	3本、シダレザクラ(2本)
5	大桜	南成田字大桜	町指定(南成田の大桜)	エドヒガンザクラ
6	薬師桜	貝山字堀ノ内	—	シダレザクラ
7	地藏桜	込木字宮ノ下	—	シダレザクラ
8	観音桜	柴原字神久保	—	シダレザクラ
9	龍光寺桜	滝字岩ノ入	—	シダレザクラ
10	田村家枝垂桜群	滝字高野	—	7本、シダレザクラ
11	戸ノ内桜	御祭字戸ノ内	—	シダレザクラ
12	お城坂枝垂桜	字南町	—	3本、シダレザクラ
13	弘法桜	沼沢字古館	—	2本、エドヒガンザクラ
14	桜谷枝垂桜	字桜谷	—	シダレザクラ
15	和みの桜	字御免町	—	シダレザクラ
16	栃久保の種蒔桜	山田字栃久保	—	エドヒガンザクラ
17	成田神社の種蒔桜	北成田字広畑	—	エドヒガンザクラ
18	神山の桜	熊耳字神山	—	シダレザクラ
19	芹ヶ沢桜	芹ヶ沢字横台道	—	シダレザクラ
20	夫婦桜	柴原字滑津	—	2本、シダレザクラ
21	堤桜	鷹巣字堤	—	シダレザクラ
22	今朝三さくら	上舞木字大谷ツ	—	シダレザクラ
23	高木神社の桜	実沢字宮脇	—	エドヒガンザクラ
24	平堂壇の桜	北成田字殿ノ内、宮ノ前	—	エドヒガンザクラ

※取り上げる文化財や重視する措置の内容によって、それらの前情報を追加予定

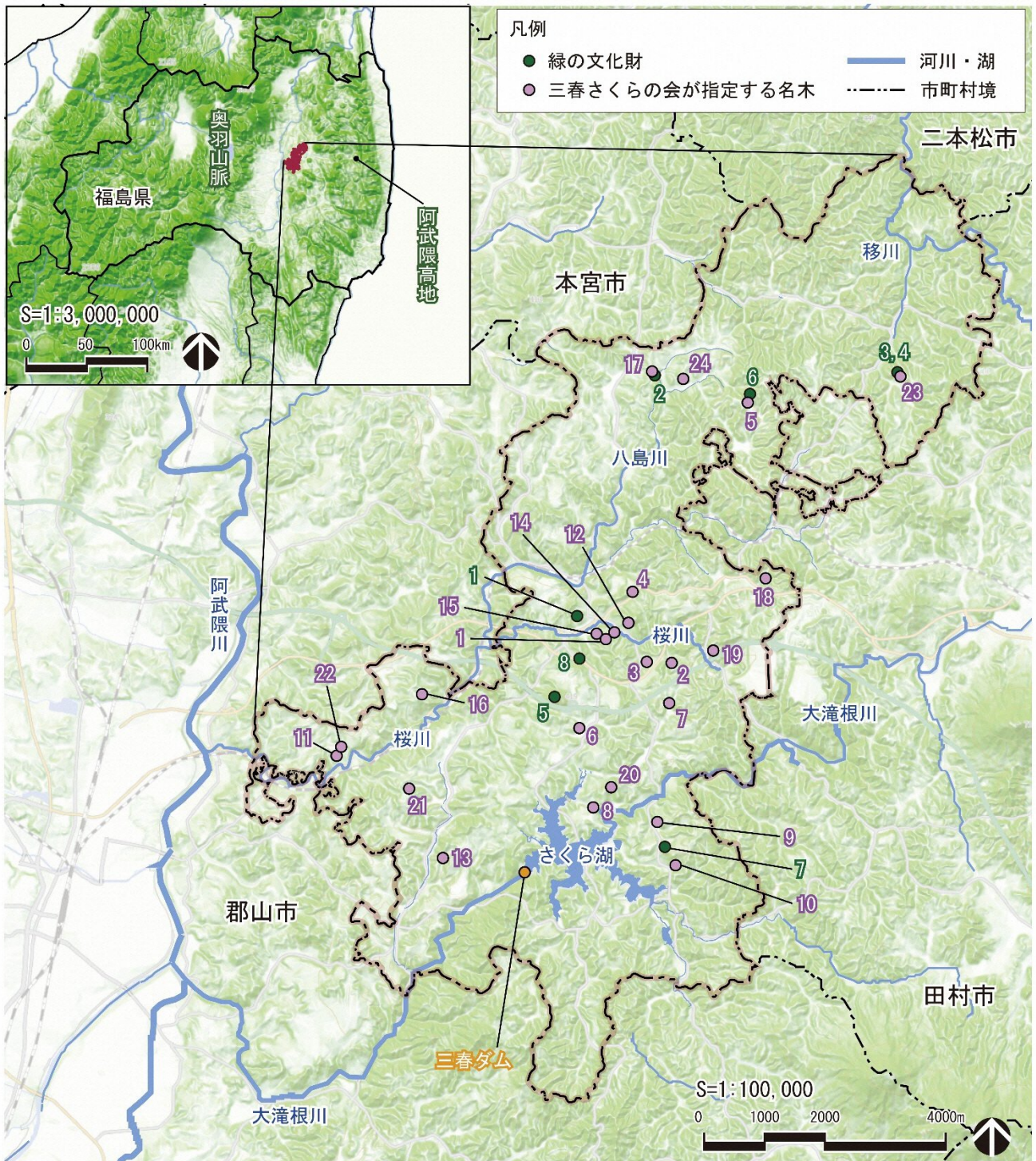


図 1-1：三春町の自然的・地理的環境 ※図中番号は表 1-1, 1-2 の番号と対応。
 (地理院地図 Vector を加工して作成)

2. 社会的状況

(1)人口

令和 7 (2025) 年 5 月 1 日時点、本町の人口は 16,120 人で、世帯は 6,131 世帯です。人口は平成 7 (1995) 年以降減少傾向で、今後人口減少対策を講じなかった場合、令和 52 (2070) 年には現在よりも約 10,000 人減少し、6,000 人台となる見込みです。※認定申請時には R8 年 3 月の人口を記載予定
高齢化率は、平成 7 (1995) 年には 18.8%、令和 7 (2025) 年時点は 38.6%であり、令和 52 (2070) 年には 55.4%となる予測で、年々少子高齢化が進行しています。

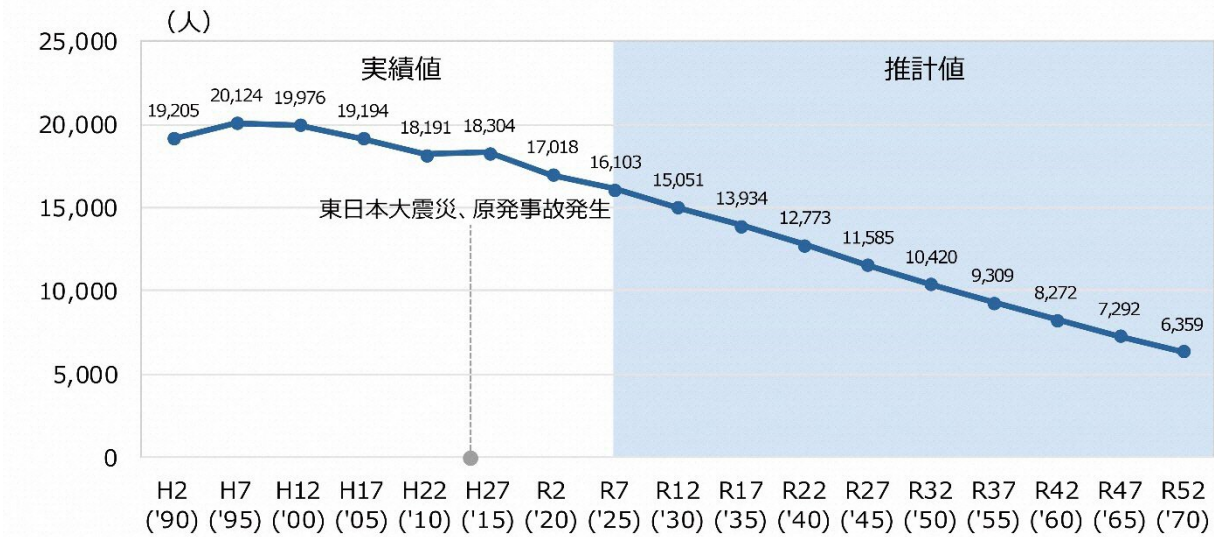


図 1-2 : 三春町の人口推移
(「第 8 次三春町長期計画」より転載)

(2)交通機関

本町は、JR 磐越東線や磐越自動車道、国道 288 号が東西に走っており、東京から車で約 3 時間、電車で約 1 時間半でアクセスが可能です。JR で移動できる近隣市との繋がりが強く、通勤・通学における流出入は、郡山市、郡山市の南の須賀川市、田村市、本宮市の 4 市間で多くなっています。福島空港からは車で 40 分の距離にあります。また、町内を町営バス及び福島交通バスが走っています。

(3)地区

本町は、明治 13 (1880) 年に成立した三春町と、明治 22 (1889) 年に成立した沢石村、要田村、御木沢村、巖江村、中妻村、中郷村が、昭和 30 (1955) 年に合併して成立しました (巖江村は一部。要田地区は境界変更が生じた部分が昭和 38 (1963) 年までに編入)。旧町村の境界及び名称は、現在の 7 地区に引き継がれており、町を構成する基本的な単位になっています。

令和 7 (2025) 年 8 月 1 日時点で、7 地区は 47 の行政区から成り立っており、各行政区に町内会が設けられ、区長を選出しています。また、1 つの町内会だけでは解決が難しい課題について、長期的なまちづくり活動を展開し、課題の解消や活性化を図るため、昭和 57 (1982) 年度には、7 地区 (三春地区、沢石地区、要田地区、御木沢地区、岩江地区、中妻地区、中郷地区) について、三春町町民基本条例に規定する「まちづくり協会」を設立しました。まちづくり協会は、町内会と連携・協力し、各地区の特性を活かした、町民参加による活力ある住みよいまちづくりを進めています。

令和 7 (2025) 年には、昭和 30 (1955) 年の合併から 70 周年を迎えました。

(4)文化財関連施設

本町の主な文化財関連施設は三春地区に集中しており、3か所の資料館（三春町歴史民俗資料館、自由民権記念館、三春郷土人形館）があるほか、国登録有形文化財「旧吉田家住宅主屋・紫雲閣」を公開活用しています。また、中妻地区のさくら湖周辺にも施設が集中しており、さくら湖自然観察ステーションや三春ダム資料館のほか、令和7（2025）年4月にオープンしたアウトドアビレッジ三春内に田部井淳子記念館が開設され、新たなアウトドア文化の拠点となっています。

さらに、町外西部の郡山市西田町には、江戸時代から続く三春駒と三春張子人形を制作する集落である高柴デコ³屋敷が位置し、民芸品店、資料館、茶屋等があります。

表 1-3：三春町の文化財関連施設

番号	施設名	管理者	開館年	見学料金	概要
1	三春町歴史民俗資料館	町	昭和58 (1983)年	有料	本町の歴史や文化に関する資料の調査・収集、保管、公開・展示を行っています。
2	自由民権記念館	町	昭和58 (1983)年	有料	三春町歴史民俗資料館に併設されており、本町が発祥の地の1つである自由民権運動と運動家について顕彰しています。
3	三春郷土人形館	町	平成2 (1990)年	有料	東北地方の郷土玩具の蒐集品 ⁴ 「らっこコレクション」(三春駒、三春張子人形、こけし、土人形)の展示を行っています。
4	三春町文化伝承館	町	平成10 (1998)年	無料 ※貸会議室の利用は有料	国登録有形文化財「旧吉田家住宅」を公開活用し、主屋は文化伝承館という名称で、会議や研修の場としての利用も可能です。
5	紫雲閣	町	令和5 (2023)年	有料	
6	さくら湖自然観察ステーション	町 ⁵	平成12 (2000)年	無料	本町の動植物や自然環境について展示しており、自然観察会等の体験教室も実施しています。
7	三春ダム資料館	国	平成9 (1997)年	無料	平成10(1998)年に大滝根川に造られた三春ダムについて展示しており、カフェも併設しています。
8	田部井淳子記念館	町 ⁵	令和7 (2025)年	無料	三春町出身の登山家・田部井淳子氏の遺品を展示しています。

(5)観光

本町の観光客入込数は、平成20（2008）年以降、平成22（2010）年までは年間65万人前後でしたが、東日本大震災が発生した平成23（2011）年に約41.9万人まで落ち込み、以降、年間50万人前後を推移しました。その後、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、令和2（2020）年に約25.2万人まで落ち込みましたが、以降は回復傾向にあります。

桜の開花シーズンを含む第2四半期（4～6月）の観光客入込数が突出して高いのが特徴で、国指定天然記念物で日本三大桜に数えられる「三春滝ザクラ」には、シーズン中に20万人を超える人々が訪れています。

³ 「デコ」は方言で人形の意。

⁴ 「蒐集品」は収集品、コレクションの意。

⁵ 三春まちづくり公社に委託。

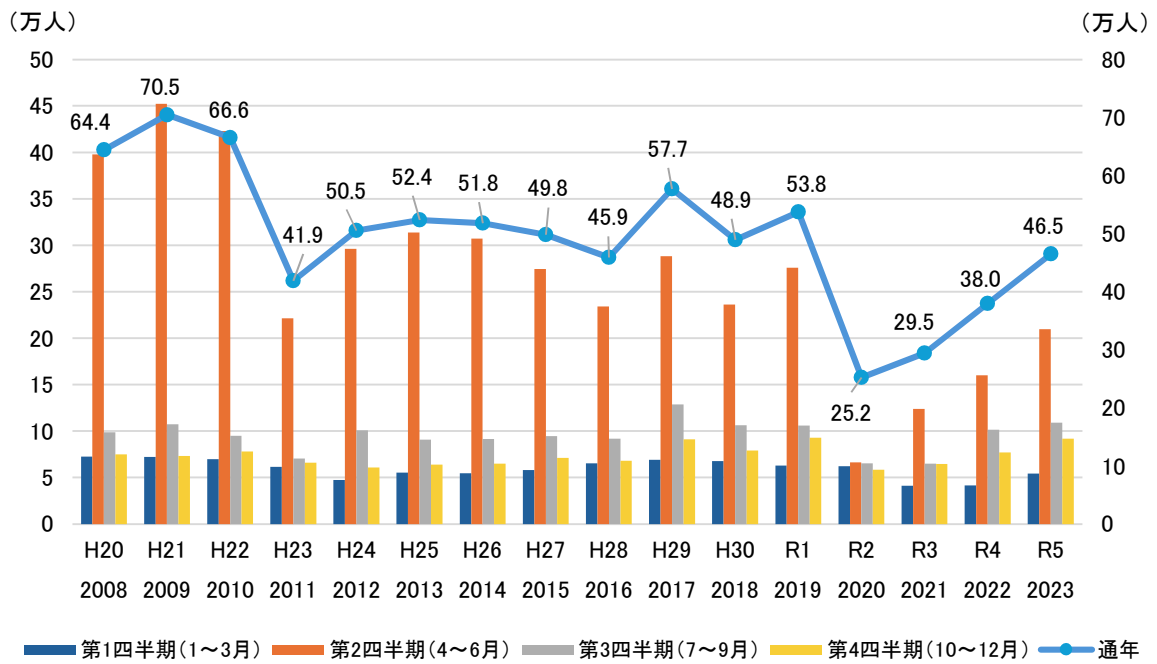


図 1-3 : 三春町の観光客入込数
 (平成 20 年～令和 5 年「福島県観光客入込状況」より作成)

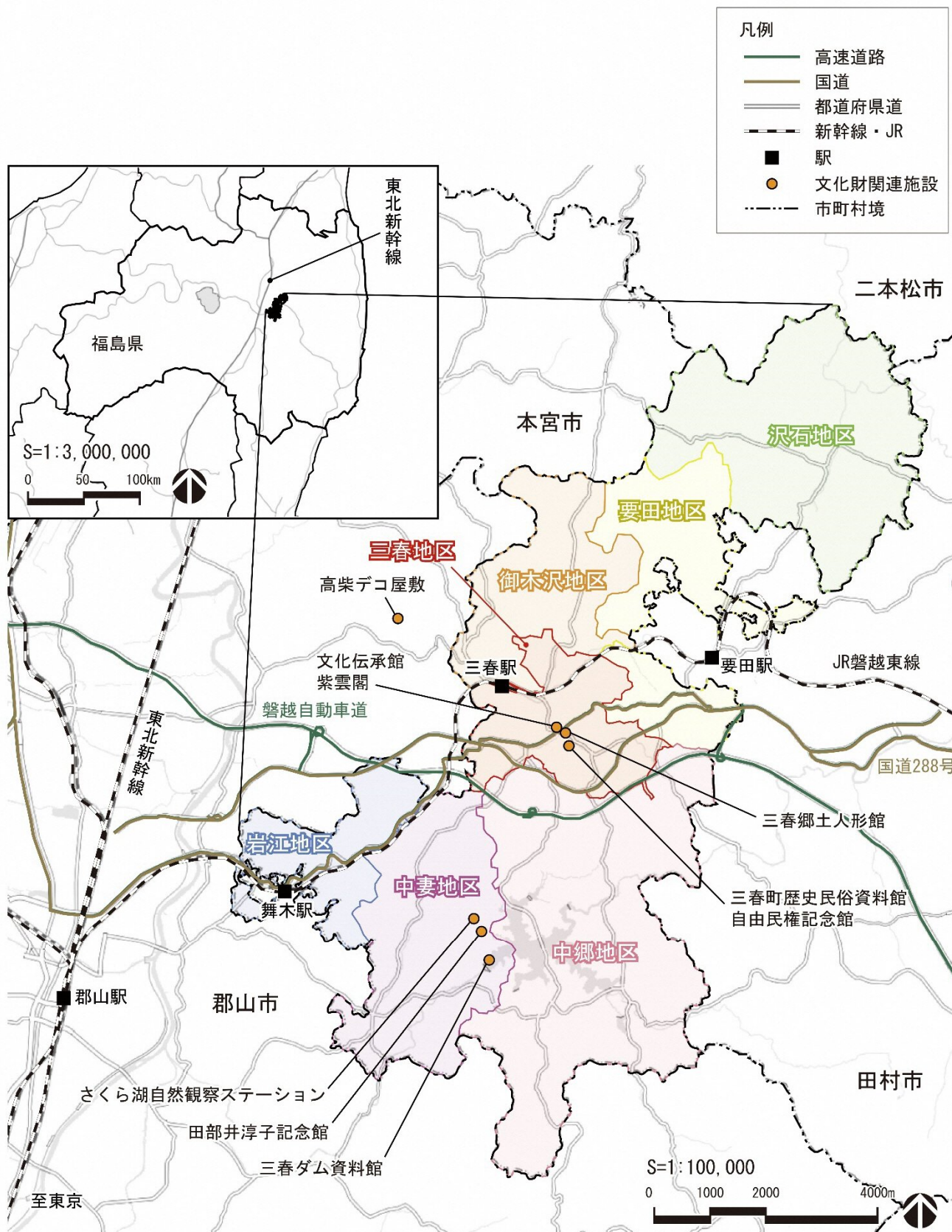


図 1-4 : 三春町の社会的状況
 (地理院地図 Vector を加工して作成)

3. 歴史的背景

本町の歴史には、いくつかのキーとなる画期があり、それに基づいて時代を区分することとします。

まず、原始、古代、中世については、一般的な日本史の時代区分と同じですが、中世後期の戦国時代に田村氏の盛衰があり、田村義顕が三春城を築いたと伝わる永正元（1504）年から奥羽仕置で田村家が改易される天正 18（1590）年までを、田村氏時代とします。次に、田村家改易後、伊達氏、会津の蒲生・上杉氏、そして、加藤・松下氏と短期間で領主が変わり、松下家が改易される正保元（1644）年までを、会津領松下氏時代とします。その翌 2（1645）年から、廃藩置県となる明治 4（1871）年までを秋田氏時代とし、それから昭和 30（1955）年に 7 町村が合併して現在の三春町が形成されるまでを近代、それ以降を現代と呼びます。

(1) 原始・古代

① 縄文時代

本町で人が暮らしていた痕跡は、縄文時代の草創期（約 16,000 年前～11,500 年前）から確認されています。春田・蛇石前・越田和遺跡（中郷地区）では草創期の土器が出土し、この 3 遺跡と行人沢遺跡（沢石地区）からは早期（約 11,500 年前～7,000 年前）から前期（約 7,000～5,500 年前）の竪穴式住居跡も発見され、大滝根川沿いに縄文時代の早い時期から人が暮らしていたことがわかります。

中期（約 5,500～4,400 年前）の後半になると遺跡の数が増加し、西方前遺跡（中妻地区）や仲平遺跡（中郷地区）等では、複式炉と呼ばれる大きな炉がある竪穴住居跡が発見されています。

後期（約 4,400～3,200 年前）になるとさらに集落が拡大し、西方前遺跡や柴原 A 遺跡、越田和遺跡（中郷地区）等のほかに、町の中心部の近世追手前通遺跡群（三春地区）でも竪穴住居跡が発見されています。また、住居の床に石を敷いた敷石住居跡や墓の周囲に石を並べた配石墓が、柴原 A 遺跡や西方前遺跡、さらに安達太良山を望む高地に位置する堂平遺跡（沢石地区）でも発見されています。

晩期（約 3,200～2,400 年前）になると遺跡の数が減り始めますが、西方前遺跡のほかに、北部の西姓内遺跡（要田地区）、宮信田遺跡（御木沢地区）等の遺跡が見つかっています。これらの遺跡では、縄文土器や石器のほかに、土偶や石棒のような祭礼の道具や、耳飾りのようなアクセサリも多数出土しています。

② 弥生時代

富沢吉田遺跡（沢石地区）で石包丁が出土していることから、付近で稲作が行われた可能性があります。

③ 古墳時代

八坂・五本木・行人沢古墳（沢石地区）、へいどう壇・踊り壇・そや壇・坂之下・白光内・丸塚古墳（要田地区）、般若壇・泉田古墳（中妻地区）といった「古墳」、「壇」等と呼ばれる盛土遺構が確認されており、周辺が有力者の支配地であった可能性があります。

④ 奈良・平安時代

三春のような山間部にも、奈良時代以降は開墾が及ぶようになりました。前ノ久保・西方前・四

合内B・越田和・背上A遺跡（中郷地区）等からは、堅穴住居跡や掘立柱建物跡からなる小規模な集落跡が発見され、土師器や須恵器、鋤先、刀子、鉄鏃、鎌等の鉄製品が出土しています。

古代末頃には、三春を含む田村地方の主要部分が、田村庄と呼ばれる荘園として安積郡から独立しました。田村庄は紀伊熊野新宮の荘園で、郡山市南東部の守山を拠点とする田村庄司と呼ばれる一族が管理しました。

(2)中世

①鎌倉・南北朝・室町時代

鎌倉時代後期、文永11年（1274）年の元寇から戦乱が続き、南北朝の騒乱では田村庄司の宗家が南朝方として宇津峰城（郡山市と須賀川市の境）を拠点に戦い、応永3（1396）年に鎌倉公方の大軍により滅びました。戦乱で亡くなった地元の武士を供養して、板石供養塔婆（板碑）が多く建てられました。

また、南北朝時代には、三春を記したと推測される「御春」が初めて記録として登場しました。三春城跡の発掘調査では14世紀から15世紀代の遺構・遺物が発見されており、荒町の法蔵寺が正応2（1289）年に他阿弥陀真教によって開山されたと伝わることから、この頃には三春に小規模な城館が成立し、周囲に寺社も建立されるようになったと推測されます。

②田村氏時代(室町・安土桃山時代)

永正元（1504）年、田村地方を統一した田村義顕が居城を三春の大志多山に移して三春城（舞鶴城）とし、守山から田村庄の総鎮守である大元帥明王、さらには日和田八丁目から菩提寺の福聚寺を移しました。田村氏は義顕から隆顕、清顕と代を重ねながら、田村地方から安積・岩瀬・塩松地方に支配を広げましたが、常陸の佐竹氏の北進により、周囲を佐竹勢に囲まれました。清顕には男子がなかったため、天正7（1579）年に一人娘の愛姫を米沢城主伊達輝宗の嫡男・政宗に嫁がせ、伊達家との同盟を強化しました。天正14（1586）年に清顕が急死した後は、田村家遺臣の活躍もあり、同17（1589）年には伊達政宗が南奥羽を制覇しました。しかし、すでに中央は豊臣秀吉の時代になっており、翌20（1590）年、政宗は小田原に参陣して秀吉の配下となり、参陣しなかった田村家は改易され、田村氏の時代は終わりました。

歴代の田村氏は、実沢の帝釈天（現在の高木神社）を信奉し、銅鏡や華鬘、銅鑼等の金工品を奉納しました。また、画僧の雪村周継は、田村氏を頼って三春近郊の李田村に隠棲し、いくつかの作品を残して没しました。雪村が隠棲した庵は江戸時代に再建され、雪村庵と呼ばれています。この時代に、三春や近郊の農村に多くの寺社が開かれ、仏像等が納められ、さらに、田村四十八館とも呼ばれる城館が各村に築かれ、三春城の支城あるいは村の城として利用されました。

(3)近世

①会津領松下氏時代(安土桃山・江戸時代)

一年弱の伊達領の後に、三春は蒲生氏、上杉氏、再び蒲生氏の会津領の一部となり、守山城が利用された上杉氏前後の時期を除いて、蒲生家中でトップクラスの重臣が三春城代として赴任しました。蒲生家が改易され、寛永4（1627）年に加藤嘉明が会津に入ると、嘉明の三男・明利が三春3万石を拝領しました。しかし、同時に二本松に入った嘉明娘婿の松下重綱の死去により、翌5（1628）

年に重綱の嫡子長綱が三春に入り、明利が二本松へ入れ替えになりました。

松下氏は、三春城の修築や城下町を整備し、菩提寺の州伝寺や光岩寺を建立して、近世三春の基礎を築きました。城下町には浄土真宗や法華宗の寺院が建立され、城下から領内外を結ぶ街道も整備され、街道沿いの村々も、近世的な村に変わりました。

②秋田氏時代(江戸・明治時代)

正保元(1644)年に松下氏が改易されると、翌2(1645)年に常陸宍戸から秋田俊季が5万5千石で三春に入部しました。慶安2(1649)年、俊季が死去したため、嫡男秋田盛季が家督しますが、その際、弟の季久に富沢村など5ヶ村5千石を分知して旗本秋田家を創出したため、三春藩は5万石となり、明治維新まで秋田氏11代が治めました。この間、5万石を治める武士とその家族の居住地、彼らの暮らしを支える商工業者の生業の場が整えられ、新たに藩主の菩提寺として龍穩院・高乾院、祈願寺の真照寺・宝来寺が建立されるなど、寺院や神社等も含めて城下町が整備されました。

また、新田開発にも力を入れましたが、阿武隈の高冷な狭い谷地での稲作には限界がありました。このため、藩は馬産や養蚕、葉煙草生産を奨励しました。これにより、農村で生育した馬や繭、葉煙草が城下町に集められ、市や仲買人を経て全国へ流通する商品の集散地として三春城下町は賑わいました。

秋田家は当初、俊季が徳川家光の又従兄弟であった血脈を活かして、譜代並大名として大坂や駿府城番など幕府の重要な役に就きました。しかし、18世紀前葉に、猫騒動⁶とも呼ばれる伝説を残した御家騒動を経て藩主の血脈も変わると、次第に幕府の公職からも離れました。その後は凶作や災害が打ち続き、幕府や領内外の富裕な町人・農民から借金を重ねる困窮した状態に陥ります。そんな中で明治維新を迎え、慶応4(1868)年の戊辰戦争では戦う経済力もなく、周囲の諸藩の圧力で奥羽越列藩同盟に加わりますが、新政府軍の到着を待って降伏し、無血開城を果たしました。そして、明治4(1872)年、廃藩置県で11代映季が藩知事を辞して東京へ移り、秋田氏時代は幕を降ろしました。

(4)近現代

①近代(明治・大正・昭和時代)

明治4(1871)年7月に誕生した三春県は、11月には平県に併合されて磐前県と改称し、同9(1876)年に現在の福島県が誕生しました。また、明治4(1871)年に戸籍法が制定されて翌年には戸籍が編製され、同6(1873)年から地租改正が進められました。明治11(1878)年には、郡区町村編制法、府県会規則、地方税規則の三新法が制定され、自治体や議会、税の基礎が成立し、現在の本町を構成する各大字が、近代の村として確立しました。そして、翌12(1879)年に田村郡役所が三春に置かれた前後に、丈量図・丈量帳が作られ、地券証が配布されることで、人や土地が正確に把握されるようになり、さらに同13(1880)年12月9日に三春町村は三春町と改称し、町政をスタートしました。その後、明治22(1889)年の町村制施行に際して、各村々が合併し、**沢石・要田・御木沢・巖江・中妻・中郷**村が誕生しました。

こうした中で、下級武士出身の河野広中は、三春藩、若松県、福島県の吏員を歴任し、全国初の

⁶ 有名な化け猫騒動は、佐賀藩で起こった藩主の相続問題をモデルにした話で、江戸時代後期に歌舞伎等で上演され流布されました。三春の猫騒動は三春藩主の後継ぎ問題を題材としており、三春藩家老の荒木内匠に罪を着せられた家臣の滋野多兵衛が、紫雲寺で切腹させられ、その場にいた猫が怨霊となって荒木の家を末代まで祟るという話です。

県会である福島県会の創設に尽力しました。そして、東京や高知、全国各所を巡って、自由民権運動を展開し、福島県会議長、自由党のリーダーとして活躍し、三春には政治結社の三師社さんししやや思想教育施設の正道館を設立して運動の拠点としました。しかし、福島県令三島通庸の弾圧により、明治15（1882）年に福島事件、同17（1884）年に加波山事件かばさんがおき、多くの運動家が逮捕・処罰され、国会開設を前に運動は収束していきました。

江戸時代以来の馬産は、新たに西洋種と掛け合わせた馬が生産され、福島県産馬会社や各地につくられた産馬組合を中心に、軍馬や競走馬として流通しました。また、生糸生産が国策として勧められると、各農家による養蚕から、工場での製糸業へ移り、三春にも三盛社さんせいしゃ等が設立され、海外への販売も展開しました。さらに、葉煙草生産も盛行し、明治29（1896）年に煙草専売法が成立して葉煙草耕作が許可制になると、翌年には三春に葉煙草一等専売所が置かれ、その後も田村地方の葉煙草集荷拠点として賑わいました。

また、江戸時代の街道が県道として整備され、明治24（1891）年に東北本線全線が開通すると、郡山駅から三春中心部を結ぶ三春馬車鉄道が開通されました。その後、大正3（1914）年に平郡線へいぐん（現在の磐越東線ばんえつとうせん）郡山・三春間が開通すると、翌年には馬車鉄道は廃止されました。なお、大正11（1922）年に三春滝ザクラが内務省から天然記念物に指定され、桜に対する保護・観光の視点が加わりました。

②現代(昭和・平成・令和時代)

昭和28（1953）年成立の町村合併促進法に基づき、同30（1955）年4月に三春町と**沢石・要田・御木沢・中妻・中郷**村が合併し、新しい三春町が誕生しました。その後、11月に旧中妻村の一部が郡山市に編入され、旧巖江村の一部が郡山市から三春に編入し、翌31（1956）年に下舞木しももうぎの一部が三春町に編入しました。そんな中、旧要田村では分町運動が起こり、住民投票の結果、同32（1957）年に半分以上が船引町ふねひきに編入されましたが、住民の希望により同38（1963）年に一部が三春町に編入される結果となりました。こうした経緯から、新しい三春町建設の基本方針は、地域格差を解消し、住民の融合を図り、農業生産都市を建設することとされ、道路の整備拡充、農林道の開発、消防事業や教育施設の整備等が掲げられました。

昭和40（1965）年に役場庁舎が完成し、その後、三春駅前に栄町団地が造成され、柴原おたきねに大滝根川浄水場、沼倉にごみ焼却場といった社会基盤が整えられ、公民館、町営グラウンド、武道館、各小中学校も順次整備されました。昭和50年代には、大平おおだいらと南原みなんぼらに工業団地ができ、町民体育館や野球場、歴史民俗資料館も開設されました。昭和60年代には、岩手県一関市、アメリカ合衆国ライスレイク市と姉妹都市を結んで新たな交流が始まるとともに、岩江小学校で初めてオープンスペースが導入され、本町の教育方針による校舎整備が進められました。

平成になると、八島台や桜ヶ丘かみすき、紙漉の里など住宅団地が造成され、磐越自動車道や田村西部工業団地も完成し、第50回国民体育大会を迎えました。さらに、郷土人形館やライスレイクの家、ばんとうプラザ、三春の里田園生活館、福社会館といった施設も完成し、滝桜を訪れる観光客が爆発的に増え始めたのもこの頃でした。そして、平成10（1998）年に三春ダムが完成すると、中心市街地の道路や施設整備も一段落しました。こうした中で人口増加のピークを迎え、その後は少子高齢化・人口減少が社会問題となりはじめ、同19（2007）年には福島県立三春病院が、指定管理者が運営する町立三春病院に変わりました。そして、同23（2011）年3月に東日本大震災が発生し、道路や建物に被害をうけるとともに、原子力発電所事故による浜通りの被災者の方々を受入れ、恵下越えげのこし

や四合田^{しごうだ}に被災者向けの団地も造成されました。平成 20 年代には、町中心部の桜川が改修され、大型商業施設が移転・新築されました。また、町内の中学校の再編が進み、貝山に新設された三春中学校と岩江中学校の 2 校となりました。令和になると、老朽化した役場庁舎が隣接地に新築され、今後は小学校の再編が進められる予定です。

※図（年表）や写真等を追加予定

4. 地区の概要

(1)三春地区

三春地区は旧城下町にあたり、位置的にも歴史・文化の側面からも本町の中心的な地区です。自然豊かな丘陵に守られ、里山と共存して発展しました。

周囲は、北西が御木沢地区、北東が要田地区、南が中郷地区とわずかに中妻地区と接する部分があるほか、西は旧逢隈村（現在の郡山市西田町）に囲まれています。地区内は、江戸時代にあった6つの町人町を拡大した大町、中町、八幡町、北町、荒町、新町と、駅南部土地区画整理事業により平成元年に竣工した住宅団地である八島台の7区に区分されています。全体のやや東よりの中央に、三春城があった大志多山が所在し、その南麓を東から西へ桜川が流れています。

江戸時代には城の回りを武家屋敷が囲み、その周囲を巡る谷とそこから派生する谷筋が街道でした。そして、街道沿いに6つの町人町が設けられ、その延長上の町周縁部に下級武士の組屋敷が置かれ、さらに街道に直交する支谷奥の高台に寺社が点々と配置されました。この寺社の裏にあたる町の外周を城壁のように丘陵が巡るため、城下町から他の地区へ出るには、小規模な峠を越えることになりました。

近代以降は、武家屋敷や組屋敷が一般の住宅地に替わりますが、地形の規制もあり、現在もこの配置がおおよそ継承されています。また、武家屋敷の奥には畑地が配され、周辺部には田畑も多く、三春地区は現在も町と山林（里山）が近接する田園都市です。

(2)沢石地区

沢石地区は、要田地区の北に接し、本町の最北部に位置する地区です。江戸時代の富沢・実沢・青石村の3村から「沢」と「石」をとって命名されました。

田村郡の北部から安達郡へと流れる移川の流域に当たり、さらに富沢は現在の本町域では唯一の5000石領の村であるためか、本町の中では独特の歴史や文化を継承する地区です。位置的には、富沢の東に実沢、実沢から移川を隔てた北側が青石です。周囲は、西から北側が安達郡の旧白岩村、旧新殿村（現在の二本松市）、東側は、現在の田村市域で旧瀬川村と旧文珠村、南側は旧要田村に囲まれています。

元来は、米、麦の栽培と養蚕が盛んだった地区で、現在も地域の信仰が篤く、寺社の数も多く、結束力が強いとともに、ホタルの自生地が点在する自然豊かな地区です。

(3)要田地区

要田地区は、本町の北東に位置する地区です。江戸時代の熊耳^{くまがみ}・笹山・荒和田・南成田・北成田の5ヶ村が合併し、中心に当たる熊耳の小字要田を村名としました。

八島川の上流にあたり、西側を三春・御木沢地区、北西角が旧白岩村、北が沢石地区、東を旧文珠村に囲まれています。合併時の分村により、主に南東よりの旧荒和田村と旧笹山村（本町内は小字名だった庄司を大字とする）の大部分と熊耳村の一部が、田村市となりました。

元来は、米・麦・葉タバコと養蚕が盛んだった地区です。熊耳は、一部が田村市域になりますが、国道288号線が通り、JR要田駅や磐越自動車道船引三春インターチェンジがあり、アクセスが良いことから、大平工業団地が造成され、多くの企業が活動しています。農村地帯と工業団地が隣接する地区です。

(4)御木沢地区

御木沢地区は、三春地区の西に接し、本町の北西にあたる地区です。江戸時代の御祭・七草木・平沢の3村それぞれから「御」「木」「沢」をとって命名されました。

三春地区北西の担橋で八島川を渡ると平沢で、これを西に進むと JR 三春駅前を通過して、郡山市西田町の旧逢隈・高野村となります。八島川は、担橋の北 50m 程度上流で御祭川と合流し、この御祭川を北上すると、御祭、そして七草木となり、七草木の北は、安達郡白岩村（現在の本宮市）となります。また、御祭・七草木の東側は要田地区と接しています。

元来、米、麦、葉タバコ、養蚕といった農業が盛んな地域で、JR 三春駅周辺は、昭和期に栄町団地が造成され、物流関連の事業所もありましたが、平成以降は駅前よりも、広い土地が確保できる平沢工業団地や御祭団地といった開発も進み、一定の人口が確保できていることから、御木沢小学校は存続が予定されています。

(5)岩江地区

岩江地区は、本町の西部に位置する地区です。現在三春町である山田・上舞木・下舞木の3村のほか、白岩・下白岩・根木屋・阿久津・安原・横川・芹沢・南小泉・北小泉村が合併して、旧巖江村が誕生しました。旧巖江村は江戸時代に守山藩であったため、三春藩領域とはやや異なる文化が形成されました。

地区北東部の山田は、桜川を境に旧中妻村と区画されますが、この桜川が上舞木、下舞木の中央を流れ、南側で昭和の合併時に分かれた郡山市舞木町と入り組んだ区画となっています。ほかの周囲は、山田の北側が旧逢隈村で、山田・上舞木の東側が中妻地区であるほかは、現在の郡山市域となる旧巖江村と接しています。

国道 288 号線が通り、合併で町域ではなくなりましたが JR 舞木駅もあり、郡山市内への通勤通学に便利であることから、民間の住宅地の開発が盛んな地区です。このため、本町内では少子高齢化・人口減少のスピードが遅い地区ですが、新しい住民の割合が多い分、歴史や文化の継承が難しい地区でもあります。

(6)中妻地区

中妻地区は、本町の南西部に位置する地区です。鷹巣・沼沢・斎藤・西方・蒲倉・荒井の6か村が合併し、中世の伝承郷である中妻を名乗りました。このうち江戸時代に守山藩領であった蒲倉・荒井は、郡山市に合併しました。

北部が鷹巣、中部の東側が西方、西側が沼沢、南部は斎藤で、西方から斎藤を大滝根川が流れるほか、鷹巣に発した中妻川が沼沢を通り、斎藤で大滝根川に合流します。周囲は東が中郷地区、斎藤の東側が旧宮城村、南から西側が蒲倉・荒井、西側は旧巖江村で、北は三春地区です。

西方に三春ダムの本体が建設され、西方館跡が発掘調査を経て一部が復元整備されたほか、左岸にさくらの公園と向山森林公園、右岸にもみじやま公園と三春の里田園生活館などの施設が整備されました。さらに、郡山市に隣接する斎藤にハーブ園が建設され、最近はアウトドアスポーツの拠点としてアウトドアヴィレッジ三春も整備され、観光交流人口が多い地区です。

(7)中郷地区

中郷地区は、本町の南東側に位置する地区です。芹ヶ沢・込木・楽内・柴原・滝・蛇石・樋渡・根本・過足・狐田・春田・蛇沢・貝山の14か村が合併して、中世の伝承郷名である中郷村を名乗りました。

旧城下町の東縁に位置する芹ヶ沢・楽内・貝山の一部が桜川の流域にあたるほかは、本町南部を東から西へ流れる大滝根川の流域に位置します。東側は、北から芹ヶ沢、込木、柴原、滝、蛇石、樋渡、根本と続き、西側は南から過足、狐田、春田、蛇沢、貝山、楽内で、全体の東側が旧芦沢村（現在の田村市）、南が旧御館・宮城村（現在の郡山市）で、西が中妻地区、北が三春地区にあたります。

元来は、米・麦・葉タバコと養蚕が盛んでしたが、三春ダムの建設で水没した地域や宝物も多く、三階滝や不動滝といった名所が失われ、景観が一変しました。また、区の大部分が水没した春田・蛇沢の移転先として、大字春沢が新設されました。

※図や写真等を追加予定

第2章 三春町の宝物の概要

1. 指定等文化財

令和7(2025)年7月1日時点、文化財保護法、福島県文化財保護条例、三春町文化財保護条例に基づく本町の国・県・町指定ならびに登録文化財は、合計106件を数えます。国指定が2件で中山家住宅(建造物)と三春滝ザクラ(植物)、県指定が2件で光岩寺の木造阿弥陀如来立像(彫刻)と福聚寺の田村氏掟書(古文書)、国登録が2件で旧吉田家住宅主屋・紫雲閣(建造物)、それ以外の100件が町指定です。

類型でみると、有形文化財が71件で最も多く、民俗文化財が20件、記念物が15件で、各々の内訳は表2-1のとおりです。無形文化財、記念物(名勝地)、文化的景観、伝統的建造物群の指定・選定・登録はなく、無形文化財及び無形の民俗文化財の国の記録選択もありません。また、文化財の保存技術の選定はありません。なお、現在の三春町文化財保護条例には文化的景観の規定がありません。

内容でみると、106件の指定等文化財の中で、信仰に関わるものが合計79件にのぼります。寺院や神社が所蔵あるいはその敷地内に所在するもの(有形文化財、記念物)が61件、神社で奉納される獅子舞や神楽(無形の民俗文化財)が12件、境内地以外に建つ供養塔(有形文化財の歴史資料)が6件です。これは、本町の歴史や文化が、寺社や地域の信仰に支えられる部分が大きかったこともありますが、把握や管理がしやすい物件から指定されている可能性もあります。

表2-1：三春町の指定等文化財件数⁷(令和7(2025)年7月1日時点)

類型		国指定・選定	国選択	県指定等	町指定	国登録	合計	
有形文化財	建造物	1	—	0	4	2	7	
	美術工芸品	絵画	0	—	0	8	0	8
		彫刻	0	—	1	15	0	16
		工芸品	0	—	0	5	0	5
		書跡・典籍	0	—	0	4	0	4
		古文書	0	—	1	5	0	6
		考古資料	0	—	0	1	0	1
		歴史資料	0	—	0	24	0	24
無形文化財		0	0	0	0	0	0	
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	—	0	7	0	7	
	無形の民俗文化財	0	0	0	13	0	13	
記念物	遺跡	0	—	0	8	0	8	
	名勝地	0	—	0	0	0	0	
	動物・植物・地質鉱物	1	—	0	6	0	7	
文化的景観		0	—	—	—	—	0	
伝統的建造物群		0	—	—	0	—	0	
文化財の保存技術		0	—	—	—	—	0	
合計		2	0	2	100	2	106	

0：該当なし ー：制度なし

※認定申請時にはR8年3月時点の件数を記載予定

⁷ 表の件数には含まれていませんが、ほかに重要美術品等ノ保存ニ関スル法律(昭和8年法律第43号)により認定された国の重要美術品が2件あります。

地区別でみると、本町の 106 件の国・県・町指定文化財及び国登録文化財のうち、その約 70.8%にあたる 75 件は三春地区に集中しています。

表 2-2：三春町の地区別の指定等文化財件数（令和 7(2025)年 7 月 1 日時点）

類型	三春			御木沢			沢石			要田			中郷			中妻			岩江			合計			
	国指定	県指定	町指定	国登録	国指定	県指定	町指定	国登録	国指定	県指定	町指定	国登録	国指定	県指定	町指定	国登録	国指定	県指定	町指定	国登録					
有形文化財	建造物	0	0	4	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
	美術工芸品	絵画	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
		彫刻	0	1	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	16
		工芸品	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
		書跡・典籍	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
		古文書	0	1	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6
		考古資料	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		歴史資料	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	0	24
無形文化財	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
民俗文化財	有形の民俗文化財	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
	無形の民俗文化財	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	13	
記念物	遺跡	0	0	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	8	
	名勝地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	動物・植物・地質鉱物	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	7	
文化的景観	0	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	0	
伝統的建造物群	0	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	-	0	-	-	0	
合計	0	2	71	2	0	0	2	0	1	0	10	0	0	0	1	0	1	0	5	0	0	0	9	106	

2. 未指定文化財

未指定文化財の把握は、令和 6（2024）年度に実施したアンケート調査と地区ワークショップ、「国土利用計画（第 2 次三春町計画）」（平成 28(2016)年、三春町）策定の過程で実施した調査、昭和 53（1978）年度から同 55（1980）年度にかけて実施した絵馬の悉皆調査、同 54（1979）年度に実施した近世社寺建築緊急調査、福島県埋蔵文化財包蔵地台帳等から行いました。

令和 7（2025）年 7 月 1 日時点で、把握している本町の未指定文化財は 931 件であり、その内訳は表 2-2 のとおりです。なお、遺跡 273 件のうち 232 件は、台帳に登録された埋蔵文化財です。

類型でみると、最も多いものは遺跡で全体の 29.3%、次いで建造物で 27.5%、次いでその他（地名、方言等）で 15.1%です。

地区でみると、中郷地区が最も多く全体の 21.7%、次いで中妻地区が 15.1%、沢石地区が 14.3%、最も少ない地区が三春地区で 11.1%です。三春地区は、指定等文化財が集中しているため、アンケート調査や地区ワークショップ、「国土利用計画（第 2 次三春町計画）」の調査では、あまり多くの未指定文化財が挙げられなかった可能性があります。

表 2-3：三春町の未指定文化財件数（令和 7(2025)年 7 月 1 日時点）

類型		三春	御木沢	沢石	要田	中郷	中妻	岩江	全域	合計	
有形文化財	建造物	23	36	38	34	57	34	34	0	256	
	美術工芸品	絵画	0	1	0	0	0	0	0	0	1
		彫刻	1	5	4	6	3	4	0	0	23
		工芸品	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		書跡・典籍	1	0	0	0	0	0	0	0	1
		古文書	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		考古資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歴史資料	2	2	2	0	1	2	2	0	11		
無形文化財	0	0	0	1	0	0	0	0	1		
民俗文化財	有形の民俗文化財	12	12	22	8	19	11	8	1	93	
	無形の民俗文化財	6	5	1	5	8	6	6	0	37	
記念物	遺跡	20	31	32	33	80	52	25	0	273	
	名勝地	2	0	0	1	3	2	6	0	14	
	動物・植物・地質鉱物	15	5	15	7	10	6	3	0	61	
文化的景観	3	0	5	0	5	2	2	0	17		
伝統的建造物群	1	0	0	0	0	0	0	0	1		
その他	16	10	14	23	16	22	20	20	20	141	
合計		103	107	133	118	202	141	106	21	931	

全域：方言等の町全域に関わるもの

※認定申請時には R8 年 3 月時点の件数を記載予定

※今は地区ごとにしているが今後まとめる可能性あり

3. 類型ごとの概要と特徴

(1)有形文化財

①建造物

建造物は、主に江戸時代のもので、江戸時代中期の民家である中山家住宅が国指定のほか、真照寺の古四王堂、田村大元神社の境内末社2社と表門といった寺社建造物と、18世紀末頃に建築された藩講所の表門があります。近年、明治期に富裕な商人が自宅と離れとして建設した旧吉田家住宅の主屋と紫雲閣が国の登録有形文化財となりました。

未指定文化財は、旧城下町の龍穩院や天沢寺の本堂、馬頭観音堂、愛宕神社拝殿といった寺院や神社の建造物が江戸時代後期の建築であるほか、周辺農村を含めて近代の寺社建築が多数残されており、虹梁や柱等に優れた彫刻が施された建造物が多く見られます。また、南町にある洋風建造物・旧遠藤医院や弓町の遊郭跡など、近代の優れた建造物が残されています。なお、旧城下町をはじめ周辺農村には、江戸時代後期から近代の建築と推定される多数の古い土蔵や民家が残されています。さらに、近代化遺産として移川の水力発電所の関連遺構や、現代の三春ダムや関連施設、本町出身の建築家である大高正人の設計による公共施設といった建造物もあります。

②美術工芸品

ア. 絵画

絵画は、仏画や僧侶の肖像画のような仏教の信仰に関わるものが中心です。ほかに、戦国時代に晩年を三春で過ごした画僧・雪村周継せつそんしゅうけいによる奔馬図や達磨図、主に近代の三春で活躍した高倉旭城たかくらあきむらによる滝桜図もあります。

未指定文化財は、江戸時代後期の三春藩士で明治期も活躍した中村寛亭が、鶴や人物画を中心に多数の作品と弟子を残しています。同じく三春藩の駒奉行等を勤めた徳田氏は、好時、好展、甘露の3代に渡って研山と号し、絵馬を中心に馬の絵を多数残しています。ほかに、明治から昭和前期に活躍した画家の作品も多く伝わっています。

イ. 彫刻

彫刻は、16点全てが高僧を含めた仏像で、真照寺や法蔵寺等に多く、光岩寺では本尊が県指定(国認定重要美術品)のほか、脇侍仏2点があります。

未指定文化財は、城下町だけではなく周辺農村の寺院や仏堂に、江戸時代と推定される仏像が多数伝わっています。

ウ. 工芸品

工芸品は、高木神社に田村氏が帝釈天に奉納した金工品4点が伝わっているほか、県指定の銅製鱧口わにぐちもありましたが、盗難に遭って昭和46年に指定解除されました。また、永仁3年(1295)の銘をもつ田村大元神社の銅製松喰鶴鏡は国認定の重要美術品です。

未指定文化財は、各地の寺院や神社に、江戸時代の銅鏡や鱧口わにぐち、鉦かね、華鬘けまん等の金工品が多数伝わり、江戸時代の藩士や町・村の役人等の子孫の家に、膳や椀等の漆器や陶磁器の優品も伝わっています。また、張子細工の三春人形や木工品の三春駒、三春羽子板といった郷土玩具類も優品がたくさん残されており、三春の文化を象徴する宝物です。ほかに、江戸時代から大正時代にかけて、城下の丈六で藩の瓦師である江幡氏が丈六焼と呼ばれる瓦質土器を制作し、祠や狛犬、恵

比寿・大黒等の人形が各所に伝わっています。

工. 書跡

書跡は、3点とも江戸時代の高僧の墨跡等で、福聚寺と高乾院の所蔵です。

未指定文化財は、寺院や神社に高僧の書が多数伝わり、旧藩士や上級町人の家には藩主一族の書も伝わっています。また、三春周辺には自由民権運動を経て国会議員となった河野広中の揮毫が多数伝わっています。

オ. 典籍

典籍は、高乾院の仏教典籍 1,710 点です。

未指定文化財は、江戸時代の藩講所で所蔵した約 2,600 点の和漢の典籍と、それを引き継いだ自由民権運動の学校である正道館や近代の三春小学校の図書を三春町歴史民俗資料館で保管しており、貴重な宝物です。

カ. 古文書

古文書は、県指定の田村氏掟書をはじめとして、主に戦国時代の田村氏に関係するものが4件と、江戸時代前期の雪村庵再建に関わる文書のほか、三春藩主秋田家の祖に関連する文書が指定されています。

未指定文化財は、**浪岡・細川・植田・湊・橋村家等旧三春藩士の家や、川又・春山・橋元家等町役人の家、木幡・平沢家といった庄屋の家の古文書群**を、歴史民俗資料館で多数保管しています。

キ. 考古資料

考古資料は、縄文時代の大規模な集落跡である西方前遺跡の出土品のうち、晩期末葉の墓跡と推定される第94号土坑から一括出土した土偶1点と土器7点が指定されています。

未指定文化財は、福島県教育委員会が所蔵する**柴原A遺跡から出土したハート形土偶**が貴重な資料です。

ク. 歴史資料

歴史資料は、主に仏教関係と城・城下町・大名に関わるものが指定されています。仏教関係は、真照寺に伝わる中世の経典等の写しと、江戸時代初期を中心とする福聚寺・高乾院に伝わる禅僧の印可證文群と、高乾院の古文書等があり、ほかに周辺農村部に点在する板石供養塔婆等が6件指定されています。また、三春城と城下の絵図が3件、三春城の鯪瓦と鬼瓦が各1点、龍穩院に伝わる秋田肥季夫人が使用した姫駕籠（女乗物）や、三春藩主秋田家の子孫から寄贈された甲冑や鞍、大礼服など9点があるほか、明治期に河野広中が三春小学校へ寄贈したブリタニカ百科事典もあります。

未指定文化財は、江戸時代後期から明治時代にかけて三春周辺で盛んに学ばれた和算に関連して、寺社に奉納された算額や、和算から発達した技術で領内の村々を測量をした**三春藩絵図方の資料**があります。

(2)無形文化財

無形文化財の指定等はありませんが、未指定文化財としては三春人形の制作技術があります。

(3)民俗文化財

①有形の民俗文化財

有形の民俗文化財は、三春大神宮の10面、馬頭観音堂の9面、天日鷲神社の2面、巖島神社の1面の絵馬と、三春大神宮の木彫品である白馬像が指定されています。

未指定文化財は、江戸時代から近代にかけて奉納された絵馬が多数伝わっており、三春での馬産の振興がうかがえます。こうした馬産のほかに、養蚕、葉煙草や菅笠といった特産品の生産・流通や、農業に係る道具、さらに職人や商売に係る道具が多数伝わっています。

②無形の民俗文化財

無形の民俗文化財は、太々神楽が3件、三匹獅子舞が5件、長獅子舞が3件のほかに、盆踊りと水かけ祭りが指定されています。このほかに、地域で行われている念仏講（数珠廻し）や天神講、えびす講等の講が伝わっています。

未指定文化財は、食として、索麺や油揚げ、ゆべしといった伝統的な商品や、餅や団子といった家庭料理、ブルーベリーやピーマン（グルメンチ）といった最近の農作物があります。

(4)記念物

①遺跡

遺跡は、田村・加藤・松下・秋田氏に関わる大名墓5件のほか、堂平遺跡の敷居住居跡と三春城址が史跡に指定されています。

未指定文化財のうち、埋蔵文化財は、232件が埋蔵文化財包蔵地台帳に登録されています。性格や時代が異なる遺跡が同じ場所で重複する複合遺跡があるため合計数が多くなりますが、種別では集落跡を含めた散布地が162件、古墳・塚が28件、城館跡が29件、板石供養塔婆など石造物が11件、焼物の窯跡である生産遺跡が2件あります。時代別では、縄文時代が70件、弥生時代が2件、古墳時代が13件、奈良時代が64件、平安時代が118件、中世が39件、近世が35件、近代が3件、不明が26件となります。なお、本調査を行っていない遺跡は奈良時代と平安時代の区分が難しいため、奈良時代の遺跡は全て平安時代まで継続している形で登録されています。そして、古墳時代では、集落跡は確認されておらず、全てマウンドを持つ古墳状の遺構で、これらは中近世の塚の可能性もあります。また、全体の割合としては多くありませんが、近世が35件、近代も3件の遺跡が登録されており、他の市町村と比べると高い比率です。

未指定文化財は、ほかに、来光院跡に残る百杯宴碑や、庚申塔、日待・月待塔、顕彰碑や忠魂碑といった石塔・石碑があらこちらにあります。また、おおよそ江戸時代の村毎に所在する城館跡は、本町の歴史を構成する重要な遺跡です。

②名勝地

名勝地の指定等はありませんが、未指定文化財としては井戸や泉、近世のため池、明治時代に開かれた小鳥山公園等の名勝地があります。

③動物・植物・地質鉱物

動物の指定等はありませんが、未指定文化財としては主に沢石地区にホタルの生息地が多数確認されています。大部分はヘイケボタルですが、一部ゲンジボタルを見ることができる生息地もあり

ます。

植物は全て樹木で、三春滝ザクラ（国指定）をはじめとしたサクラが3件のほか、モミ、イヌシデ、ケヤキ、ブナが1件ずつあります。真照寺のイチイは平成17（2005）年の大雪で毀損し、指定解除となりました。滝ザクラと愛宕神社のケヤキ、南成田の大桜、白山比咩神社のブナは、福島県農林水産部が所管する「緑の文化財」にも登録されています。

未指定文化財には、「緑の文化財」であるサクラとヒイラギが各1件とイチイ並木、三春大神宮の森といった樹木群があります。サクラについては、三春さくらの会が、桜の名木として町指定文化財の2本を含めた25本を指定し、標柱を設置して保護しています。このほかにも町内各所に多数の桜樹があり、各地区でそれらを紹介する地図を作成する等、三春の文化を象徴する樹木であることから、本町は枝垂れ桜を町の木としています。これに対して、町の花は、阿武隈高地に自生するツツジ（サツキ）の栽培品種の松波で、以前は盆栽として栽培する愛好家がたくさんいましたが、近年は減少しています。

地質鉱物の指定等はありませんが、未指定文化財としては、三春城跡の城山中腹で確認できる白河層下部の礫層や、一本松地内等で産出していた結晶質石灰岩があります。

(5)文化的景観

文化的景観の選定はありませんが、未指定文化財としては、各地区で開催したアンケート調査やワークショップで、旧城下町の三春城跡や寺社から望んだり、それらを含む風景や、農村部の集落や田園の風景等が挙げられています。

(6)伝統的建造物群

伝統的建造物群の選定はありませんが、未指定文化財としては、弓町の遊郭跡が相当します。

(7)その他

その他の宝物は全て未指定文化財で、墓地や地名、伝承、方言等があります。墓地については、町内各所に古い石碑を遺す共同墓地や旧墓地があり、地域で利用していた棺台のような葬具を保管する施設が併設される場合もあります。また、町内各所にいわれのある地名や昔話等の伝承、本町独特の方言も伝わっています。

※写真等を追加予定

4. 地区の宝物の概要

(1) 三春地区

三春地区の鎮守は、大町が王子神社、中町が愛宕神社、八幡町が八幡神社、北町が北野神社、荒町が八雲神社（旧牛頭天王）、新町が田村大元神社（旧大元帥明王）で、各区で祭礼が行われ、近代以降は三春大神宮（旧神明宮）が三春地区全体の鎮守として、八島台を含めた各区で山車や神輿を奉納しています。寺院は、曹洞宗が龍穩院（荒町）、天沢寺・州伝寺（新町）、臨済宗が福聚寺（中町）、高乾院（荒町）、浄土宗が紫雲寺（大町）、光岩寺（北町）、時宗が法蔵寺（荒町）、真言宗が真照寺（新町）、浄土真宗が光善寺（荒町）、日蓮宗が法華寺（八幡町）、天台寺門宗が華正院（馬頭観音堂、荒町）の12ヶ寺があります。ほかにも地蔵堂や薬師堂などの仏堂や祠が多数残されていますが、江戸時代はこの2倍以上の寺社があったようです。

指定文化財は、県指定の有形文化財が阿弥陀如来立像（光岩寺）と田村氏掟書（福聚寺）があります。町指定では、藩講所表門や田村大元神社の表門や境内末社といった建造物のほか、各寺院の仏像・仏画をはじめ、たくさんの絵画・彫刻・古文書・歴史資料等が指定されています。**有形の民俗文化財**では、三春大神宮に奉納された白馬像や絵馬群、馬頭観音堂に奉納された絵馬群があり、**無形の民俗文化財**では三匹獅子舞（田村大元神社）、長獅子舞（八幡神社、田村大元神社、八雲神社）が指定されています。また、史跡として三春城趾と、三春を治めた大名で田村家（福聚寺）、松下家（州伝寺、光岩寺）、秋田家（高乾院、龍穩院）それぞれの墓所があり、ほかに天然記念物では、八十内公園のかもん桜、三春大神宮のモミ、愛宕神社のイヌシデ・ケヤキがあります。

(2) 沢石地区

沢石地区の大字の鎮守は、富沢が天日鷲神社（旧鷲大明神）、実沢が高木神社（旧天王宮あるいは帝釈天）、青石が稲荷神社で、寺院は富沢に宝伝寺（十一面観音堂）、実沢に瑞祥寺（ともに曹洞宗）がありますが、明治維新後、多くの住民が神道に改宗した地区でもあります。特に高木神社は、三春城の北東の鬼門を護る帝釈天が祀られ、戦国時代の田村氏をはじめ、代々の城主が信仰しました。

指定文化財は、国指定の中山家住宅（富沢）をはじめ、町指定では有形文化財で高木神社に田村氏が奉納した銅鏡、華鬘、銅鑼などの金工品（歴史民俗資料館寄託）、**有形の民俗文化財**では天日鷲神社奉納絵馬2面（富沢、1面のみ歴史民俗資料館寄託）と、**無形の民俗文化財**で垢潜（火雷神社と天日鷲神社）と高木神社の三匹獅子舞、富沢の太々神楽があります。ほかに、本町内で最も標高の高い念仏壇へ続く尾根筋上で、安達太良山を望む高所に営まれた縄文時代の集落跡・堂平遺跡の敷石住居跡があります。

(3) 要田地区

要田地区の大字の鎮守は、北成田が成田神社、南成田が春日神社、笹山が三輪神社、熊耳が熊野神社（旧熊王子権現）で、寺院は、熊耳に宝樹寺（臨済宗）、笹山に大聖寺（真言宗）がありますが、ともに現在は田村市域です。合併により田村市域と宝物を共有する、複雑な地区といえます。

地区の中心部が田村市に合併したため、指定文化財は町指定天然記念物の南成田の大桜だけですが、大桜を地域で保存する「大桜を守る会」や三輪神社と笹山神社で神楽を継承する「三輪神社神楽保存会」が活動しています。

(4)御木沢地区

御木沢地区の大字の鎮守は、平沢が見渡神社、御祭が巖島神社（旧弁財天）、七草木が若草木神社（旧王子権現）で、平沢・御祭には寺院はなく、七草木に阿弥陀院尊陽寺（真言宗）がありましたが、令和6（2024）年に廃されました。ほかに、平沢に虚空蔵堂、観音堂、物外地蔵堂といった仏堂があります。

指定文化財は、町指定の戦国時代の末期の文書2通からなる「平沢文書」と「巖島神社奉納祭礼絵馬」があります（ともに歴史民俗資料館寄託）。

(5)岩江地区

岩江地区の大字の鎮守は、山田が^{あわなぎ}洙蕩神社で、現在の郡山市舞木町を含めた上下舞木は^{なおひ}直毘神社です。寺院は、上舞木に延命寺（真言宗）があるほか、仏堂で山田の寺作千手観音堂、上舞木に寺山千手観音堂、下舞木に薬師堂があります。

指定文化財は、有形文化財で本町内最大・最古の板碑である上舞木板石供養塔婆があるほか、**無形の民俗文化財**で直毘神社の太々神楽があります。

(6)中妻地区

中妻地区の大字の鎮守は、鷹巣が八雲神社（旧牛頭天王）、沼沢が春日神社、西方が塩釜神社、斎藤が見渡神社で、寺院は鷹巣に薬師寺（浄土宗）、善応寺（臨済宗）があるほか、仏堂で沼沢に子安薬師堂、斎藤に安養寺があります。

指定文化財は、町指定有形文化財で、沼沢の光明寺薬師堂の子安薬師厨子、中世の田村氏に関わる大祥院文書2通、斎藤の向田板石供養塔婆・戸ノ内板石供養塔婆、沼沢の町田板石供養塔婆といった板碑のほか、三春城鬼瓦が鷹巣にあります。また、考古資料では、縄文時代の大規模集落である西方前遺跡から出土した土器群があるほか、**無形の民俗文化財**で西方の水かけ祭り（塩釜神社）と斎藤の太々神楽（見渡神社）があり、旧江戸街道沿いに鷹巣の一里塚が所在します。

(7)中郷地区

中郷地区の大字の鎮守は、芹ヶ沢が津島神社（旧天形星王）、込木が見渡神社（旧飯渡大権現）、楽内が熊野神社、柴原が柴原神社（旧三渡大明神）、滝が稲荷神社、蛇石が巖島神社（旧弁財天）、樋渡が樋渡神社、根本が根本神社（旧八王子）、過足が菅布祢神社、狐田が稲荷神社、春田が日枝神社（旧山王大権現）、蛇沢が見渡神社、貝山が^{はくさん ひめ}白山比咩神社です。寺院は、滝に龍光寺（曹洞宗）、根本に東光寺（真言宗）、過足に全応寺（曹洞宗）があるほか、仏堂として龍光寺に馬頭観音堂、東光寺に観音堂が祀られ、貝山に観音堂、薬師堂があります。また、三春ダムの建設で水没する神社の一部は移転されました。

指定文化財は、国指定天然記念物の三春滝ザクラがあるほか、有形文化財で東光寺観音堂の木造正観音像、滝板石供養塔婆、**無形の民俗文化財**で蛇石と樋渡の三匹獅子舞、天然記念物で白山比咩神社のブナがあります。

三春ダム建設により道路や公園等が整備され、工事に先だって埋蔵文化財の発掘調査が各所で行われたため、遺跡の密度が濃い地区でもあります。

※図や写真等を追加予定

5. 宝物の保存・活用に関わる団体

本町には、宝物の保存・活用に関わる団体として、三春さくらの会、三春町観光ガイドの会、三春町歴史民俗資料館友の会、生涯学習ボランティアの会、三春まちづくり公社等があります。

さらに、個別の宝物を対象に、文化財保護関連団体が保存や継承のための活動を行っています。無形の民俗文化財に関わる団体は、近世から城下町や農村集落で繰り広げられ発展してきた、多彩な獅子舞や神楽、盆踊り等の継承に携わっています。植物に関わる団体は、本町を象徴する樹木である桜の保護・管理を行っています。

表 2-4：三春町の保存・活用に関わる団体（令和 7(2025)年 8 月 1 日時点）

番号	団体名	分類	主な活動内容
1	三春さくらの会	植物(桜)	町内の桜の名木の保護・保存と桜の町の普及・啓蒙
2	三春町観光ガイドの会	観光	観光客への案内・啓蒙
3	三春町歴史民俗資料館友の会	全般	
4	生涯学習ボランティアの会	全般	
5	三春まちづくり公社	観光	施設及び業務の企画・運営・管理
6	文化財保護 関連団体	無形の民俗 文化財	西方若連会
7			斎藤区(斎藤太々神楽保存会)
8			田村大元神社三匹獅子保存会
9			田村大元神社別火講中
10			八幡町若連
11			荒獅子保存会
12			樋渡三匹獅子舞保存会
13			上舞木御神楽講保存会
14			大町太鼓保存会
15			中町若連
16			巖島神社
17			三輪神社神楽保存会
18			滝桜保存会
19			南成田の大桜を守る会
			町指定文化財「三春滝ザクラ」の保護・管理
			町指定文化財「南成田の大桜」の保護・管理

※団体の分類や活動内容等を整理予定

※三春まちづくり公社、滝ザクラを守る会を記載するか要検討

第3章 三春町の歴史文化の特性

第1章で述べた本町の概要（自然的・地理的環境、社会的状況、歴史的背景）と第2章で述べた宝物の概要より、本町は、丘陵地に開かれた小さな城下町（現在の三春地区）と周辺の農山村（現在の**沢石・要田・御木沢・岩江・中妻・中郷**地区）から構成され、そこに歴史や文化に関わる特徴として、三春滝ザクラをはじめとした桜、中近世の大名や武士の文化、城下町の町人文化、馬産・養蚕・葉煙草・三春人形・三春駒といった特産品、中近世の寺社文化とそこから派生する信仰や祭礼、近代の河野広中による自由民権運動等がみられる地域です。

本計画では、自然的・地理的環境、社会的状況、歴史的背景と、それらに育まれた多様な宝物の総体を「歴史文化」という用語で表します。本町で培われてきた、三春の個性や三春らしさを表す歴史文化の特性は、以下の5つとして整理します。

1. 枝垂れ桜が咲き競う阿武隈の山里
2. 三春城を仰ぎ見る城下町の文化
3. 村と町の暮らしを支えた産業と工芸品製作
4. 寺社祠が伝える祈りと祭り
5. 自由民権が謳われた郡役所の町

1. 枝垂れ桜が咲き競う阿武隈の山里

※2, 3行の概要文を記載予定

本町は阿武隈高地の中でも西縁に位置するため、緩やかな丘陵に小河川が複雑に谷を刻み込むことで、変化に富んだ美しい山里の景色が生まれました。

そんな旧城下町を含め、近郊農村の田園風景のあちらこちらに、大きな枝垂れ桜を見ることができます。三春周辺の風土は、ベニシダレザクラの生育に適しており、中でも見事に育った滝桜は、江戸時代の藩主をはじめ地域の人々から愛されました。そうした人々が、自分が暮らす風景の中にも滝桜を育てたいと願って、その子孫樹を植栽した結果、枝垂れ桜が一斉に咲き競う三春の春の景観が形成されました。

2. 三春城を仰ぎ見る城下町の文化

※2, 3行の概要文を記載予定

戦国時代の田村地方を統一した田村義頭は、永正元（1504）年に三春の中心にある大志多山に、三春城を築きました。そして、家臣団を城下に居住させるとともに、田村庄の総鎮守である大元帥明王や、田村家の菩提寺である福聚寺を三春に移し、既存の寺社の門前町とも複合することで、三春の城下町を形成しました。その後、蒲生氏の城代や加藤・松下氏の支配を経て、正保2（1645）年からは秋田氏11代による治世が明治維新まで続きました。

そんな三春の象徴である三春城は、舞鶴城とも呼ばれ、殿様や武士だけではなく、城下に暮らす町人や近郷の農民たちにとっても自慢の城でした。日々、三春城を仰ぎ見る人々により、**東北の山間部の気候・風土に根ざした**文化が花開き、それが継承されることで三春は発展しました。

3. 村と町の暮らしを支えた産業と工芸品製作

※2, 3 行の概要文を記載予定

三春には大きな河川はなく、狭隘な谷地では水田経営を**拡大すること**は困難なうえ、阿武隈の高冷地では稲の生育も安定しなかったことから、江戸時代を通じて新田開発は進展しませんでした。そこで三春藩は、稲作に代わる商品作物として、馬産や養蚕、そして葉煙草生産を推進し、それによって農家の暮らしが支えられました。それらの産品は、藩や城下の仲買人の手により選別・加工され、市場を通じて各地へ流通するとともに、幕府や朝廷へ献上されることで、三春の名が全国に知れ渡りました。

また、農閑期の副業として始まった張子人形や木地玩具の製作も、華やかな三春人形や三春駒といったブランディングにより、全国の愛好家が競って購入するようになりました。

4. 寺社祠が伝える祈りと祭り

※2, 3 行の概要文を記載予定

中世以来、三春には多種多様な神仏がもたらされ、城主たちから庇護を受けるとともに、地域の人々の篤い信仰により、大小様々な寺社や仏堂、祠が建立されました。城下町や村々では、それらに対する祈りの講が催され、たくさんの絵馬や算額・句額、木工・金工品などが奉納されました。

さらに、祭りとしては、長獅子舞や三匹獅子舞、太々神楽といった芸能や、武術や砲術、馬術なども奉納され、夏の夜には各地に櫓が建ち、盆踊りが催されました。城下町やあちらこちらの農村集落で、四季折々の多彩な年中行事が繰り広げられ、それを地域や所属団体毎に競いあうことで、三春の文化が発展し、現在に継承されました。

5. 自由民権が謳われた郡役所の町

※2, 3 行の概要文を記載予定

明治維新後の三春は、江戸時代以来の物流の拠点であるとともに、城に替わって郡役所が置かれ、田村郡の都として発展しました。そんな中で、河野広中が自由民権に目覚め、仲間たちとともに運動の拠点としたことで、全国から運動家たちが集まりました。その過程で、福島事件や加波山事件といった悲惨な事件も起きましたが、それを糧に現在の民主主義が育ちました。

第4章 三春町の宝物に関する既往の把握調査

1. 宝物に関するこれまでの調査

本町では、これまでに、宝物に関する把握調査として、三春町史編纂時等の三春町による調査、三春町教育委員会による調査、三春町歴史民俗資料館による研究や展覧会開催のための調査、福島県教育委員会による調査（文化庁の補助事業等で実施した全国的な文化財調査）等を行ってきました。

上記の把握調査に関する報告書・書籍等は、昭和 31(1956)年から平成 29(2017)年のものまでであり、そのうち最も多いものは福島県教育委員会発行の報告書です。

宝物の把握調査に関する報告書・書籍等の一覧は、資料編に掲載します。

※調査報告書の追加後、文章再整理予定

2. 把握調査の課題

建造物、美術工芸品（絵画、彫刻、工芸品、書跡・典籍、古文書）、無形文化財、民俗文化財（有形の民俗文化財、無形の民俗文化財）、記念物（遺跡）については、三春町史編纂時の調査や福島県教育委員会による県内の調査により、悉皆的に把握を行っています。そのうち、建造物と無形の民俗文化財については、平成期以降にも調査を行っており報告書の数も多く発行していますが、それ以外は昭和期の調査で留まっています。なお、有形の民俗文化財は三春町歴史民俗資料館の展覧会企画の過程において、平成期以降も悉皆的に把握を進めています。

美術工芸品（考古資料、歴史資料）、記念物（名勝地、動物・植物・地質鉱物）、その他の宝物については、調査成果が該当する部分もありますが、悉皆的な把握は行っていません。文化的景観と伝統的建造物群の把握調査は未実施です。

また、地区別でみると、三春地区については、旧城下町であり寺社が集中していることから、有形文化財についての調査成果が多く得られています。中郷地区は、三春ダム建設の予備調査が昭和 43(1968)年から始まり、その過程で水没する地域の建造物や無形の民俗文化財等の調査が集中的に行われました。

表 4-1：三春町の宝物の把握調査状況

類型		調査状況	調査状況の概要・課題	
有形文化財	建造物	○	・福島県教育委員会によって、平成期以降も寺社、城館、民家、近代建築等の悉皆的な把握調査が行われているほか、『福島県民俗分布図』や『「歴史の道」調査報告書』においても、三春・御木沢・中郷・中妻・岩江地区の建造物が調査されています。	
	美術工芸品	絵画	△	・福島県教育委員会によって、絵画の悉皆的な把握調査が行われていますが、昭和期までの調査で留まっています。 ・三春町歴史民俗資料館が、平成期以降も展覧会図録として絵画を整理していますが、旧藩士や町村役人の子孫、寺社所蔵のものに限られています。
		彫刻	△	・福島県教育委員会によって、彫刻の悉皆的な把握調査が行われていますが、昭和期までの調査で留まっています。 ・三春町歴史民俗資料館が、平成期以降も展覧会図録として彫刻を整理していますが、寺社所蔵のものに限られています。
		工芸品	△	・福島県教育委員会によって、金工品、漆工品等の悉皆的な把握調査が行われていますが、昭和期までの調査で留まっています。 ・三春町歴史民俗資料館が、平成期以降もコレクターの協力を受けながら継続的に工芸品の収集及び所在の把握に努め、展覧会図録として整理していますが、三春人形等に限られています。

類型		調査状況	調査状況の概要・課題
有形文化財	美術工芸品	書跡・典籍	△ ・福島県教育委員会によって、書跡の悉皆的な把握調査が行われていますが、昭和期までの調査で留まっています。
		古文書	△ ・三春町史に古代から現代までの史資料が整理されていますが、昭和期までの調査で留まっています。 ・福島県教育委員会によって、古文書の悉皆的な把握調査が行われていますが、昭和期までの調査で留まっています。 ・三春町歴史民俗資料館が、平成期以降も展覧会図録として古文書を整理していますが、旧藩士や町村役人の子孫、寺社所蔵のものに限られています。
		考古資料	× ・福島県教育委員会によって、石造文化財の悉皆的な把握調査が行われており、その中に本町の宝物が挙がっていますが、考古資料全体を対象とした悉皆的な把握調査は行っていません。 ・三春町教育委員会が、平成期以降も埋蔵文化財調査を行っていますが、開発に伴う調査に限られています。
		歴史資料	× ・福島県教育委員会発行『「歴史の道」調査報告書』に本町の宝物が挙がっていますが、歴史資料全体を対象とした悉皆的な把握調査は行っていません。
無形文化財		△	・福島県教育委員会によって、伝統工芸技術の悉皆的な把握調査が行われていますが、昭和期までの調査で留まっています。
民俗文化財	有形の民俗文化財	○	・三春町史に民具、玩具が整理されていますが、昭和期までの調査で留まっています。 ・三春の教育委員会が『みはるの絵馬』において、三春町歴史民俗資料館では『絵馬』において、三春地区で悉皆的な調査を行っていますが、三春地区以外は昭和期までの調査で留まっています。 ・福島県教育委員会によって、絵馬の悉皆的な把握調査が行われているほか、『福島県民俗分布図』においても、中郷・中妻・岩江地区の有形の民俗文化財について調査されていますが、昭和期までの調査で留まっています。 ・三春町歴史民俗資料館が、平成期以降も展覧会図録として三春人形や丈六焼等について整理しており、町内全域が対象となっています。
	無形の民俗文化財	○	・三春町史に衣食住、生業、生活、年中行事、信仰、民俗芸能、伝説等が整理されていますが、昭和期までの調査で留まっています。 ・福島県教育委員会によって、平成期以降も祭礼、民謡、風俗慣習、民俗芸能、山岳信仰、民俗技術等の悉皆的な把握調査が行われているほか、『福島県民俗分布図』においても、中郷・中妻・岩江地区の無形の民俗文化財について調査されています。
記念物	遺跡	△	・三春町史に遺跡、古墳が整理されていますが、昭和期までの調査で留まっています。 ・福島県教育委員会によって、石造文化財の悉皆的な把握調査が行われており、その中に本町の宝物が挙がっているほか、『「歴史の道」調査報告書』においても、三春・御木沢・中郷・中妻・岩江地区の遺跡について調査されていますが、昭和期までの調査で留まっています。 ・平成8(1996)年刊行の『福島県遺跡地図』や福島県埋蔵文化財包蔵地台帳の更新に伴い、継続的に分布調査を行っていますが、開発に伴う事前調査が主体となっています。
	名勝地	×	・福島県教育委員会発行『「歴史の道」調査報告書』に本町の宝物が挙がっていますが、名勝地全体を対象とした悉皆的な把握調査は行っていません。
	動物・植物・地質鉱物	×	・福島県教育委員会発行『「歴史の道」調査報告書』に本町の宝物が挙がっていますが、動物・植物・地質鉱物全体を対象とした悉皆的な把握調査は行っていません。 ・三春町と三春さくらの会が『1989年三春町さくらセンサス結果表』において、サクラの悉皆的な調査が行われていますが、昭和期までの調査で留まっています。
文化的景観		×	・把握調査は未実施です。

類型	調査状況	調査状況の概要・課題
伝統的建造物群	×	・把握調査は未実施です。
その他	×	・福島県教育委員会発行『「歴史の道」調査報告書』に本町の宝物が挙がっていますが、その他の宝物全体を対象とした悉皆的な把握調査は行っていません。

【調査状況の判断基準】

○：調査済み（把握調査を悉皆的に実施しており、平成期以降も継続している）

△：調査不足（把握調査を悉皆的に実施しているが、昭和期以前に留まっている）

×：調査未実施（把握調査を実施していない、または把握調査を実施しているが悉皆的ではない）

※ここでの悉皆的な把握調査とは、町全域を対象とした、三春町史編纂時の調査、三春町教育委員会・三春町歴史民俗資料館・福島県教育委員会による調査を指します。

第5章 宝物の保存・活用に関する将来像

1. 将来像

本町では、谷間に開かれた小さな城下町と農山村の両方で、桜や城館、伝統産業、寺社といった宝物が受け継がれてきました。地域に残る宝物は、本計画の上位計画である「第8次三春町長期計画」で掲げられている「ゆかしい（＝なつかしい、心惹かれる）」という言葉が体現しています。

宝物の保存・活用は、これまで主に所有者や行政が担ってきましたが、空家となったり解体されたりする民家が少なくなく、三春滝ザクラ子孫樹の苗木生産者は減少し、三春人形や三春駒の製作技術の安定した継承も危ぶまれており、少子高齢化や後継者不足といった課題が顕在化しつつあります。

宝物を次世代へと受け継いでいくためには、所有者や関係者だけで課題を抱え込まず、地域に暮らす一人一人、すなわち「地域のみんな」が、宝物の歴史的価値やそれらが失われようとしている状況に関心と危機感を持ち、支え合っていくことが欠かせません。地域社会全体で支え合う関係作りは、上位計画である「第8次三春町長期計画」と「三春町第2期教育大綱」でも重視されています。

また、「三春町第2期教育大綱」では、歴史・文化遺産の「継承・活用（＝受け継ぎ、活かす）」が基本政策として明記されています。本計画はこれに準じ、宝物を本来の価値を保ったまま未来へと「受け継ぎ」、地域の誇りや魅力として生活や産業、観光等に「活かす」ことを目指します。

さらに、現在価値付けが行われていない資料や建築、工芸品、樹木等であっても、将来的には宝物になり得る貴重な資源であるという考えから、100年後の宝物を「育む」という長期的な視点によって取り組みを進めていきます。

以上を踏まえ、本町の宝物の保存・活用に関する将来像を以下のように設定します。

<将来像> **地域のみんなで“ゆかしい”宝物を育み、受け継ぎ、活かすまち**

2. 方向性

将来像の実現に向けて、「育み、受け継ぐ」と「活かす」の2つの方向性により、宝物の保存・活用を進めることとします。

育み、受け継ぐ

- ・宝物の歴史的価値や文化的特徴を正しく理解するために、綿密な【調査・研究】を行います。
- ・宝物が長く大切に守られ、本来の価値を保ち続けるよう、適切な【保存・管理】や【防災・防犯】対策に取り組み、宝物を確実に保存します。
- ・所有者や関係者が抱える課題を支えながら、宝物を次世代へ継承する【体制構築】を行います。

活かす

- ・宝物をただ保存するだけでなく、地域の人々が身近に感じ、誇りを持って関わるができるよう、宝物の価値や魅力を【普及】し、地域の生活や産業、観光等に【活用】します。
- ・【情報発信】を強化し、町内外に向けて宝物の魅力を広めます。

「育み、受け継ぐ」は【調査・研究】、【保存・管理】、【防災・防犯】、【体制構築】、「活かす」は【普及・活用】、【情報発信】に分類し、第6章以降で課題を抽出し、方針と措置を設定します。

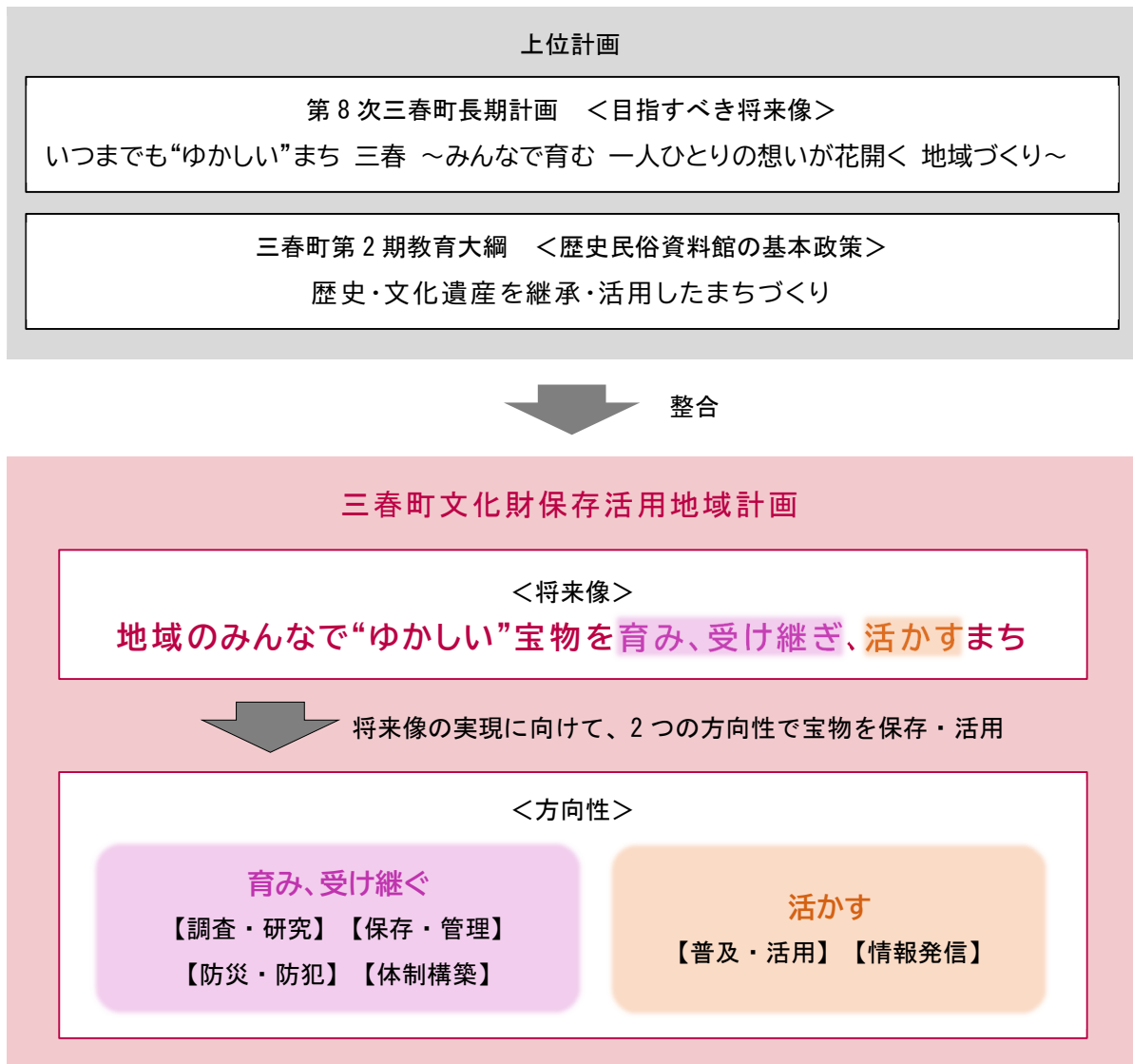


図 5-1：三春の宝物の保存・活用に関する将来像及び方向性

第6章 宝物の保存・活用に関する課題・方針

第5章で述べた将来像「地域みんなで“ゆかしい”宝物を育み、受け継ぎ、活かすまち」を実現するにあたり、解決すべき課題とそこから導き出される方針を、第4章までの内容に加えて、令和6（2024）年度に実施したアンケート調査及び地区ワークショップの結果等を踏まえて、以下のように抽出、設定します。

1. 「育み、受け継ぐ」に関する課題・方針

(1) 調査・研究に関する課題・方針

第4章で整理したとおり、本町では、主に昭和31（1956）年以降、宝物の把握調査を進めています。しかし、美術工芸品（絵画、彫刻、工芸品、書跡・典籍、古文書）、無形文化財、記念物（遺跡）については昭和期の調査で留まっており調査不足、美術工芸品（考古資料、歴史資料）、記念物（名勝地、動物・植物・地質鉱物）、文化的景観、伝統的建造物群、その他の宝物の把握調査は未実施です。調査済みである建造物についても、空家となったり解体されたりしている事例が多く、調査後に建てられた建造物に関しては、把握されないまま将来の宝物候補が失われている可能性があります。町外にも、田村家の墓やデコ屋敷、雪村庵等のほか、合併により分断される前は三春の文化圏内にあったと推測される宝物が散在していますが、本町では詳しい調査を実施していません。寺社や三春城跡、伝統行事、埋蔵文化財、桜等は、本町の歴史文化の特性とも深く関わる宝物であり、把握調査を踏まえての現況調査や総合的な調査、詳細調査を進める必要があります。

本町でこれまで実施してきた宝物の調査成果は、報告書や展覧会図録等にまとめられていますが、散在しており、体系的な整理が行われていません。結果として、宝物の全体像が把握しにくく、今後の保存・活用に向けた基礎資料として十分に機能していない状況です。記録の形態が様々で、アナログデータが多いことも、劣化や滅失のリスクに繋がり、利活用が難しい原因となっています。古文書や伝統工芸品の製作技術、伝統芸能等を、映像や画像、音声等の形で記録・保存するデジタル化を進める必要があります。また、指定等文化財についても、現況を確認し、台帳を更新する必要があります。さらに、本計画では、令和6（2024）年度に実施したアンケート調査と地区ワークショップ、過去の調査成果等から未指定文化財の把握を行い、宝物リストを作成しました。しかし、現地確認は未実施のため、現地で詳細を確認し、リストを更新する必要があります。

①課題

課題1) 調査・研究が不十分

美術工芸品、無形文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群、その他の宝物、近隣市町の関連する文化財の把握調査が不足、あるいは未実施です。把握調査済みの宝物であっても、現況調査や詳細調査が不足しています。

課題2) 調査成果の体系的な整理・更新が不十分

宝物の調査成果が散在しており、アナログデータも多く、保存・活用の基礎資料として十分に機能していません。指定等文化財の台帳や宝物リストも、現況確認を行い更新する必要があります。

②方針

方針 1) 計画的な調査・研究の推進

美術工芸品、無形文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群、その他の宝物、近隣市町に関連する文化財の計画的な調査・研究を推進し、分布や現況を正確かつ網羅的に把握します。

方針 2) 調査成果の体系的な整理・更新の推進

散在する調査成果を再整理し、アナログデータをデジタル化して、体系的にまとめるとともに、台帳等の更新を進めます。

(2)保存・管理に関する課題・方針

地域や個人で所有している未指定文化財は、保存に必要な人材や予算、施設設備の不足があり、失われるリスクが高まっています。特に寺社等については、風雨や経年劣化による損壊が進んでおり、適切な保存処置が行えていない場合があります。また、三春滝ザクラの苗木や伝統工芸品の贋物や粗悪品が流通・販売される事例が確認されており、宝物の価値の低下が懸念されます。

三春城跡は、旧城下町の象徴ですが、計画的な保存や活用、整備が行われていません。中山家住宅には所有者が現住していますが、改築ができず公開活用も進まないため、所有者にとっても、文化財としても望ましくない状況です。中山家住宅と同じ沢石地区に所在する堂平遺跡と共に、将来的な活用に向けて、復元等について検討する必要があります。滝ザクラは、全国からたくさんの観光客で賑わう名所であり、今後も計画的な保存管理を実施していく必要があります。滝ザクラの苗木生産も行っていますが、生産者が高齢化で少なくなり、挿木等の技術が継承されず、種が失われる危険に晒されています。

宝物を適切に保存・管理するための展示・収蔵施設が不足しており、廃校舎や空家等の活用も検討する必要があります。

地域の伝統工芸品や伝統芸能、寺社の管理等を支えてきた継承者の高齢化が進み、若年層の参加も限られています。人口減少の影響も相まって行事の継続が困難となり、文化の担い手不足が顕在化し、技術の継承が危ぶまれています。伝統工芸品や伝統芸能には専門の用具が必要な場合がありますが、修理費用の捻出も困難になっています。

①課題

課題 3) 宝物の価値付けが不十分

未指定文化財は、保存に必要な人材や予算等が不足しており、失われるリスクが高まっています。滝ザクラ等の指定等文化財であっても、贋物や粗悪品の流通・販売による価値の低下が懸念されます。

課題 4) 計画的ではない保存・管理

三春城跡や中山家住宅、堂平遺跡、三春滝ザクラといった指定等文化財の保存・活用、移築、復元、整備等の計画が決まっています。滝ザクラは、苗木生産者が高齢化で少なくなり、種が失われる危険性があります。

課題 5) 保存・管理場所の不足

宝物を保存・管理するための施設が不足しています。

課題 6) 継承者への支援が不十分

伝統工芸品や伝統芸能、寺社の管理について、継承者や用具の確保が困難になっています。

②方針

方針3) 宝物の登録・認証の推進

未指定文化財の指定・登録、宝物の認証・商標登録を推進します。

方針4) 計画的な保存・管理

三春城跡や中山家住宅、堂平遺跡、三春滝ザクラの保存・管理、活用、移築、復元、整備等の計画を検討します。滝ザクラは、苗木生産への支援等により種の保存を図ります。

方針5) 収蔵施設の確保

宝物を適切に保存・管理するための施設の確保を検討します。

方針6) 継承者への支援の強化

伝統工芸品や伝統芸能の継承者、寺社等の管理者等への支援を強化します。

(3)防災・防犯に関する課題・方針

宝物を守るためには、火災等の災害や盗難といったリスクに備えた防災・防犯対策が急務です。特に防犯について、宝物の所有者や町民の意識は高まりつつありますが、十分な対策が講じられていません。宝物の巡視や査察、消火訓練、防災・防犯計画作成、防災・防犯設備設置等による被害の未然防止や、災害対応マニュアル作成、相互応援協定に基づく災害支援等の緊急時の対応のための仕組みづくりが必要です。そのために、『国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン』、『国宝・重要文化財（美術工芸品）を保管する博物館等の防火対策ガイドライン』を参考にしながら対策を進めていきます。また、大規模災害の場合は、文化財防災センターなどの外部支援（文化財レスキュー・文化財ドクターの派遣）を都道府県に要請します。

①課題

課題7) 災害・犯罪への対策が不十分

宝物を火災等の災害や盗難から守るための防災・防犯対策が十分に講じられていません。

②方針

方針7) 防災・防犯対策の推進

被害の未然防止や緊急時の対応のための仕組みづくりを行い、防災・防犯対策を推進します。

(4)体制構築に関する課題・方針

子どもたちに地域の歴史や文化について学んでもらうため、本町では、小中学校の授業で使用する副読本の作成や、学校での歴史文化の講話、歴史民俗資料館等の施設での展示解説等を実施してきました。また、一般向けにも、歴史民俗資料館資料館が主体となる講座や、各種団体の事業に出向く出前講座などを実施してきました。しかし、子どもから大人までが三春の歴史・文化について理解を深め、次世代へと知識を受け継いでいくための環境はまだ十分に整っていません。学びの場を充実させるため、展示解説や出前講座、防犯・防災に関する教育・啓発、地域との連携による学習体制の構築、地区別の歴史学習や郷土学習を行い、これらに加え、学校教育では、地域・歴史・文化学習、体験活動、教材・資料の整備を行う必要があります。

さらに、宝物の保存や活用を推進していくためには、専門的な知識を持った人材が欠かせません。しかし、地域に根ざして活動し、歴史や文化を紹介できる団体や研究会、観光ガイド、語り部等の育成や継承が進まず、後継者不足が深刻な課題となっています。また、文化財行政に携わる専門的な知

識と経験を有する人材を計画的に雇用し、持続可能な体制を構築することが急がれます。

①課題

課題 8) 学習環境が未整備

子どもから大人までが、世代を超えて三春の歴史・文化について理解を深め、次世代へと知識を受け継いでいくための環境が十分に整っていません。

課題 9) 保存・活用に関わる人材の不足

地域に根ざして活動する団体の後継者や、文化財行政に携わる人材が不足しています。

②方針

方針 8) 学校教育と生涯学習の環境整備

学校教育において、地域の歴史や文化にふれる機会や教材の充実を図るとともに、生涯学習においても、**同様**の学習環境を整備します。

方針 9) 地域・行政での人材確保・育成

地域と行政が連携して、地域に根ざして活動する団体への支援や、文化財行政に携わる職員の雇用によって、人材を確保・育成し、宝物の保存・活用を持続可能にする体制を構築します。

2.「活かす」に関する課題・方針

(1)普及・活用に関する課題・方針

宝物については、資料館での展示等で公開が行われてきましたが、観光客や地域住民が身近に触れることができる機会は限られています。展示自体も、内容が固定化し、新鮮さがありません。より多くの人が目にし、理解を深められるよう、デジタル展示を含めた展示・解説の充実や企画展の開催、新規展示施設の開設、民俗芸能の公開等、様々な工夫が必要です。

また、町内には宝物を案内・解説するサインが少なく、来訪者が情報を得にくい状況にあります。保存や安全性、景観に配慮した周辺環境の整備も不十分であり、また周辺環境の整備や保存管理を行う文化財保護関連団体への支援の強化も必要です。

さらに、宝物は観光資源として一定の活用がされてきましたが、地域の魅力として十分に発信されているとは言いがたく、観光振興や交流の創出、地域活性化につながっていない状況です。宝物をブランディングしたうえでのグッズ作成、ビュースポットの設定、マップ作成、各種イベントやアウトドアや観光の分野との連携等、より効果的な活用の工夫が必要です。

①課題

課題 10) 展示・公開が不十分

既存の施設で宝物の展示が行われてきましたが、内容に新鮮さがありません。宝物を身近に触れることができる機会が限られています。

課題 11) 周辺環境が未整備

来訪者に向けたわかりやすいサイン、駐車場、便益施設等の周辺環境の整備や、それらの環境整備・保存管理を担う団体への支援が不十分です。

課題 12) 観光・交流・地域活性化への活用が不十分

宝物の地域の魅力としての発信が不十分で、観光や交流、地域活性化につながっていません。

②方針

方針 10) 展示・公開の充実

既存の施設での展示を充実させるとともに、新規の施設等の開設や民俗芸能の公開等により、宝物に身近に触れる体験を推進します。

方針 11) 周辺環境の整備

宝物を保全したうえで、その魅力を引き出し、安心して訪問できるサインや、景観等に配慮した周辺環境整備を進めます。また、環境整備・保存管理を担う団体への支援を強化します。

方針 12) 観光・交流・地域活性化への活用

宝物を観光や交流等と結びつけ、地域の魅力として積極的に活用することで、経済や人の流れを生み出し、地域全体の活性化につなげます。

(2)情報発信に関する課題・方針

本町では、町内外の人々に宝物の魅力や関係者の活動を伝えるため、町広報誌やSNS等を活用し、広報や情報発信を行ってきましたが、十分ではありません。町広報誌等による情報発信は引き続き充実させていくとともに、内容を地区別の宝物にする、動画やPRキャラクター、外部機関を活用する等の工夫を施し、宝物の認知度の向上を目指します。

①課題

課題 13) 広報・情報発信が不十分

宝物の魅力や関係者の活動について、町内外への広報や情報発信が不十分です。

②方針

方針 13) 広報・情報発信の充実

多様な媒体を活用して町内外への広報や情報発信を強化し、たくさんの人々に宝物の魅力や関係者の活動について周知することで、三春の歴史や文化のファンの拡大を図ります。

第7章 宝物の保存・活用に関する措置

第6章の課題・方針を踏まえ、行政あるいは官民協働で実施すべき、宝物の保存・活用の措置を設定します。

各措置については、その実効性を高めることを意図し、財源、主体、実施時期を設定し、計画期間に初めて開始する新規の措置は「新規」欄に示します。財源は、主に町費、県費、国費（文化財補助金、新しい地方経済・生活環境創生交付金等）とし、状況に応じてその他民間資金等を活用します。主体は以下の凡例に従って略称等で示し、行政については担当課も記載します。

表 7-1：措置の主体の凡例

略称	内容
行	行政
担当課	生 生涯学習課
	総 総務課
	産 産業課
	建 建設課
	教 教育課
団	団体(文化財保護関連団体、三春さくらの会、三春町観光ガイドの会、三春町歴史民俗資料館友の会、生涯学習ボランティアの会、三春まちづくり公社等)
所	所有者
地	地域(まちづくり協会(地区)、町内会(行政区)等)
町	町民
◎	事務局、主催等として中心になって措置に取り組む
○	事務局、主催等に協力して措置に取り組む

1. 「育み、受け継ぐ」に関する措置

(1) 調査・研究に関する措置

対応する方針	番号	新規	名称	財源	主体					実施時期					
					行	団	所	地	町	R8	R9	R10	R11	R12	
1) 計画的な調査・研究の推進	1-1	新規	未指定文化財の把握調査	町費	◎ 生	○	○	○	○						
			把握調査が不足、あるいは未実施である美術工芸品、無形文化財、記念物、文化的景観、伝統的建造物群、その他の宝物から優先的に、未指定文化財の把握調査を行います。												
	1-2	新規	寺社等の現況調査	町費	◎ 生	○	○	○	○						
			寺社等の建造物や所蔵する資料の現況調査を推進します。												
	1-3	継続	三春城跡の総合的な調査	国費 町費	◎ 生										
			三春城跡について、考古・文献・地質・植生等の総合的な調査を推進し、今後の保存・管理の基礎資料とします。												
	1-4	新規	近現代建造物調査	町費	◎ 生		○								
		調査が未実施のものを中心に、将来的に宝物となり得る魅力的な近現代の民家や建造物等の資源の調査、台帳等でのデータ整理を推進し、保存について検討します。													
	1-5	継続	伝統行事の現況調査	町費	◎ 生	○	○	○	○						
		地域に伝わる民俗芸能や年中行事の現況調査を推進します。													
	1-6	継続	埋蔵文化財の詳細分布調査	町費	◎ 生		○	○							
		埋蔵文化財の地表面観察による詳細分布調査を継続して実施します。													

対応する方針	番号	新規	名称	財源	主体					実施時期					
					行	団	所	地	町	R8	R9	R10	R11	R12	
1) 計画的な調査・研究の推進	1-7	継続	町内遺跡発掘調査	国費 町費	◎ 生										
	三春城跡の範囲を確定させるとともに、各曲輪の変遷を明らかにする発掘調査を行います。														
	1-8	継続	桜の現況調査	町費	◎ 生	◎	○	○							
桜の生育状況や周辺環境の現況調査を推進します。															
1-9	新規	近隣市町の関連する文化財の調査	町費	◎ 生		○									
近隣市町に存する三春の歴史や文化に関する宝物の把握調査を推進します。															
2) 調査成果の体系的な整理・更新の推進	2-1	新規	既往調査記録の再整理	町費	◎ 生										
	過去に実施した調査記録を、種類・年代・地域といったテーマ毎に統一形式で再整理します。														
	2-2	新規	三春の宝物の記録保存	町費	◎ 生	○		○	○						
	既に失われたあるいは失われつつある宝物を記録保存します。														
	2-3	新規	行政文書のアーカイブ事業	町費	◎ 生 総	○		○							
	合併前の旧町村文書から現代の公文書まで、公開に向けて整理を推進します。														
	2-4	新規	資料のデジタル化推進事業	国費 町費	◎ 生	○	○								
	資料やアナログデータのデジタル化を推進します。														
	2-5	新規	伝統工芸品製作技術記録事業	町費	◎ 生	○	○	○	○						
三春人形や三春駒の製作技術を記録し、保存を推進します。															
2-6	継続	伝統芸能等映像記録事業	国費 町費	◎ 生	○	○	○	○							
無形の民俗文化財の映像記録作成を推進します。															
2-7	新規	三春の景色アーカイブ事業	町費	◎ 生			○	○							
現在の本町の景色を、写真や図面等で記録し、公開に向けて整理を推進します。															
2-8	継続	指定等文化財の台帳の更新	町費	◎ 生		○									
指定等文化財の現況を確認し、台帳の更新を推進します。															
2-9	新規	宝物リストの更新	町費	◎ 生		○		○							
未指定文化財の詳細について現地確認を行い、宝物リストを更新します。															

(2) 保存・管理に関する措置

対応する方針	番号	新規/継続	名称	財源	主体					実施時期					
					行	団	所	地	町	R8	R9	R10	R11	R12	
3) 宝物の登録・認証の推進	3-1	継続	文化財指定・登録事業	町費	◎ 生		○	○							
	未指定文化財の指定・登録を推進します。														
	3-2	新規	三春の宝物登録・認証制度の検討	町費	◎ 生		○	○							
宝物の登録・認証制度を検討します。															
3-3	新規	三春の宝物商標登録の検討	町費	◎ 生 産	○	○									
宝物の商標登録を検討します。															
4) 計画的な保存・管理	4-1	継続	三春城跡保存整備・活用の検討	町費	◎ 生 建		○								
三春城跡(町指定)の保存や整備、活用、復元についての計画を検討します。															

対応する方針	番号	新規/継続	名称	財源	主体					実施時期				
					行	団	所	地	町	R8	R9	R10	R11	R12
4) 計画的な保存・管理	4-2	新規	中山家住宅移築復元の検討	国費 町費	◎ 生		○	○						
			中山家住宅(国指定)の移築・復元についての計画を検討します。											
	4-3	継続	堂平遺跡復元整備の検討	町費	◎ 生		○	○						
			堂平遺跡(町指定)の敷石住居跡の復元・整備について検討します。											
	4-4	新規	三春滝ザクラ保存活用計画の検討	国費 町費	◎ 生	○	○							
			三春滝ザクラ(国指定)の長期的な保存活用計画について検討します。											
4-5	新規	三春滝ザクラ子孫樹生産事業	町費	◎ 生産	○									
		三春滝ザクラ(国指定)の苗木生産を支援します。苗木生産技術を確立し、生産者団体を組織します。												
4-6	新規	三春滝ザクラ後継樹育成事業	町費	◎ 生産	○	○	○							
		三春滝ザクラ(国指定)の後継となる樹を調査し、育成します。												
5) 収蔵施設の確保	5-1	新規	資料館等改修の検討	町費	◎ 生									
			既存の展示・収蔵施設について改修を検討します。											
	5-2	新規	公共施設改修の検討	町費	◎ 生			○						
今後発生が予想される廃校舎等の未活用公共施設について、展示・収蔵施設としての利用を検討します。														
5-3	新規	未利用建築物改修の検討	町費	◎ 生			○	○						
		空家等の利用していない建築物について、展示・収蔵施設としての利用を検討します。												
6) 継承者への支援の強化	6-1	継続	文化財保護関連団体育成事業	町費	◎ 生	○		○	○					
			文化財保護関連団体への育成交付金を継続し、内容の充実を検討します。											
	6-2	新規	伝統工芸品製作者支援事業	町費	◎ 生			○						
			三春人形や三春駒の製作者を支援します。											
6-3	新規	伝統芸能等継承団体支援事業	町費	◎ 生	○	○								
		伝統芸能や地域行事の継承団体が、相互に、また行政機関と円滑に連携を図ることができるよう、当該団体の組織化を支援します。												
6-4	継続	指定等文化財修理事業	国費 町費	◎ 生			○							
		指定等文化財及び伝承のための用具の修理について支援します。												

(3) 防災・防犯に関する措置

対応する方針	番号	新規/継続	名称	財源	主体					実施時期				
					行	団	所	地	町	R8	R9	R10	R11	R12
7) 防災・防犯対策の推進	7-1	継続	町内文化財巡視事業	町費	◎ 生		○	○	○					
			宝物の巡視を推進します。											
	7-2	継続	文化財防火事業	町費	◎ 総		○	○	○					
宝物にかかる防火査察や消火訓練の実施を支援します。														
7-3	新規	防災・防犯計画作成支援事業	町費	◎ 総		○	○							
		宝物の防災・防犯計画作成を支援します。												

対応する方針	番号	新規/継続	名称	財源	主体					実施時期				
					行	団	所	地	町	R8	R9	R10	R11	R12
7)防災・防犯対策の推進	7-4	新規	防災・防犯対策強化事業	町費	◎ 総		○	○						
			宝物の防災・防犯設備設置に対する支援を検討します。											
	7-5	新規	災害対応の標準化事業	町費	◎ 総		○	○	○					
			宝物の災害対応についてマニュアルの作成を検討します。											
	7-6	継続	福島県相互応援協定事業	町費	◎ 生									
			福島県の相互応援協定に基づく災害支援を継続します。											

(4)体制構築に関する措置

対応する方針	番号	新規/継続	名称	財源	主体					実施時期				
					行	団	所	地	町	R8	R9	R10	R11	R12
8)学校教育と生涯学習の環境整備	8-1	継続	展示解説事業	町費	◎ 生	○								
			学校や各種団体への展示解説を推進します。											
	8-2	継続	出前講座事業	町費	◎ 生	○								
			学校や各種団体への出前講座を推進します。											
	8-3	新規	防犯・防災普及啓発事業	町費	◎ 生 総		○	○						
			宝物の防犯・防災に関する教育・啓発を推進します。											
	8-4	継続	地域・学校連携事業	町費	◎ 教			○						
地域と学校の連携による地域ぐるみの学習体制の構築を図ります。														
8-5	新規	地域学習推進事業	町費	◎ 教			○							
		地区別の歴史学習や郷土学習の充実を図ります。												
8-6	継続	学校教育推進事業	町費	◎ 教		○	○							
		学校教育での地域・歴史・文化学習、体験活動を推進します。												
8-7	継続	教材・資料の整備事業	町費	◎ 生										
		学校教育用の教材・資料の整備を推進します。												
9)地域・行政での人材確保・育成	9-1	新規	文化財保存地域団体事業	町費	◎ 生			○						
			地区ごとに存在する宝物を保存する「文化財保存地域団体」の設立を支援します。											
	9-2	新規	郷土史研究・愛好会事業	町費	◎ 生	○		○						
			郷土史研究会・愛好会等の創設を支援します。											
	9-3	継続	観光ガイド支援事業	町費	◎ 生 産	○		○						
観光ガイド組織を支援し、育成します。														
9-4	新規	語り部育成事業	町費	◎ 産	○									
		昔話等の語り部の育成と組織化を支援します。												
9-5	新規	文化財関連職員雇用事業	町費	◎ 生										
文化財行政に携わる人材を継続的に雇用し、その育成を図ります。														

2.「活かす」に関する措置

(1)普及・活用に関する措置

対応する方針	番号	新規/継続	名称	財源	主体					実施時期				
					行	団	所	地	町	R8	R9	R10	R11	R12
10)展示・公開の充実	10-1	継続	デジタル展示解説事業 資料館内のデジタル解説コンテンツの充実を図ります。	国費 町費	◎ 生	○	○							
	10-2	継続	常設展示事業 資料館等施設での展示内容の充実を図ります。	町費	◎ 生		○							
	10-3	新規	地域の歴史・文化紹介事業 地域ごとの企画展を開催し、出版物を刊行します。	町費	◎ 生		○	○						
	10-4	新規	新規展示施設開設の検討 既存の展示施設以外での展示・公開を検討します。	町費	◎ 生		○							
	10-5	新規	民俗芸能公開支援事業 民俗芸能等の発表会や現地での公開を支援します。	町費	◎ 生	○	○							
11)周辺環境の整備	11-1	継続	文化財サイン整備事業 指定等文化財の案内・解説表示の整備を推進します。	国費 町費	◎ 生		○	○						
	11-2	新規	文化財周辺環境整備事業 宝物周辺の駐車場や便益施設の整備を検討します。	町費	◎ 建			○						
	11-3	新規	文化財保護関連団体支援事業 個別の宝物を保存管理する団体の設立や運営を支援します。	町費	◎ 生		○	○	○					
12)観光・交流・地域活性化への活用	12-1	継続	三春の宝物ブランディング事業 宝物のコンセプトやストーリーを明確化し、ブランディングを推進します。	町費	◎ 産	○	○							
	12-2	新規	三春の宝物グッズ作成事業 宝物を活用したグッズの企画・開発を推進します。	町費	◎ 産	○	○							
	12-3	新規	ビュースポット等の検討 宝物や風景に関わるビュースポット等を検討し、周知を図ります。	町費	◎ 産		○	○						
	12-4	継続	文化財観光マップ作成事業 ビジター目線でのマップ等を検討します。	県費 町費	◎ 産	○								
	12-5	新規	文化財ウォーキング事業 地域の特性を活かしたウォーキングイベント等を検討します。	町費	◎ 産	○		○						
	12-6	継続	文化財活用イベント事業 スタンプラリーや謎解きイベント、イベント型ゲームの制作等を推進します。	県費 町費	◎ 産	○								
	12-7	新規	アウトドア連携事業 アウトドアメーカーと連携して宝物を活用する企画を検討します。	町費	◎ 産	○								
	12-8	継続	観光プランニング事業 宝物を活用した旅行商品造成を検討します。	県費 町費	◎ 産	○	○							

(2)情報発信に関する措置

対応する方針	番号	新規/継続	名称	財源	主体					実施時期					
					行	団	所	地	町	R8	R9	R10	R11	R12	
13) 広報・情報発信の充実	13-1	継続	情報発信推進事業	町費	◎ 生 総	○									
			町広報誌・HP・SNS 等を利用した情報発信の充実を図ります。												
	13-2	新規	地域情報発信事業	町費	◎ 生				○						
			地区別の宝物情報の発信について検討します。												
	13-3	継続	歴史文化紹介動画制作事業	町費	◎ 生	○									
			三春の歴史文化を紹介する動画作成を推進します。												
	13-4	継続	PRキャラクター事業	町費	◎ 総	○									
			PR キャラクターを使った情報発信の充実を図ります。												
	13-5	継続	情報連携PR事業	町費	◎ 総	○									
			外部機関と連携した PR について検討・推進します。												

令和7年 月 日

第6回三春町文化財保存活用地域計画策定協議会にかかる意見書

委員氏名 _____

①三春の宝物リスト【資料2】について

Blank area for the opinion text.

②地域計画素案【資料3】【資料4】について

(3)その他、ご意見等ございましたらご記入ください。